

萩尾望都

萩尾望都、童話作家として知られる。本書は、その代表作の一つ。物語は、12歳の少女、アリスが、夢の中で見た世界を描く。アリスは、夢の中で見た世界で、様々な冒険を体験する。その中で、彼女は、自分自身と向き合い、成長していく。本書は、童話としてだけでなく、少女の成長物語としても読むことができる。

小学館文庫 1000円
小学館文庫 1000円
小学館文庫 1000円

萩尾望都



ボウの一族

ボウの一族

萩尾望都



9784091912510

ISBN 4-09-191251-5

00179 75628



9784091912510


定価 本体200円＋税

ボウの一族

この物語は、12歳の少女アリスが、夢の中で見た世界を描く。アリスは、夢の中で見た世界で、様々な冒険を体験する。その中で、彼女は、自分自身と向き合い、成長していく。本書は、童話としてだけでなく、少女の成長物語としても読むことができる。

小学館文庫 1000円 1000円

目次	018
1. 夢の中で見た世界	018
2. 夢の中で見た世界	018
3. 夢の中で見た世界	018
4. 夢の中で見た世界	018
5. 夢の中で見た世界	018
6. 夢の中で見た世界	018
7. 夢の中で見た世界	018
8. 夢の中で見た世界	018
9. 夢の中で見た世界	018
10. 夢の中で見た世界	018
11. 夢の中で見た世界	018
12. 夢の中で見た世界	018
13. 夢の中で見た世界	018
14. 夢の中で見た世界	018
15. 夢の中で見た世界	018
16. 夢の中で見た世界	018
17. 夢の中で見た世界	018
18. 夢の中で見た世界	018
19. 夢の中で見た世界	018
20. 夢の中で見た世界	018




ポーの一族

第 1 卷

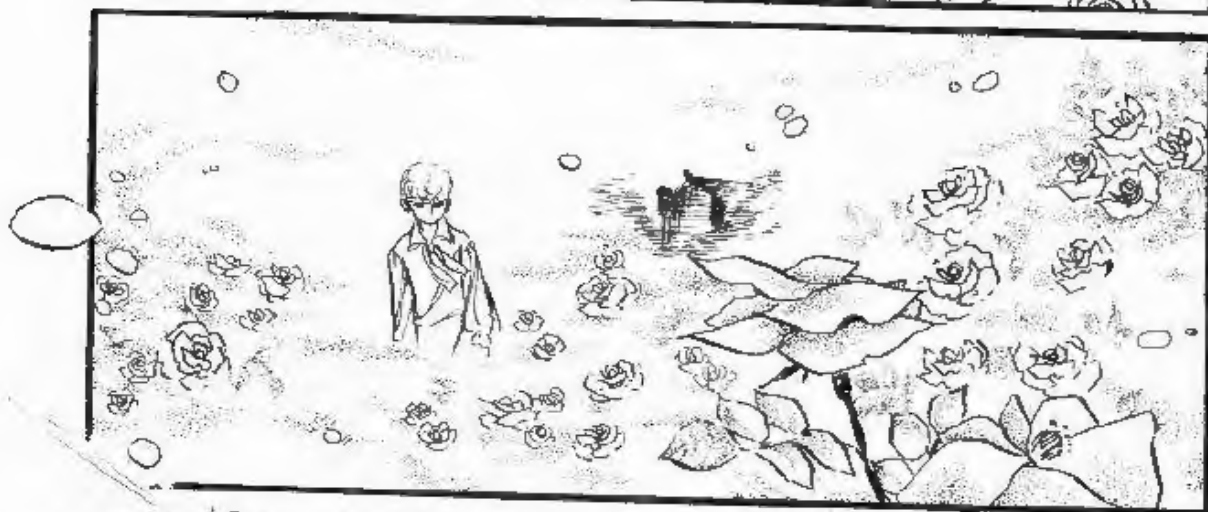
sb
小学館文庫

萩尾望都



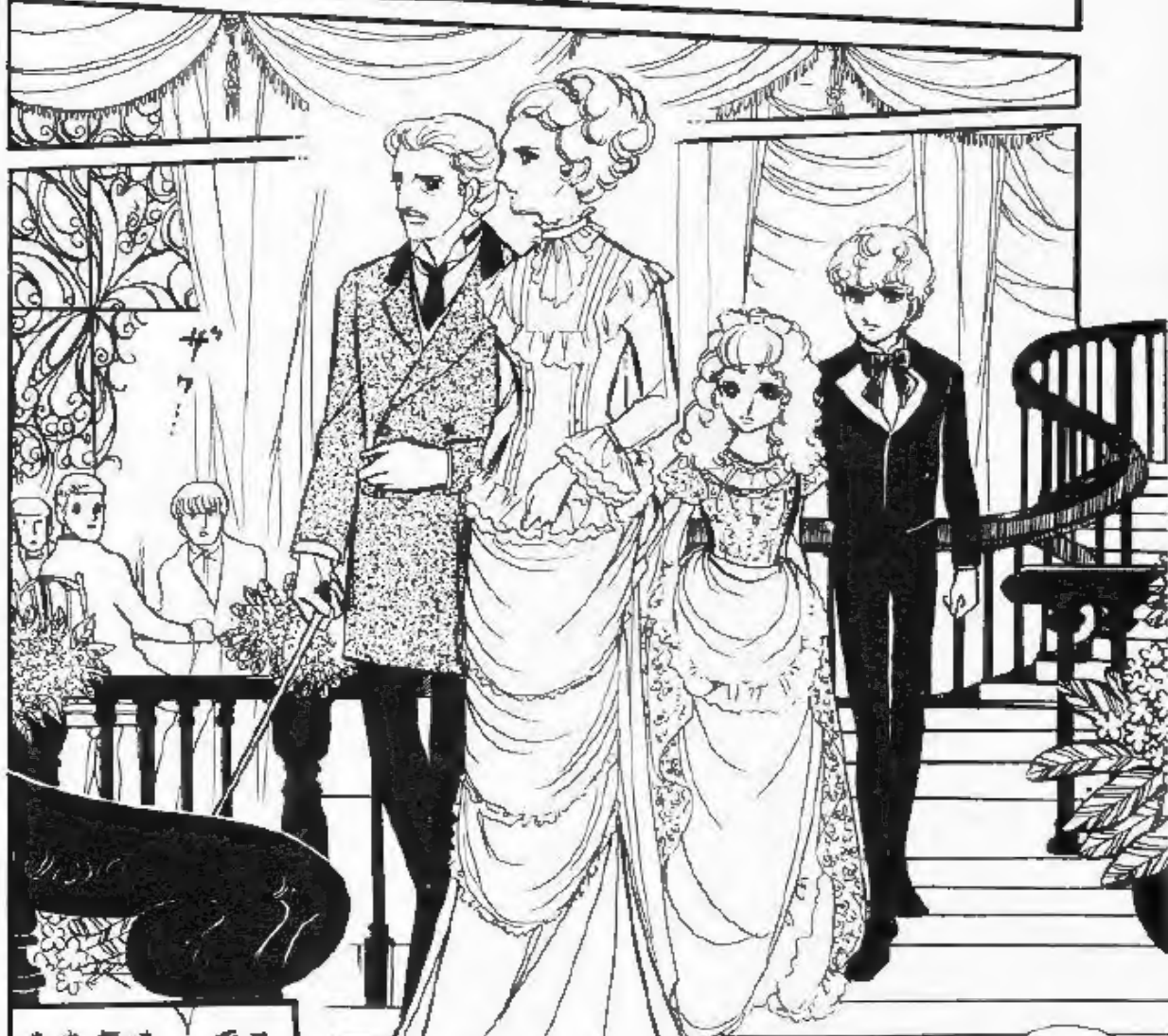
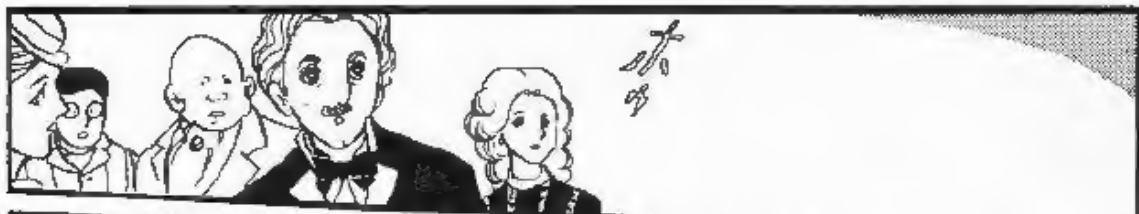
ポールの一族 1

ポールの一族	3
ポールの村	125
グレンスミスの日記	149
すきとおった銀の髪	173
ペニー・レイン	189
はるかな国の花や小鳥	229
リデル♥森の中	263
一週間	279
エッセイ 小池修一郎	296









ロンドンから
ですって……！
まあどうりで
気品が……
あの服ごらん
なさいましよ

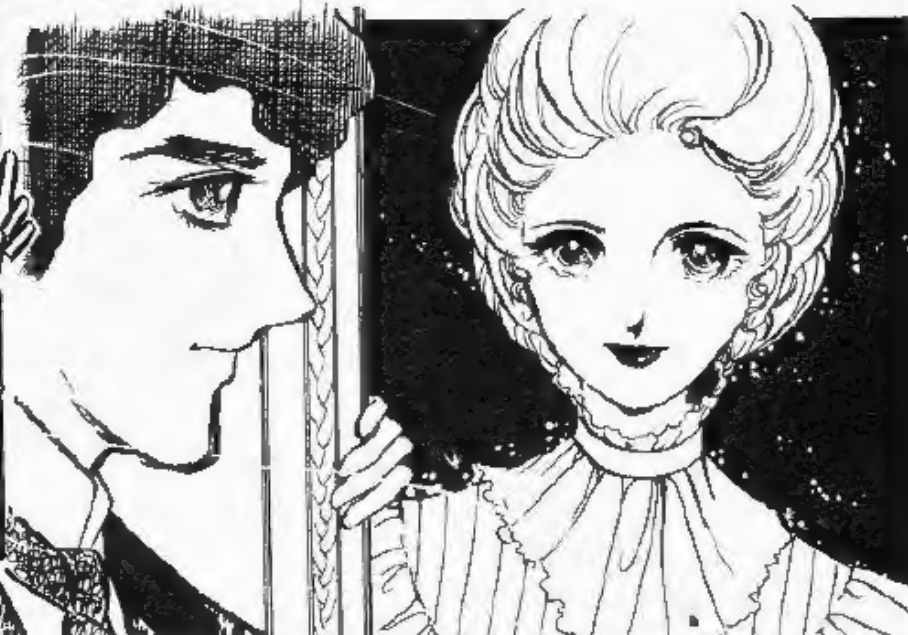


本日午後
ロンドンから
このホテルへ
お着きになった
ポーツネル男爵の
ご一家です

きみ……あの
かたたちは
……











いつまで
この市に
いるの？
きみの
病気が
なおるまで



父さまと
ケンカしたの？
いつもの
ことさ
気ぶんは？



おきてた？



たおれるまで
がまんせずに
そういいなさい…
ぼくは
いいんだから



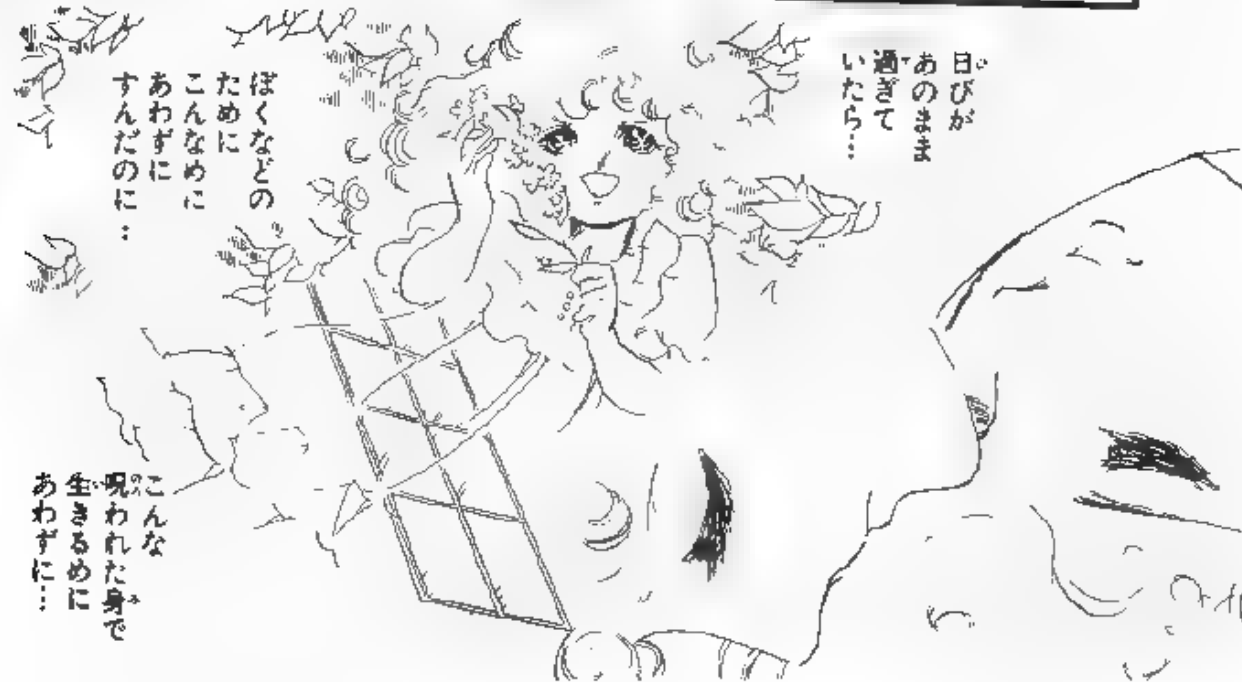
ぼくの血を
のむ？
悪いわ…この
ところいつも
だもの…



あたし
病気じゃ
ないわ…
だまって
休んどいて



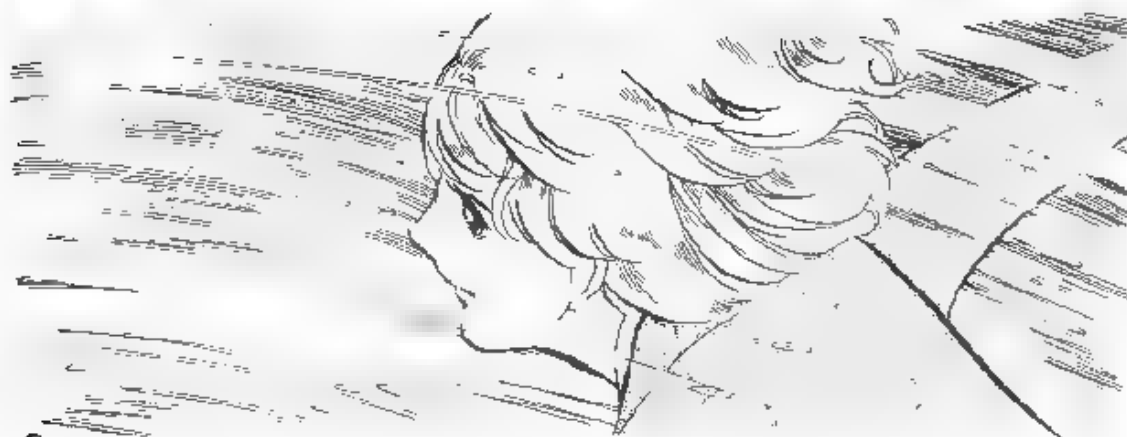
メリーベル…
かわいそうな
メリーベル



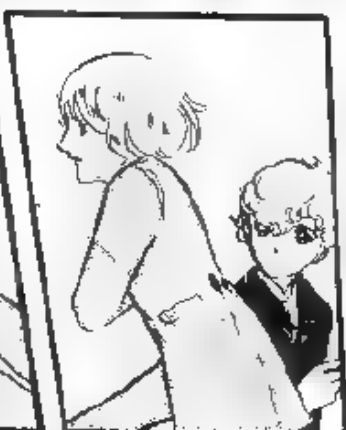
日びが
あのまま
過ぎて
いたら…

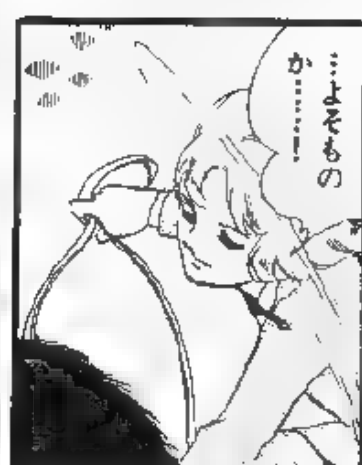
ぼくなどの
ために
こんなめに
あわずに
すんだのに…

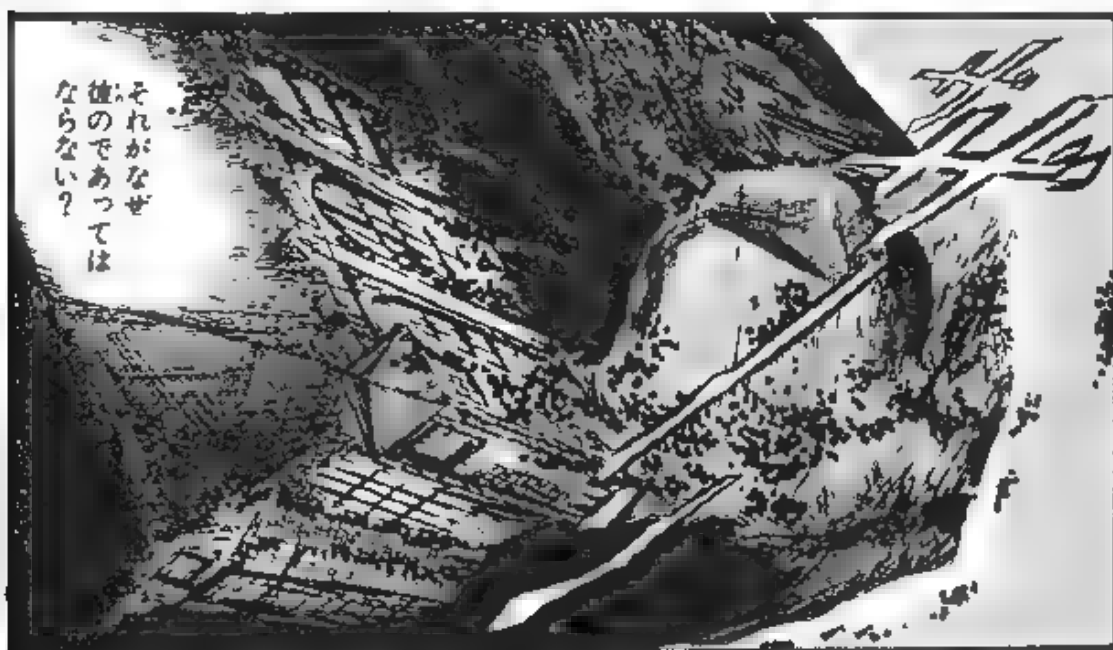
こんな
呪われた身で
生きるめに
あわずに…

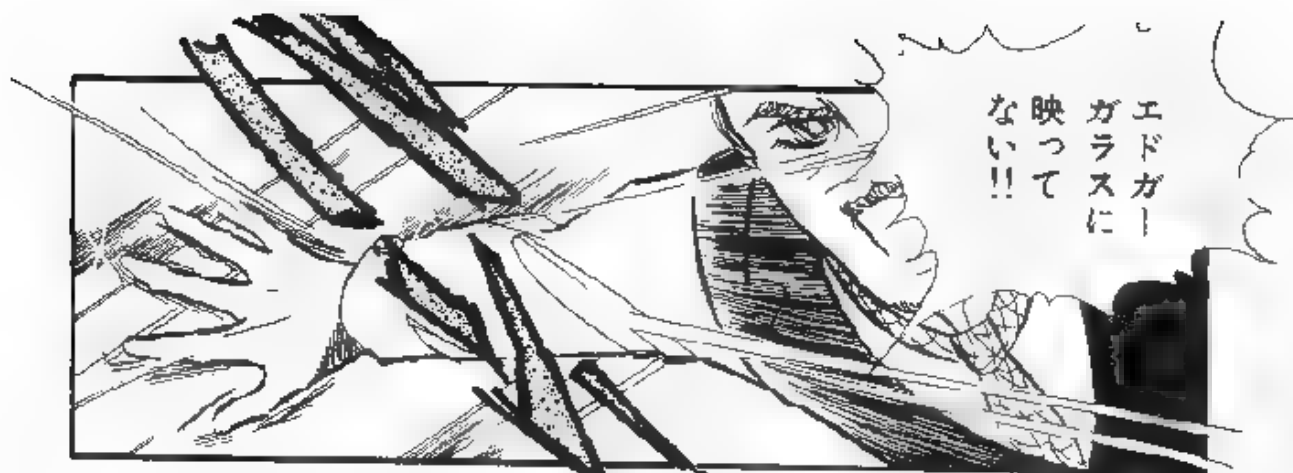












エドガー
ガラスに
映って
ない!!



胸にクイを
うちこまれ
たくなかつ
たら

つねに人間で
あるふりを
忘れるな!

ようし
それでいい



ヒクッ!



息をしている
ふり…脈の
あるふり…

鏡に映る
ふり
トアに指を
はさまれたら
いたがる
ふり:

それくらい
できる
やってみせるよ



アラン・
トワイライト



ほんと?
だれを

…友だちを
つれてくるよ

兄さまが
学校にいったら
あたしはずっと
ひとりだわ

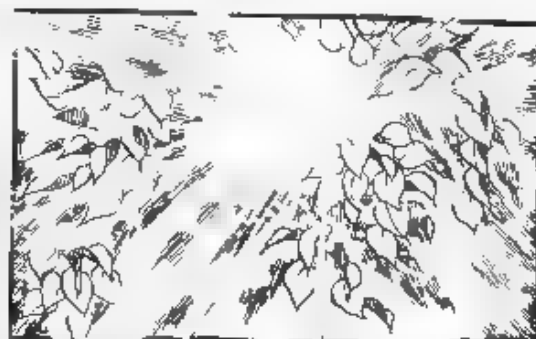
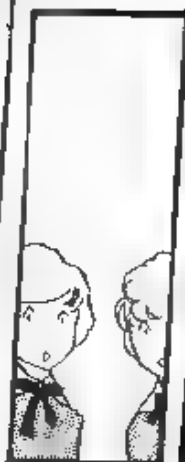


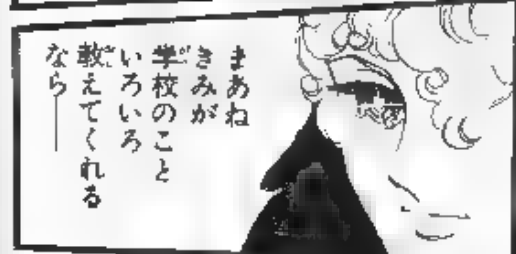
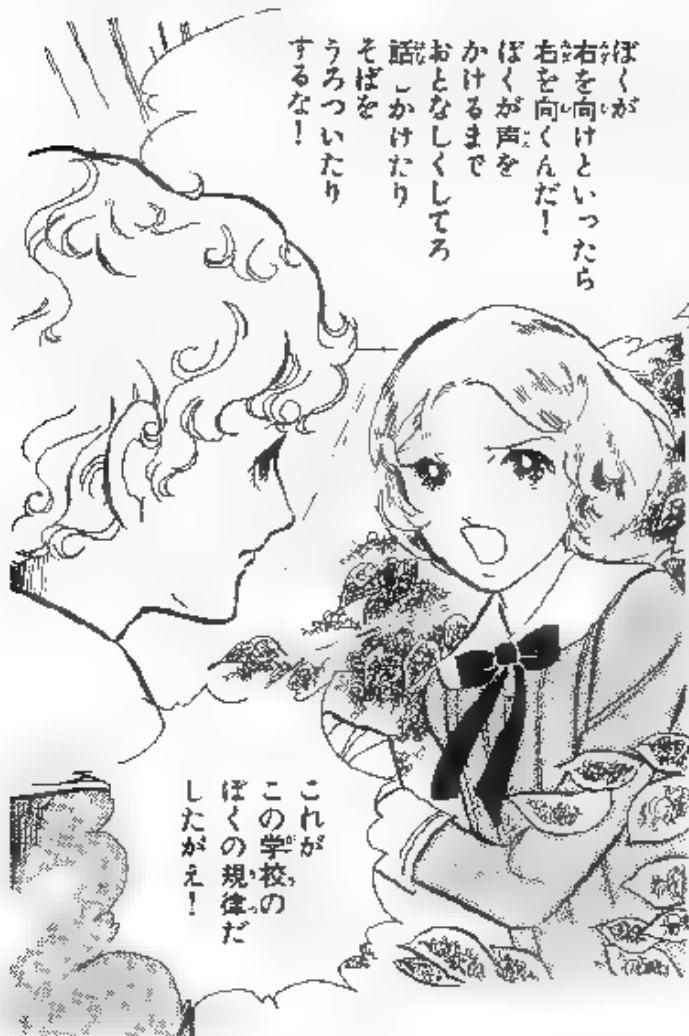
ようしでは
やってみろ

つまら
ないわ



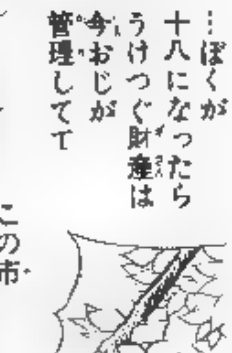
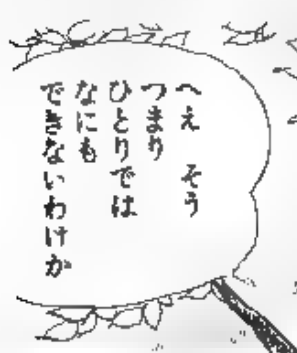








アラン・トワイ
ライトの規律、
上段に
かまえて
なにをしよう
ってんだい
ハから
しい、



へえ そう
つまり
ひとりでは
なにも
できないわけか

ぼくが
ひとこと
いえ

この市
この港中が
その配下に
あるんだ

！ぼくが
十八になったら
うけつぐ財産は
今おじが
管理してて



あんの
転入生
なんて
いった



ぼくにそんな
くちを...
きいたら
なんだい
気に入ら
ないやつ
なら
ぼくなら
この手で
しまつを
つける

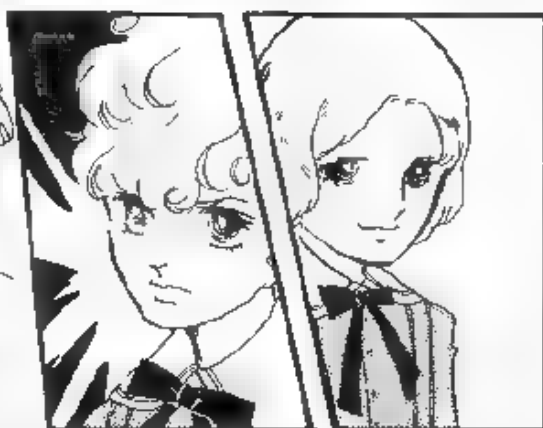
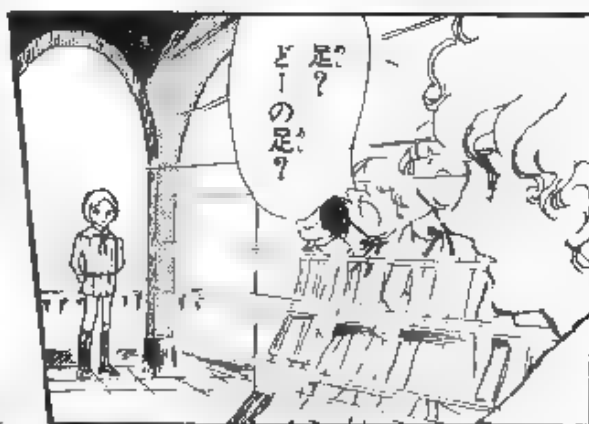
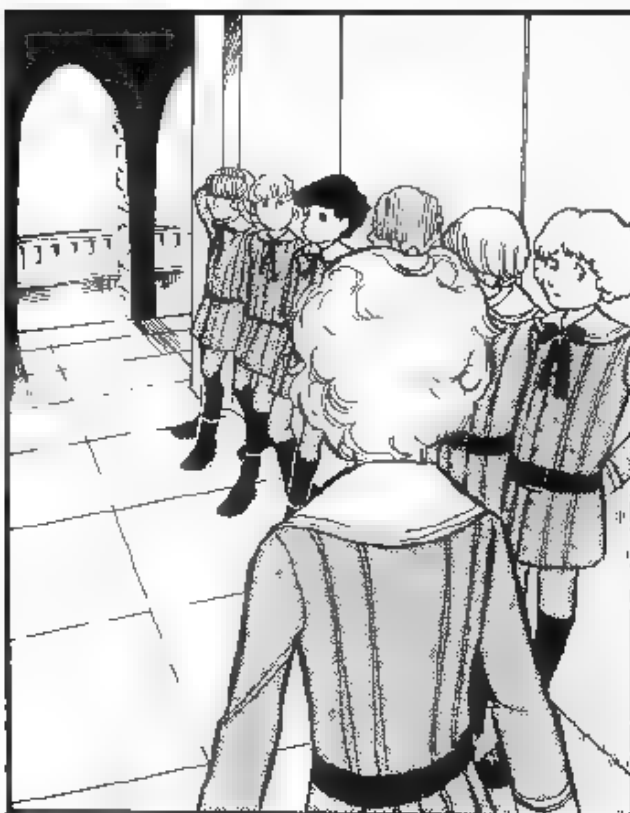


えっ
あ...エドガー！
ポーツネル？

転入生だよ

ハイ！家で妹の
おもりしてたほうが
ずっと意義が
ありそうだ

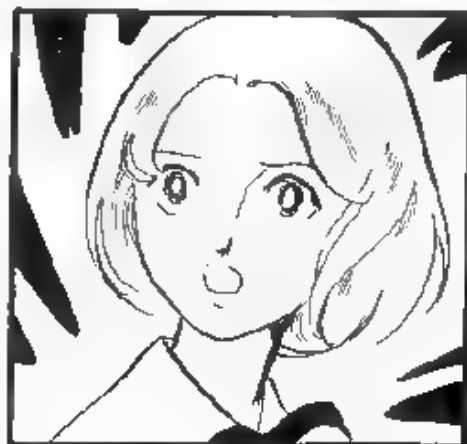
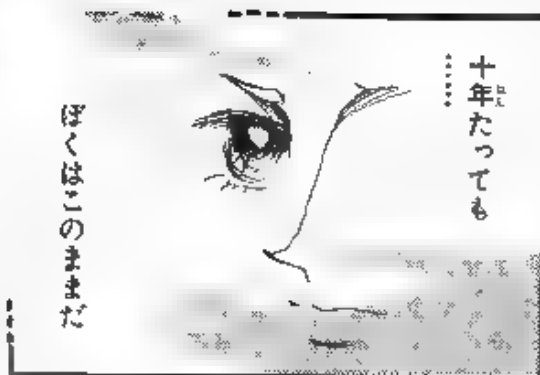
もうすこし
ましなやつかと
思ってたが

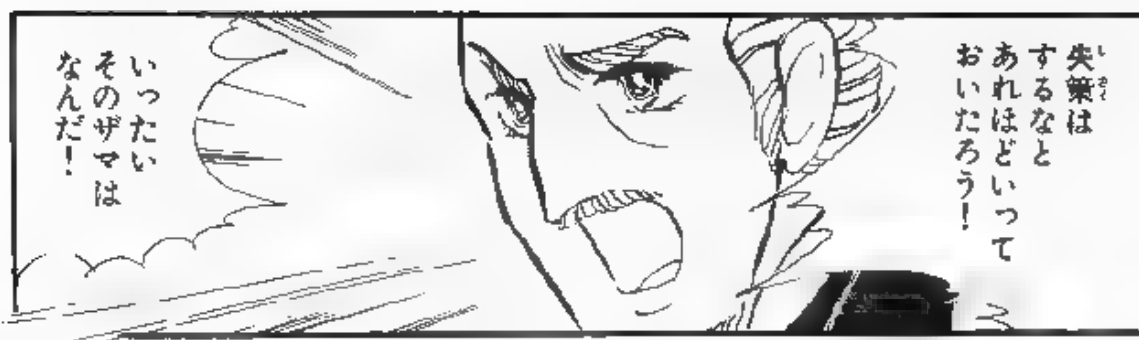














エドガー
よけいな手を
だすんしや
ないぞ！

一時が
通りすぎていく

十年たつても
おなじ朝を
迎え……



わかってるよ
一族にくわえるには
成人でなければ
だめだってことはね
ぼくたちを
つれてるおかげで
父さまたちは
おなじ土地に
二年つづけて
いられない

へんね
あの男爵さまの
ごきょうだいは
すこしも成長
なさらないようね



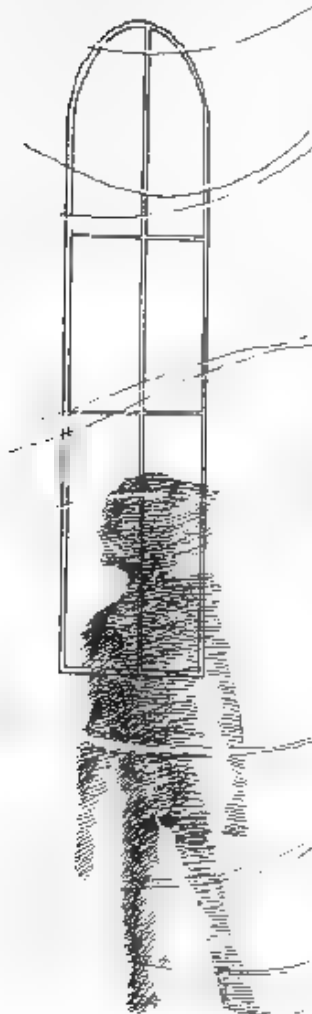
じゅう
じゅう
わかつ
てるよ！

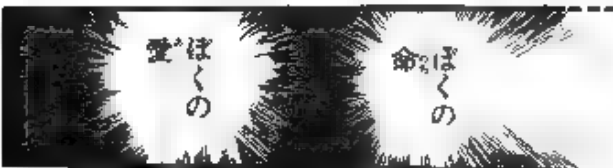


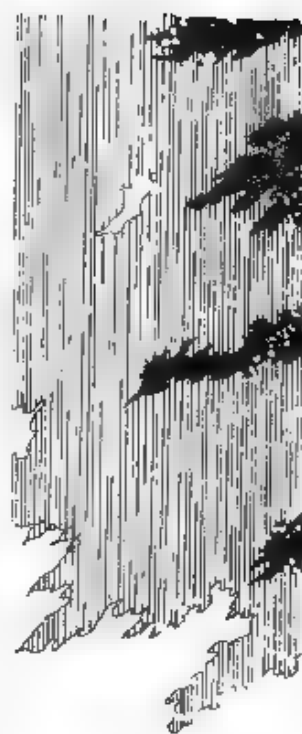
でも ぼくが
どんなに孤独か
あなたがたには
わかるまい

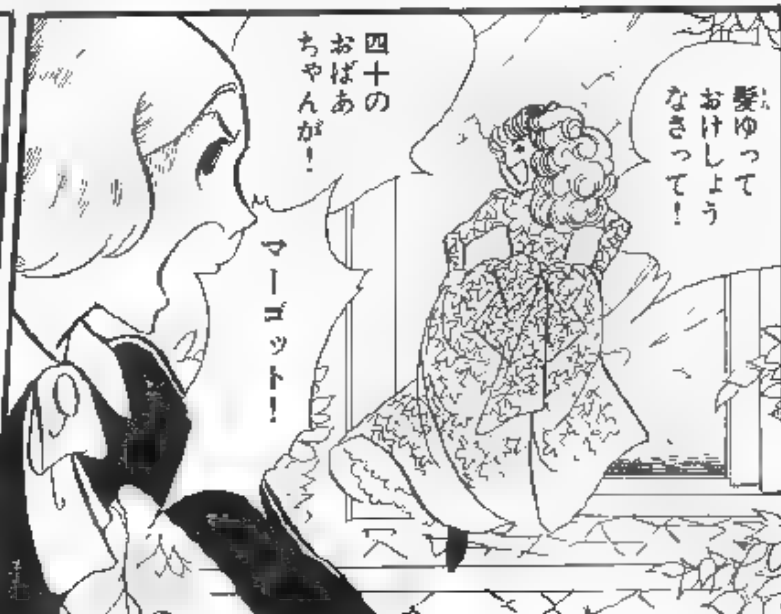
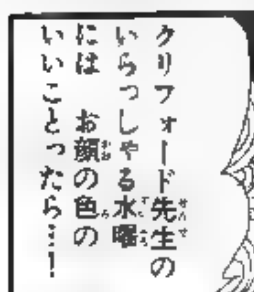
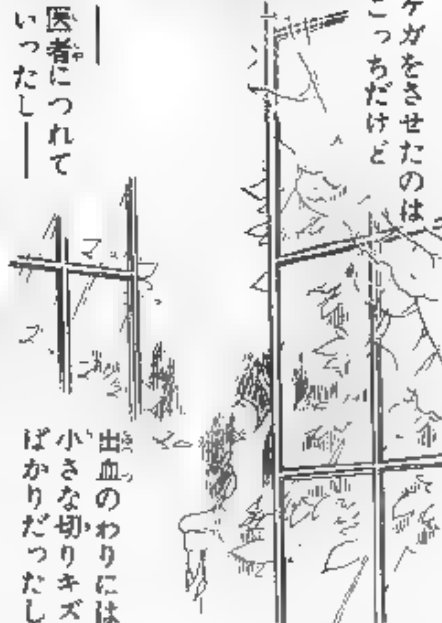
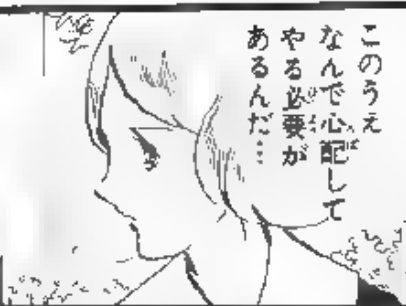


どならんでも
きこえる
わかつてりや
いい！

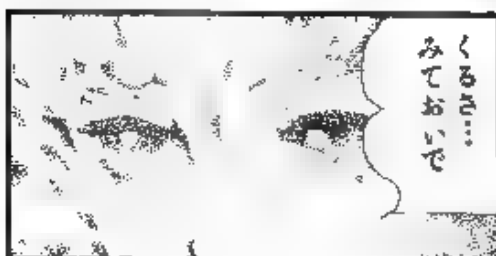




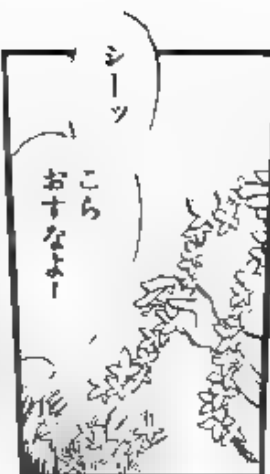




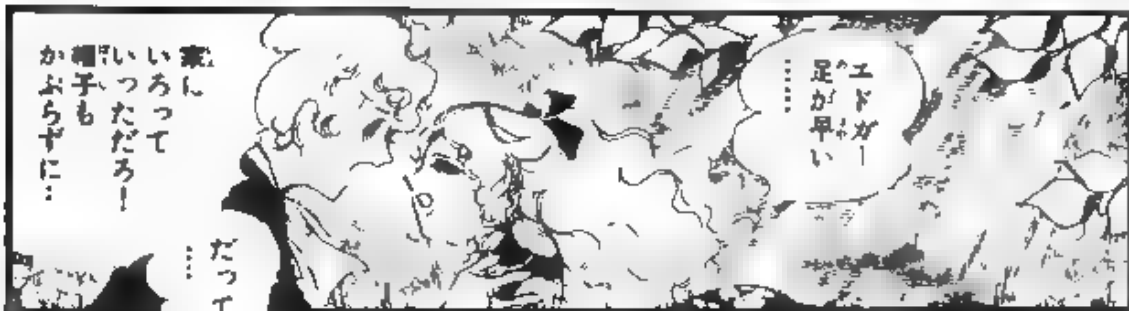
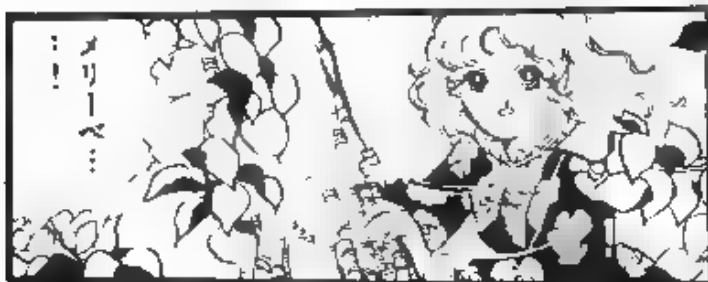


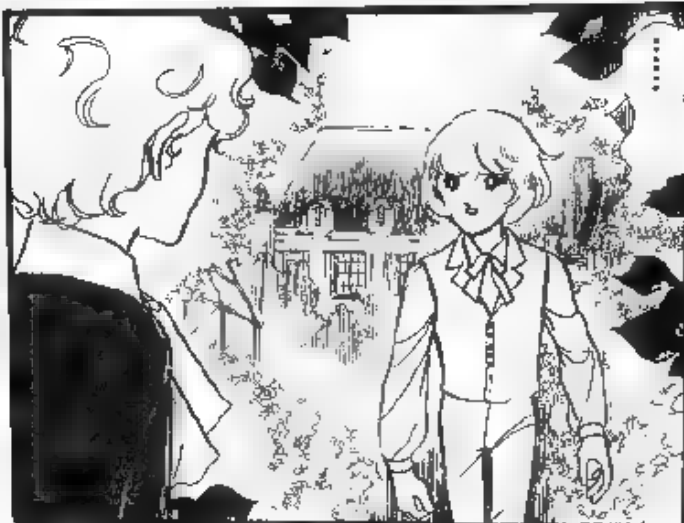
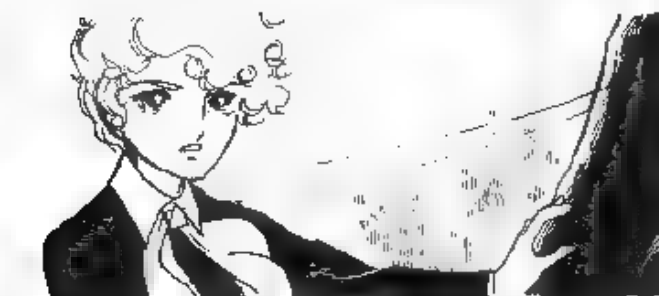
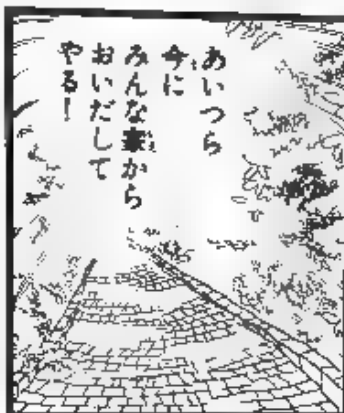
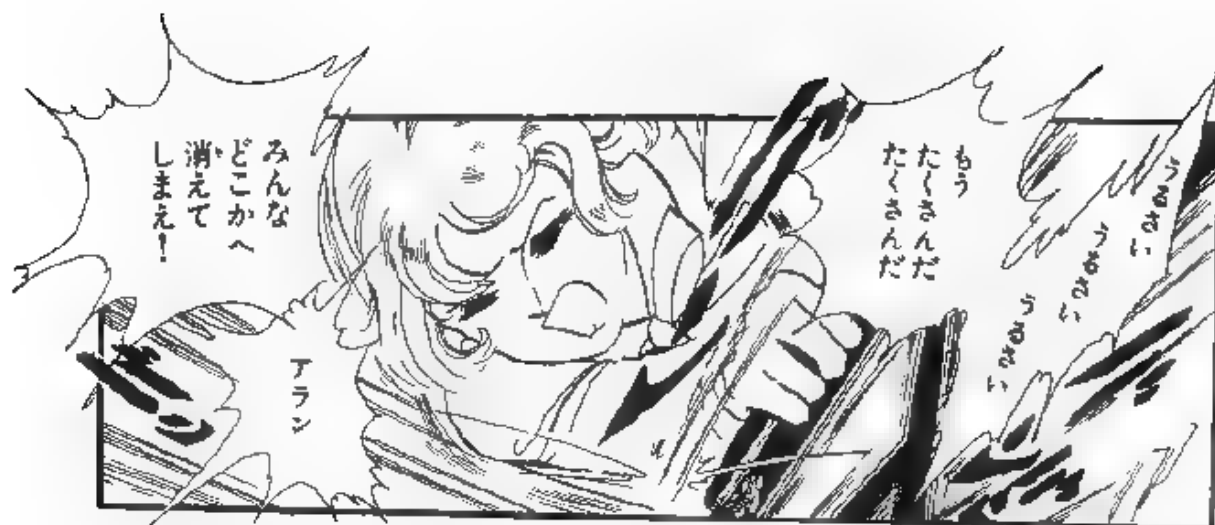






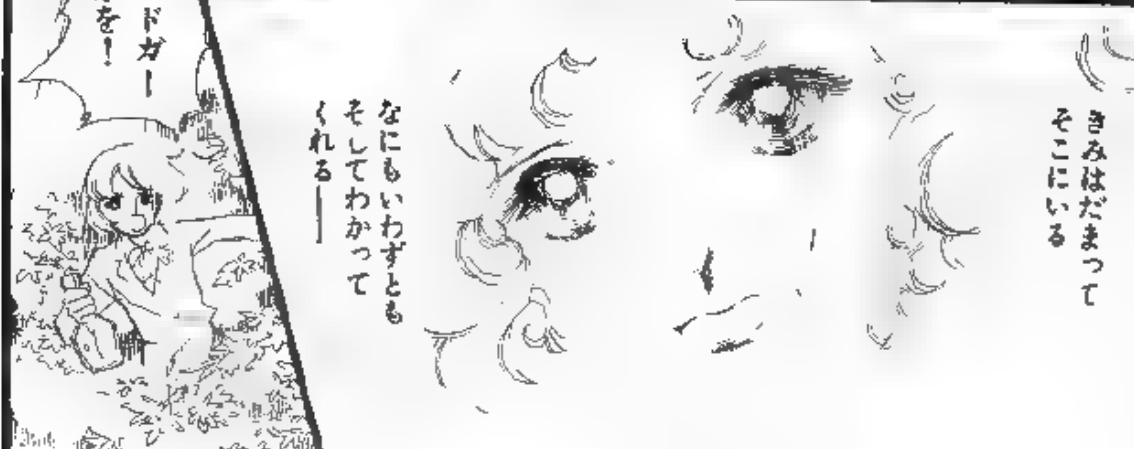
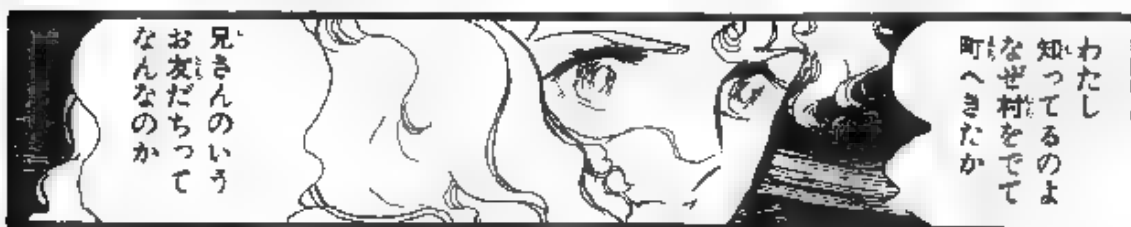




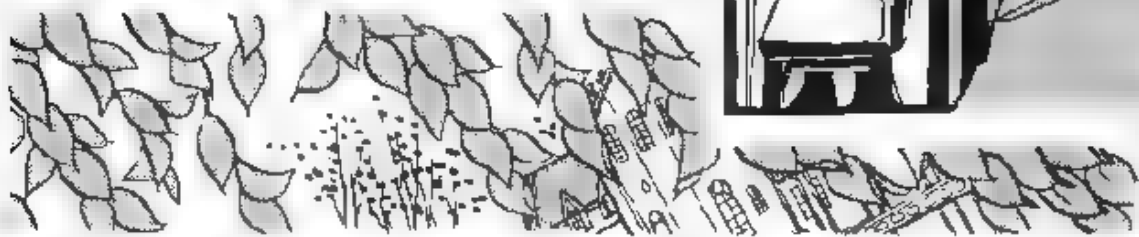


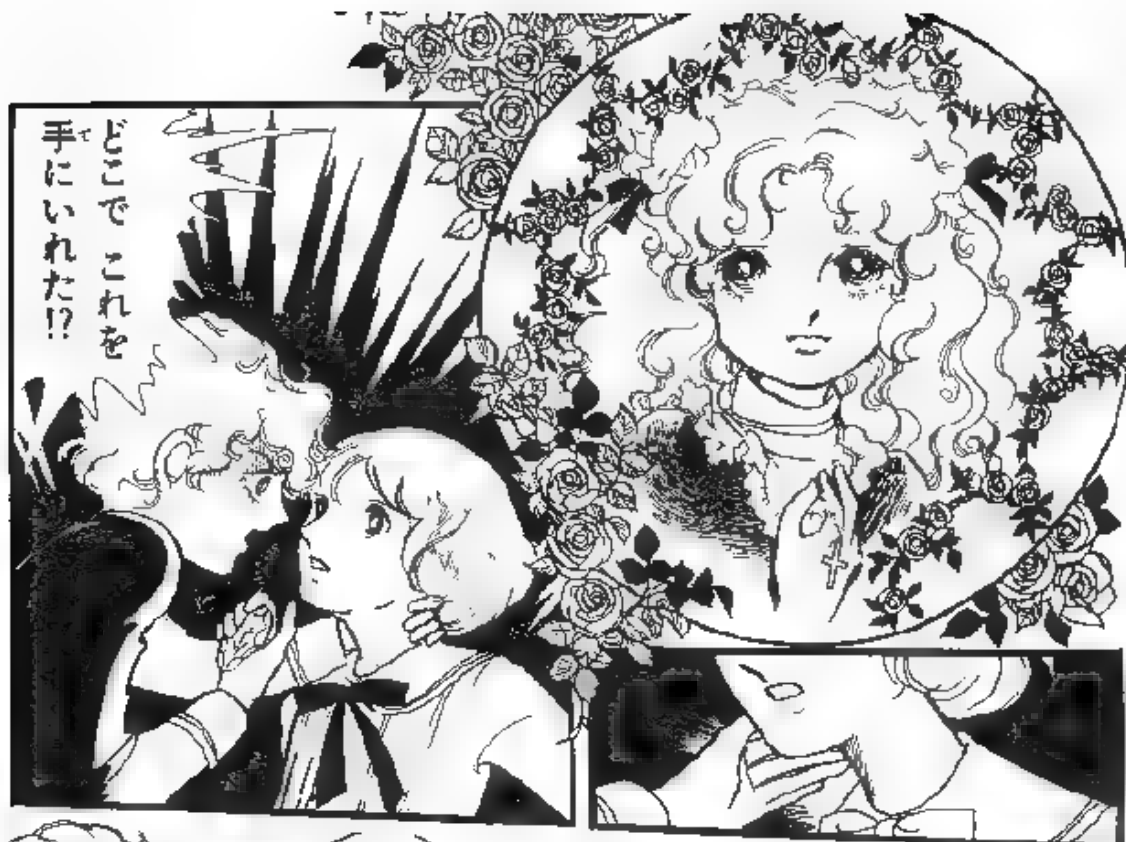












どこでこれを
手にいれた!?



：おい！
おどろいたな
これは
ロゼンティ・
エンライトだ
よ
ぼくの婚約者
だった！



：百年も
昔のことを
……まさか

メリーベルが
まだずっと
小さくて
ぼくたちが
人間だった
そんな

——ああ
アランが
知るはずは
ないんだ

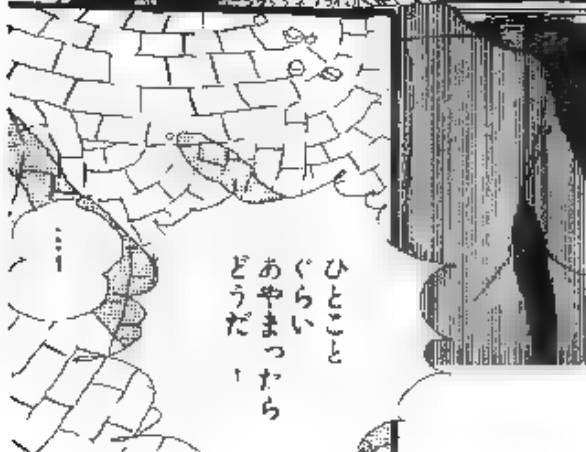


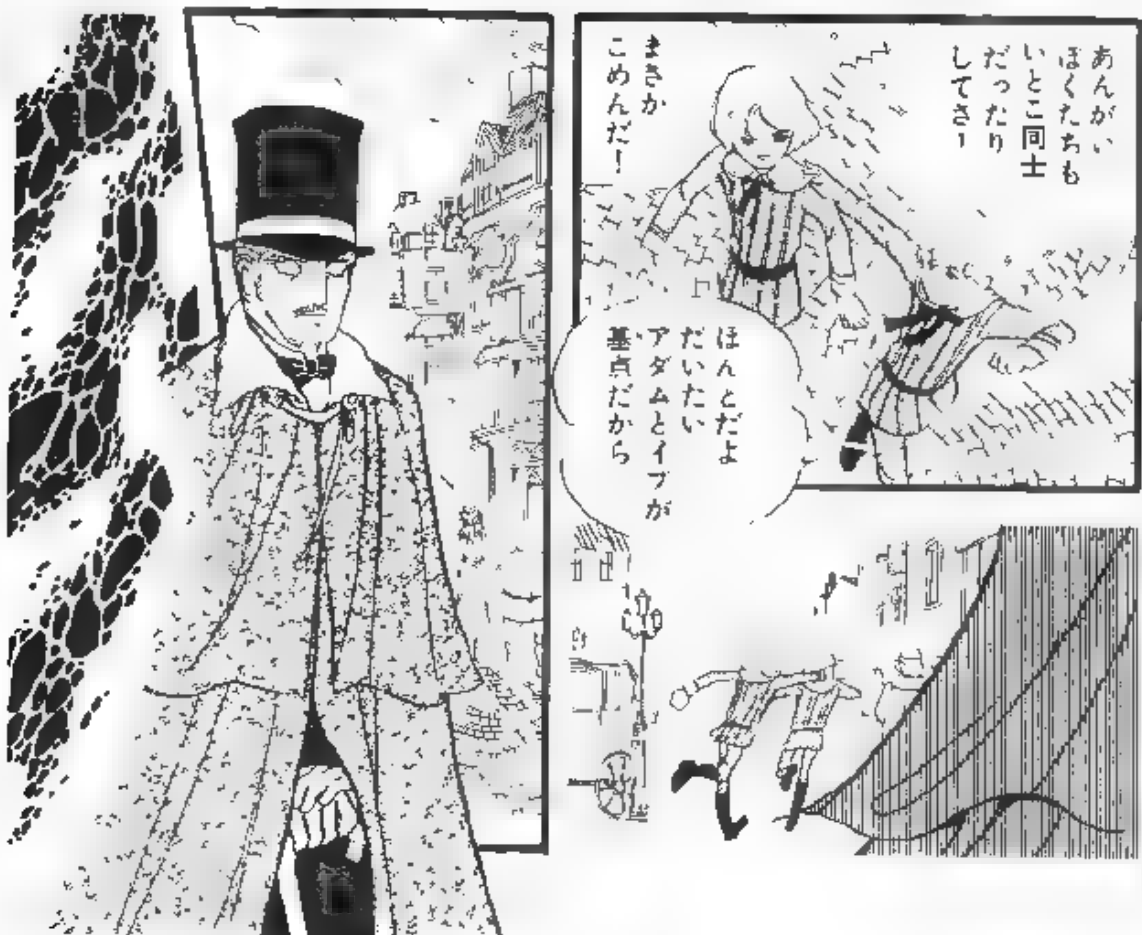
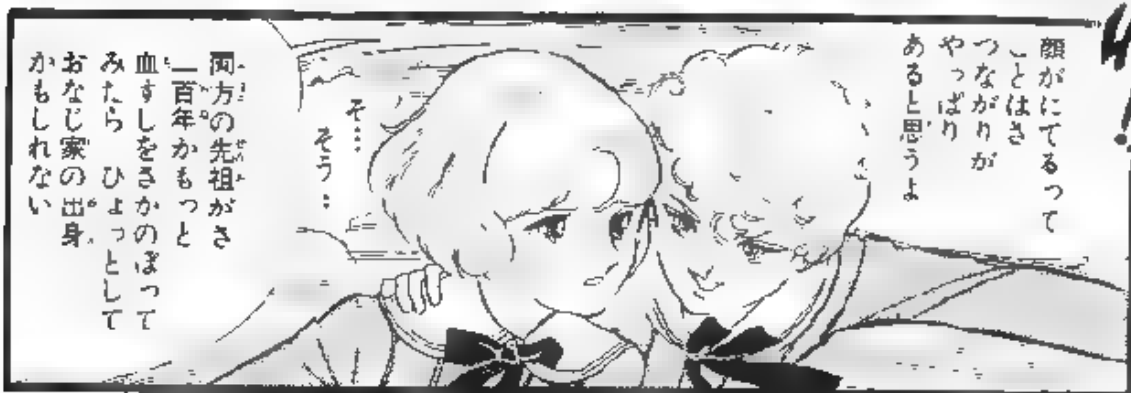
おどろいた
てっきり
メリーベルの
焼き絵かと
思ってた！

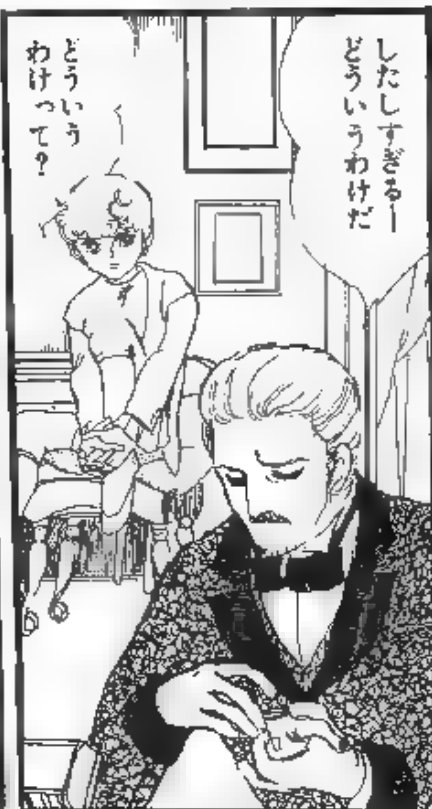
だろう？
ぼくも昨日
きみの妹を見て
びっくりした

もういない
はずの
ロザが！

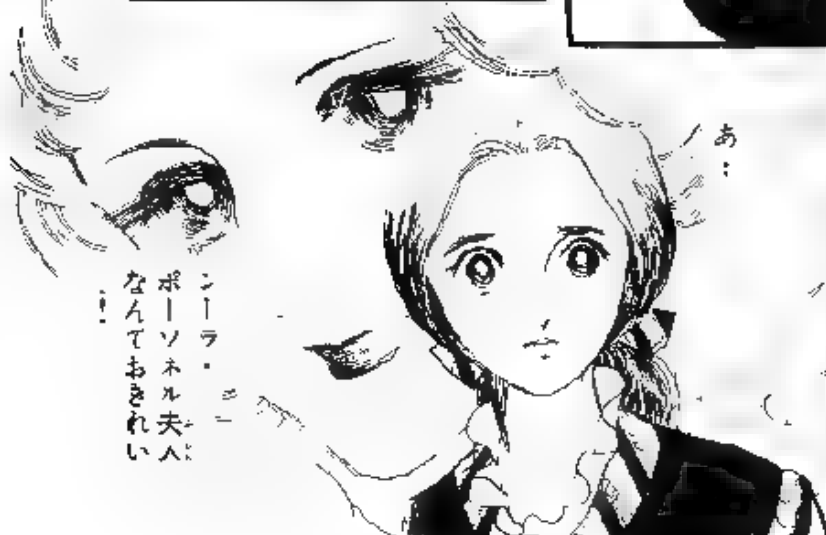
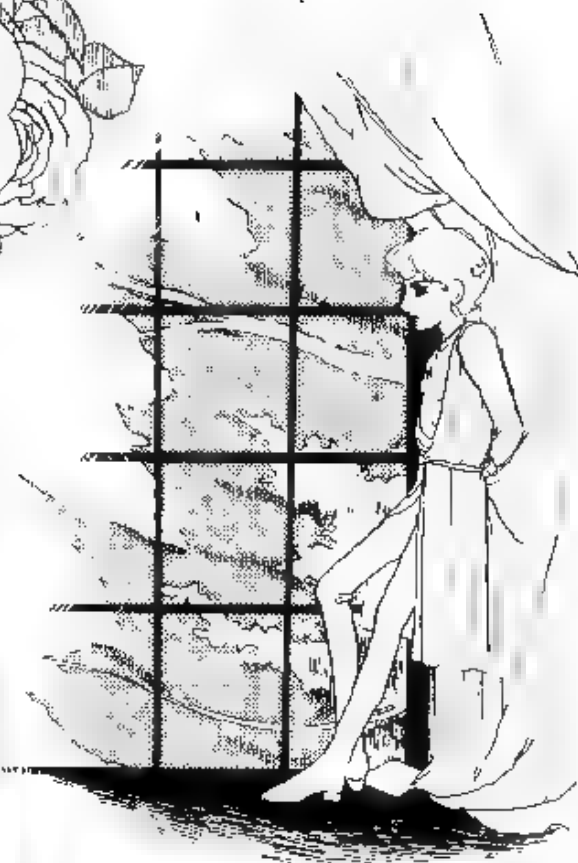










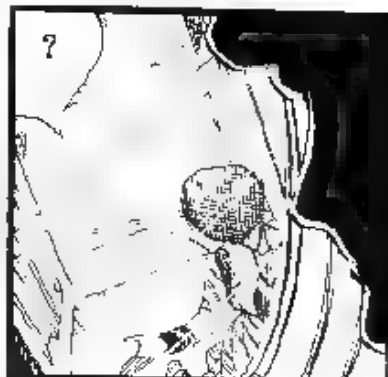


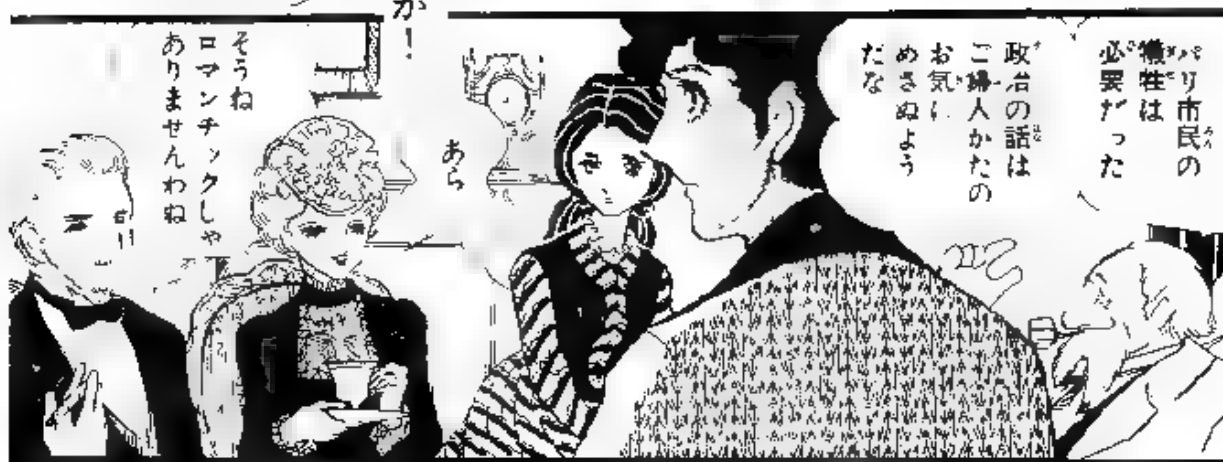
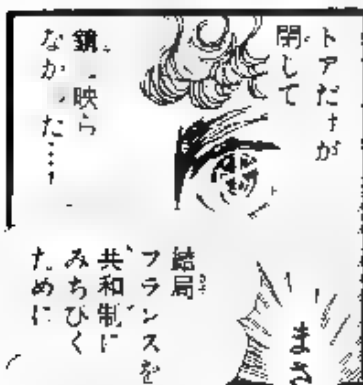


ほ
はでなタイを
しめたな
クリフオート！
夫人にいいとこ
みせるためか

カスター先生
したくは...！

か
チ
ヤ



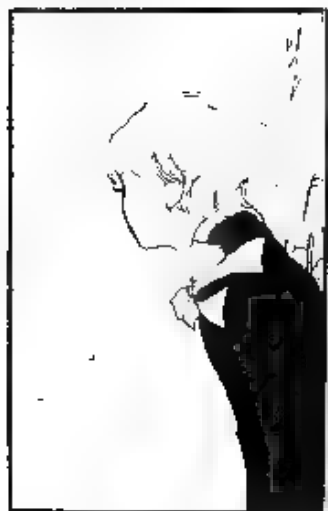
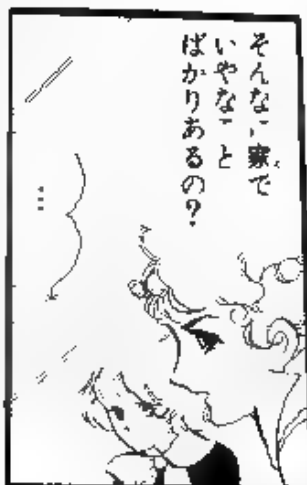


















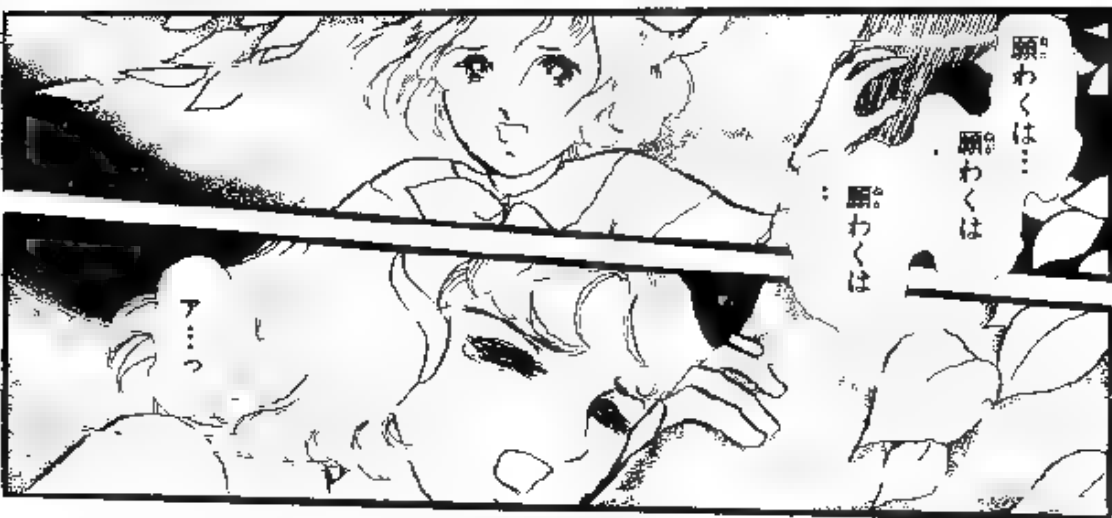
そのひびきは
金土にあまねく



そのことばは
地の果てまで
およぶ



願わくは
われをかくれたる
トガより
ときはなち
たまえ



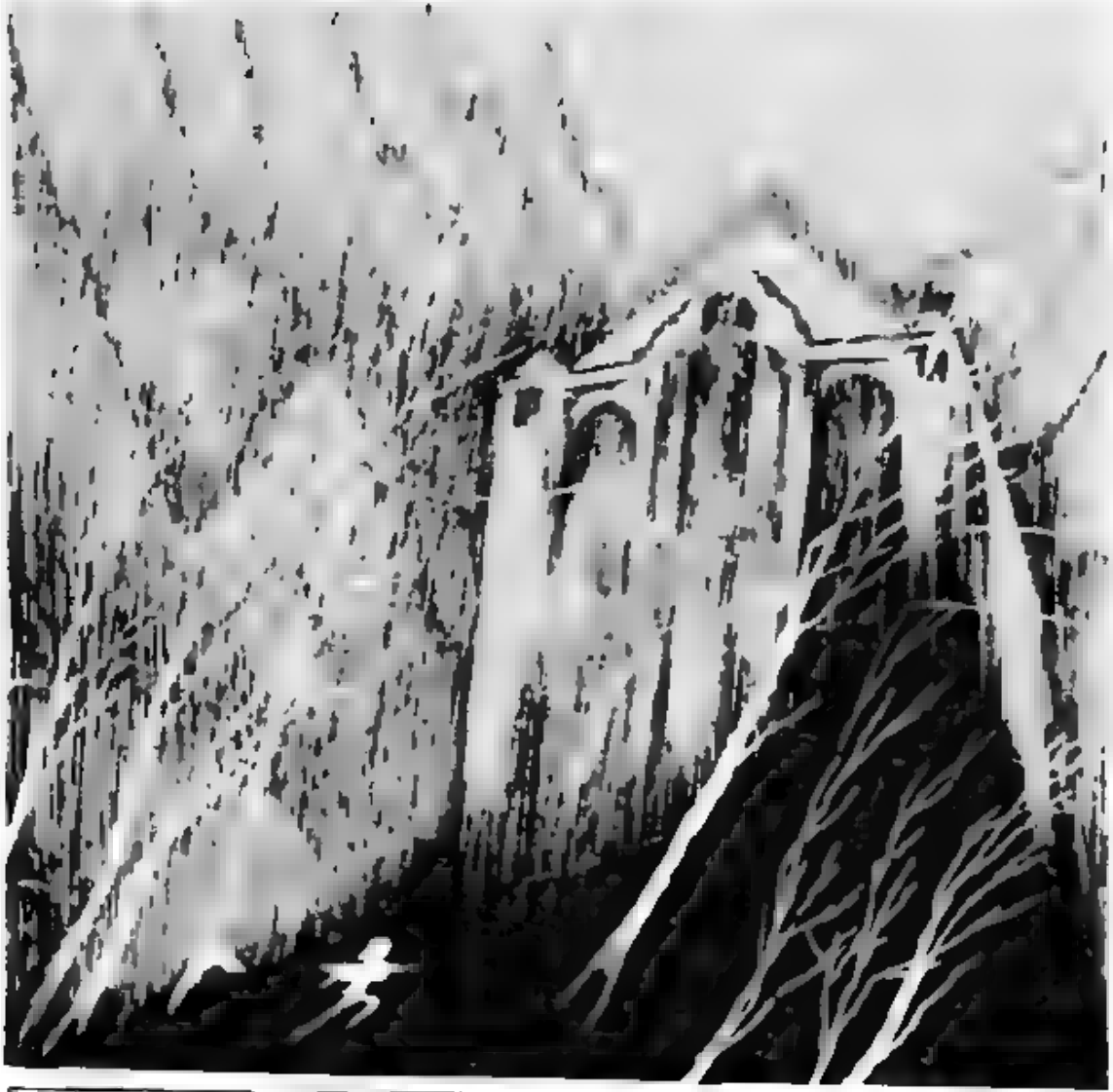
願わくは...

願わくは

願わくは

ア...







みことばや
十字架や
塔を
恐れるな
そんなものは
単なる象徴に
すぎん

現に
わたしはけさ
教会へいった

エドガ
帰って
たの？

あ、
メリベル
すぐいよ

恐ろしいのは
信仰だ

われわれをふくめ
いつさいの異端を
認めない心

これは邪悪な
ものだ！
これはうそで
実在せぬものだ

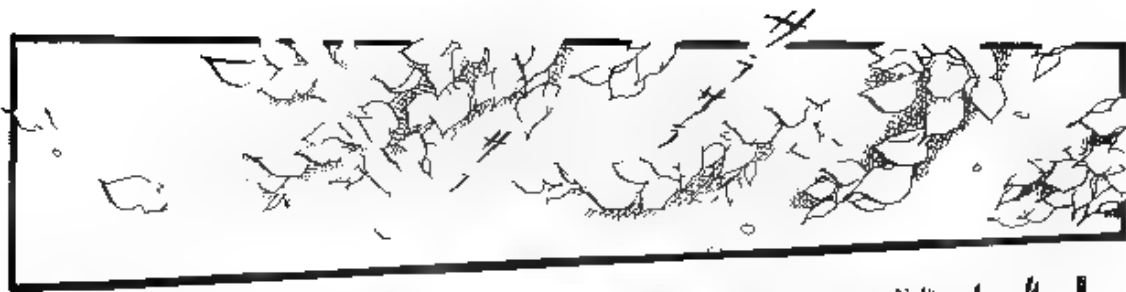
狂信している
精神は恐ろしい

だが
この市の人間は
ハンパネラなど
信じてはいない

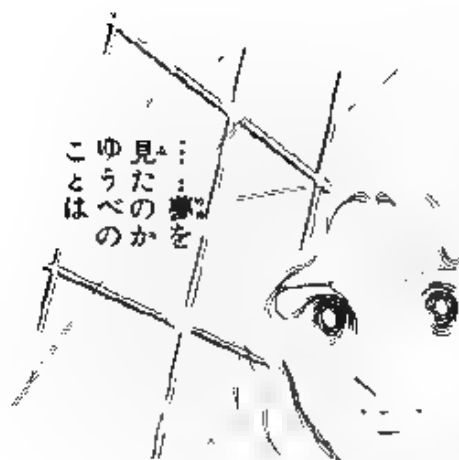
アランは……でも
うたがってるかも
しれない……

疑惑など
打ちこわせ！

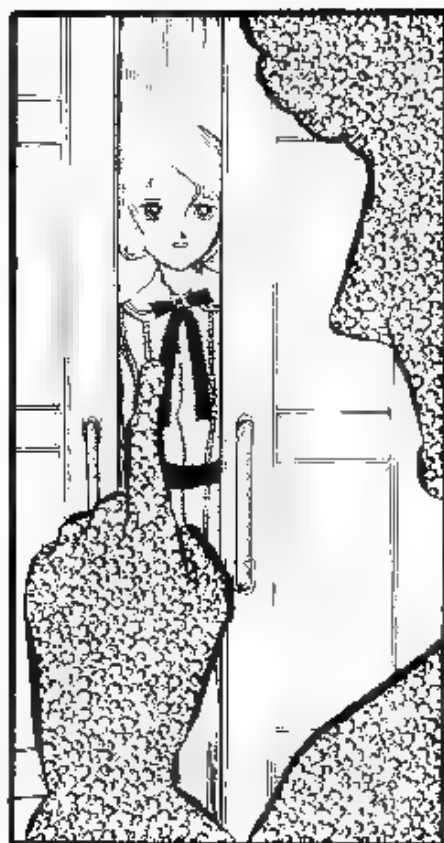
信じさせ
るな！！













だれか
そばにいて
ひとりでは
たえられ
ない……！



きみはずっと
そこにいたのかね
……ねむらずに？

中にはいっても
いい？

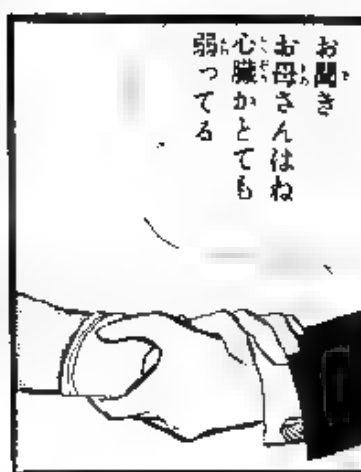


今度大きな
発作が
おきれば
……

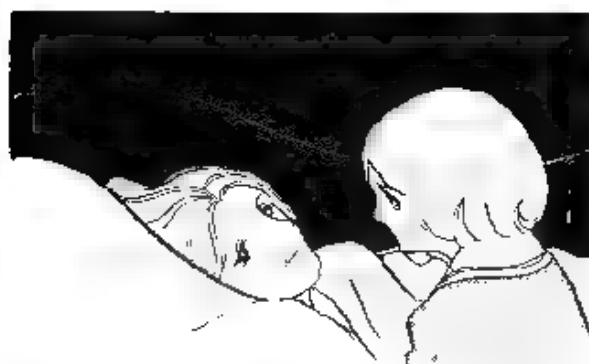


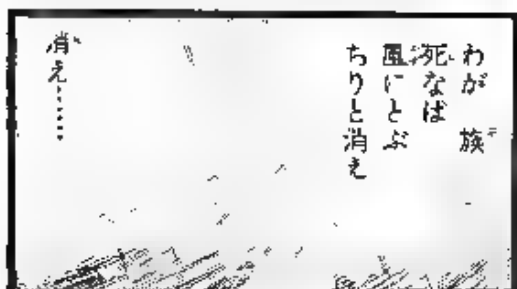
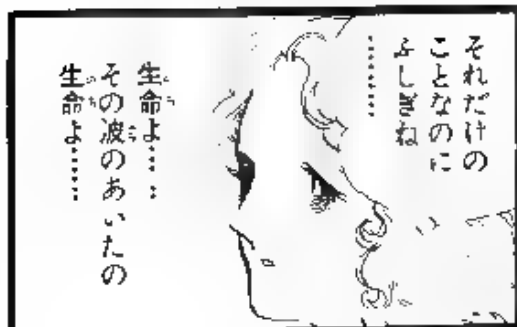
わからない
とうぶんは
安全だろうが

あと何日
もちます……？

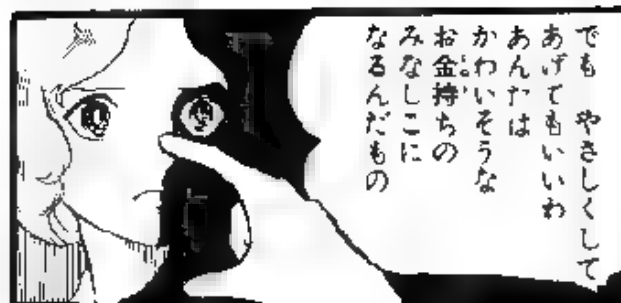


お聞き
お母さんはね
心臓がとても
弱ってる











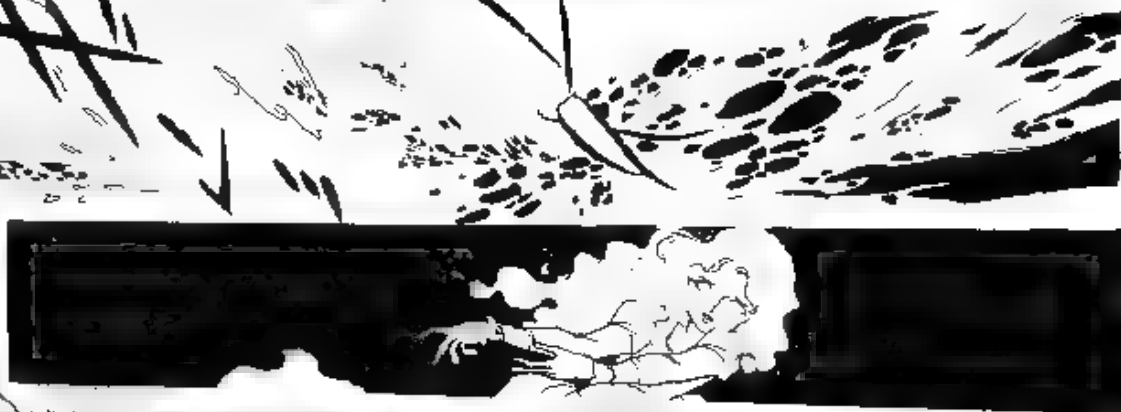
その顔はなによ
あたしみたいな
美人にキスされて
喜んがらどう...?



ごめん
だよ!



あん！
なによ
なくさめて
あげたんじゃ
ない!







いいえ
また学校から
帰ってないわ

エドガーだよ
いる？



エトガ
は？

えり



布をもつて
くる ふかな
くちや

いいよ
ここにいて



はくが
プロポーズしたら
おこる？



とうしたの
なにかあったの？



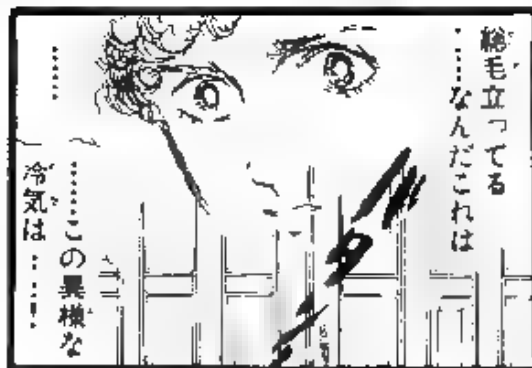
ごめん
きみが
ぬれる



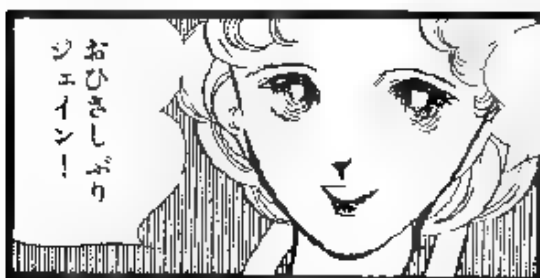


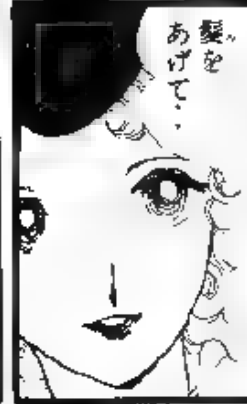












あら！
みっともない
若い娘なんて
いやしません

髪よ、ます
髪をゆって

最新流行の
ハ・スルスタイル

もちろん
ウエストは細く
胸をたして……
娘らしく……



色は……ええ
もちろん青よ！
青のタフタ

帽子は青よ
……ああ！
びったりのを
もっていますわ
白い羽かざりの！



ほら、とても
すてきになれるわ
うかんできてるでしょ
青、服を着た
あなた……

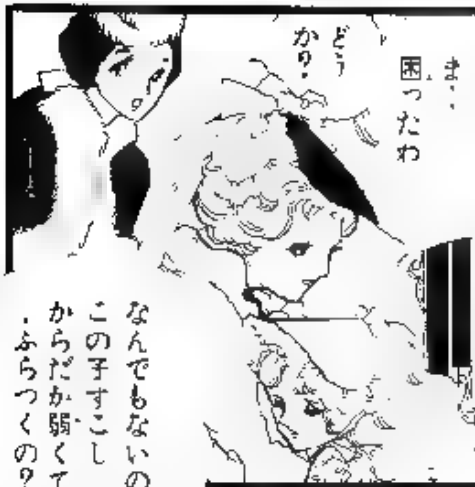
ね
あたしに
まかせて
じゃ、ます……



母さま



困ったわ
……どう
かり



なんでもないの
この子すこし
からだか弱くて……
ふらつくの？







キリスト教の信仰のある地方では、神の怒りによって、罪人は落雷をうけて死ぬといわれている



カーテンを
ひいてくれ
エドガー
あの光は
どうも
好かん！



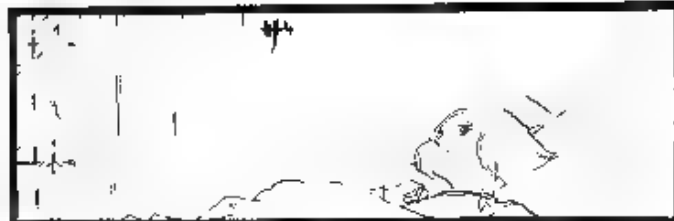
母さんと
マリベル
帽子屋へ
でか
たって？
帽子屋のうらにま
カスター老先生の
家があつて
ジェインが
いう方法だ
つまり
下見



ぼくは
好きだな
ちよいと
そつとする
けど……



ものうい……



雷が
こわいんですか
シラ夫人
ええ まるで
わかしにむかつて
走ってきそうで……



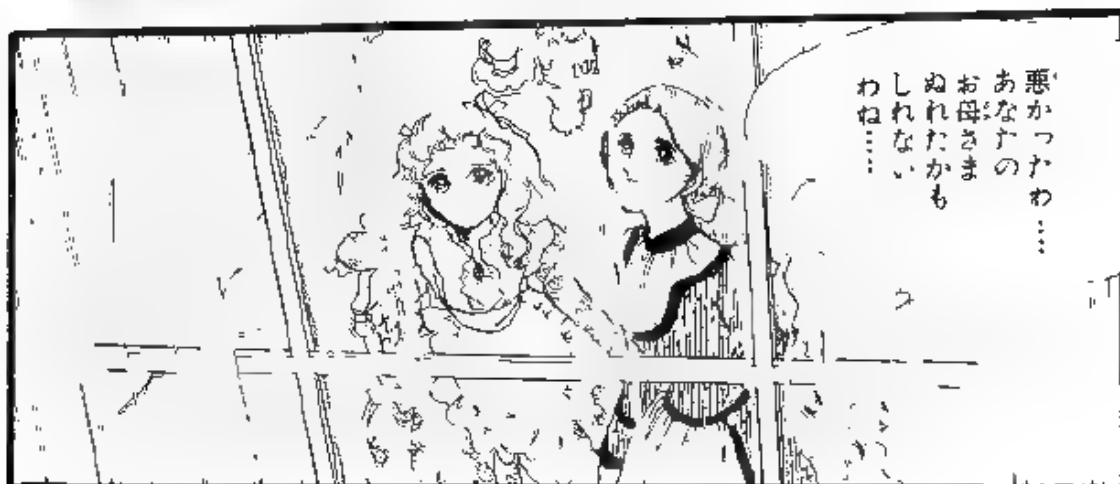
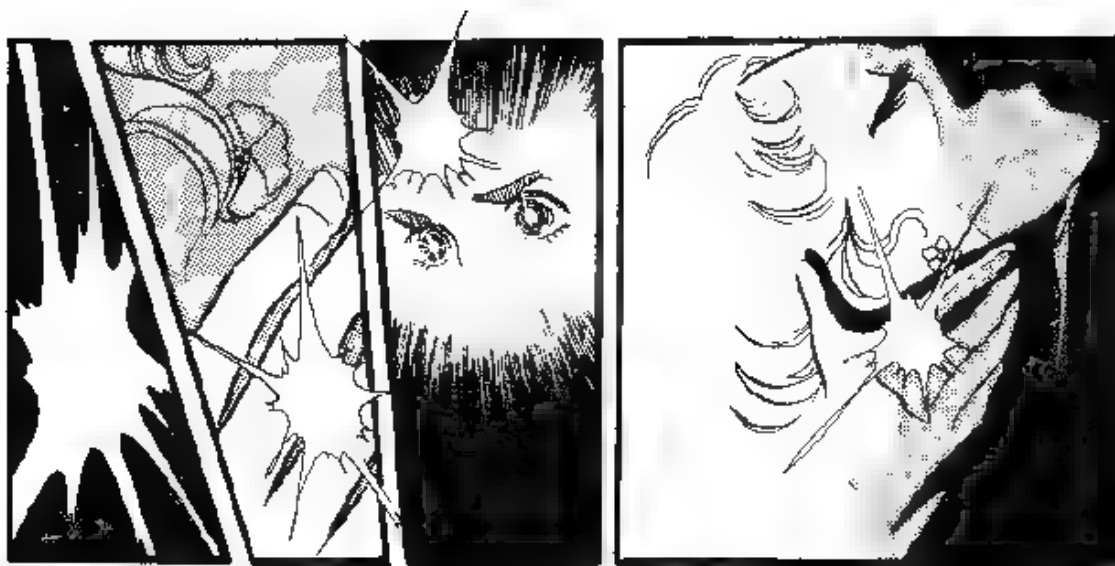
雷雨……

もう冬がくる……



罪人のような
ことをおっしや
る
ああ
いや
気をそらせて
ほかの話を
しましようよ……
帽子屋で
ジェインと
あいましたわ







伝説を
信じますか？



失礼
クノフォード
先生



：知るカ
それなら
バンパネラだ

ジェインさんは
心からおまえを
愛してるの。



動いてない
ジェインになって
おつしやるの。

人間では
ない。

すべての血脈が
死んでいる

これは人間ではない



：これは夢だ！
あなたは
現実のものでは
ない
なせここに
いるのです

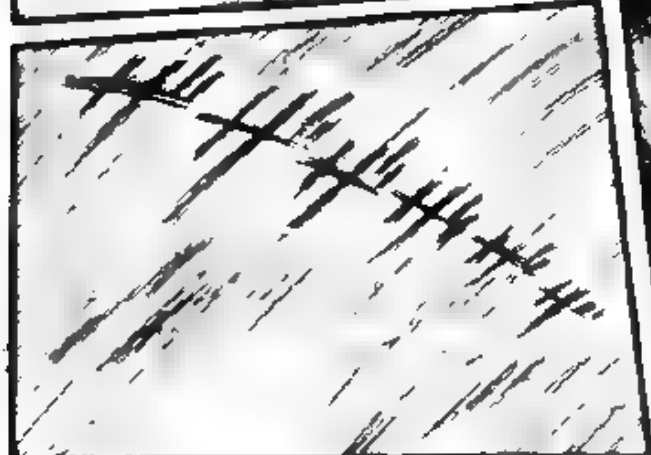
：あなた自身の
ためにも。



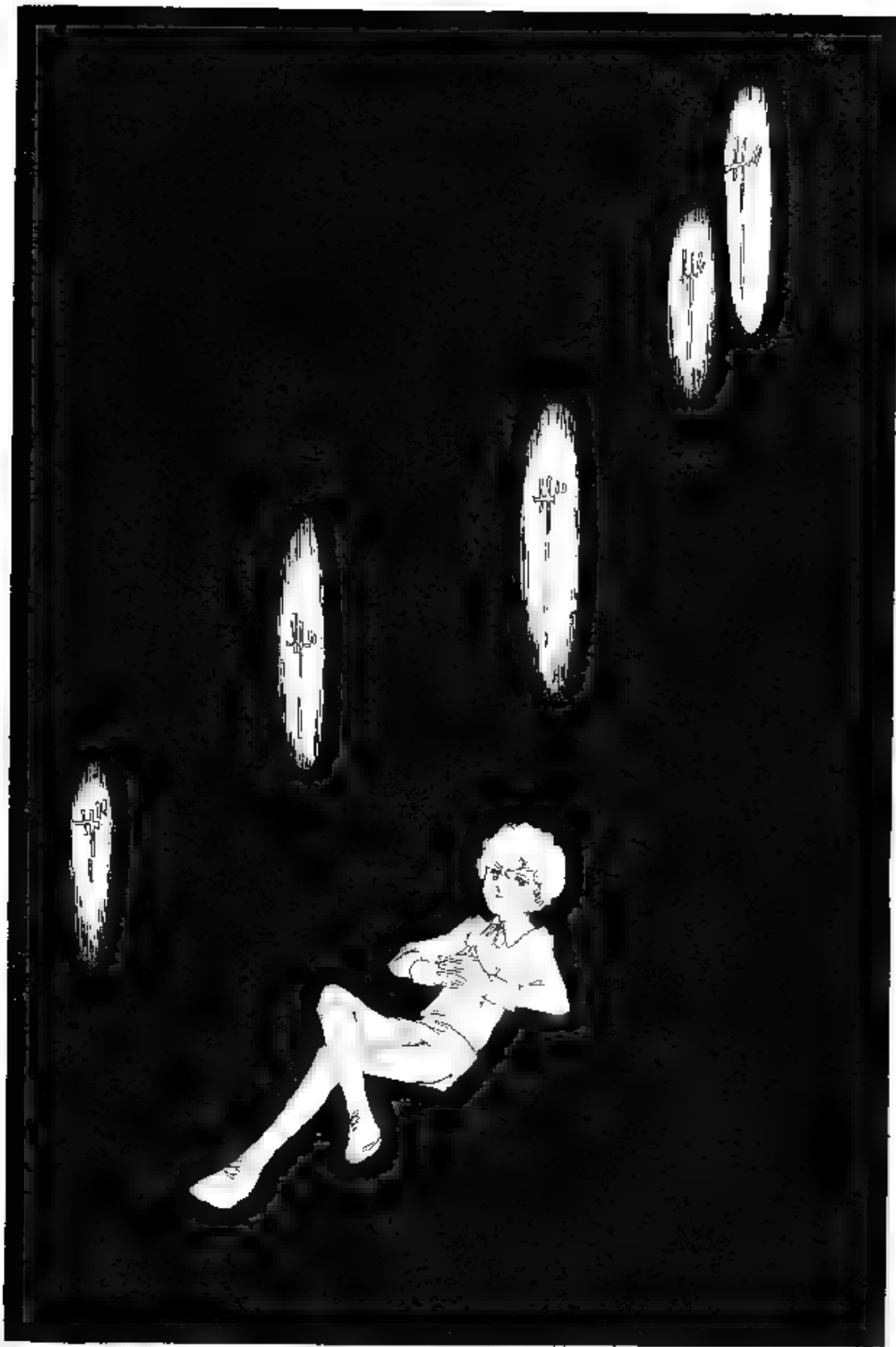
打ちか
くがね
ぼくが
これの
つとめ
たの



この…
まばろし…



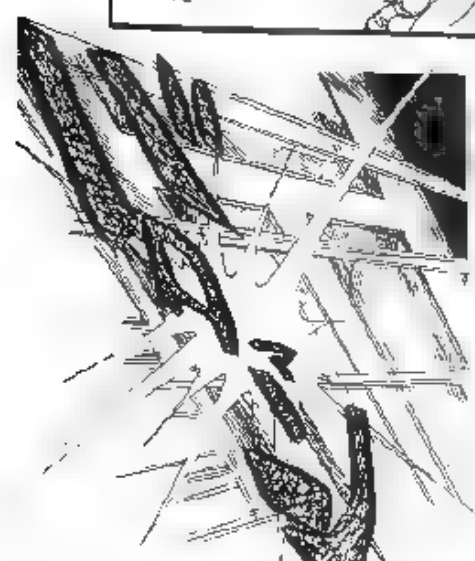
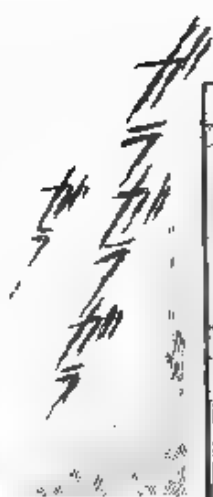




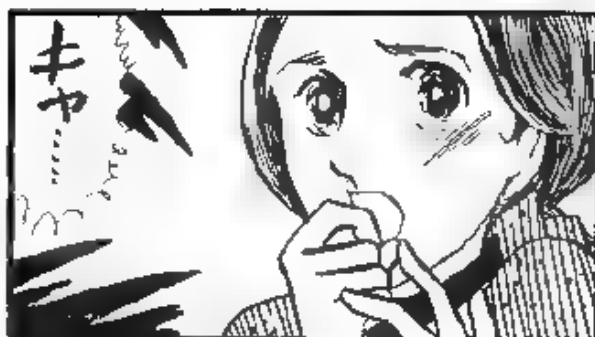


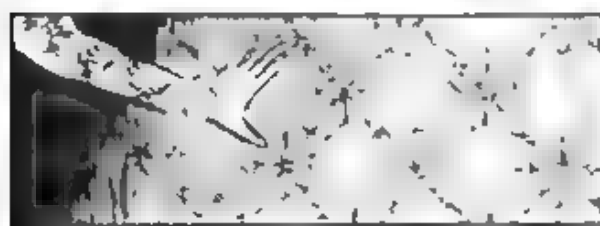


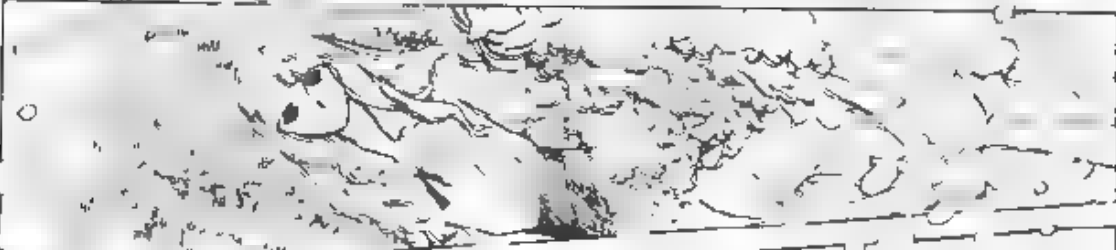
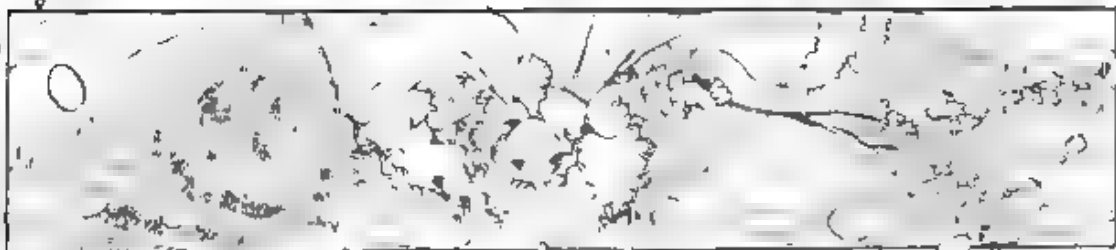
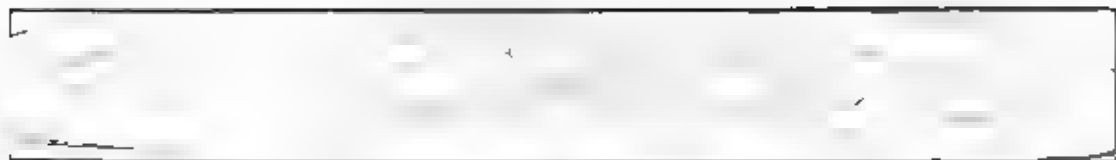
















悪魔を!





これはあなたが
メリーベルを
撃った銃だ



消えろ！
おまえたちはなんのために
そこにいる



なにか
いいのこす
ことは？

実在している
あなたかたよりは
ずっと長い時間を
……



「悪魔……」
消えろ……！
おまえたちは
実在しない！

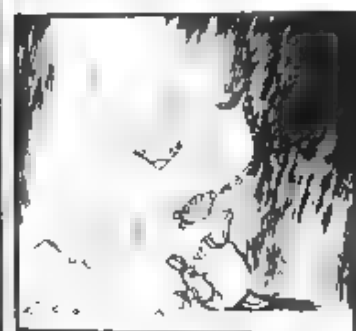


なぜ生きて
そこにいるのだ
この悪魔！



なぜ生きて
いるのかって…

それかわかればー



創るものもなく
生みだすものもなく



うつろ
つぎの世代に
たくす
遺意も
なく



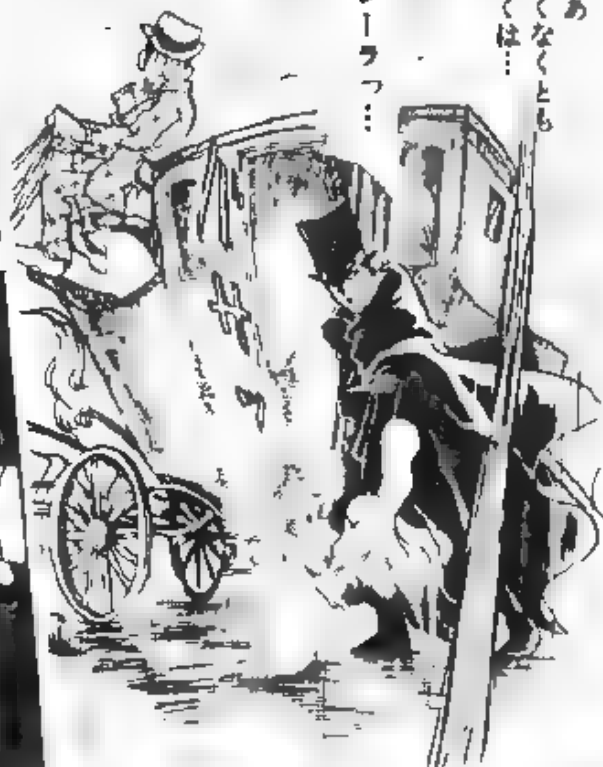
長いときを
なせ
こうして
生きている
のか

・すくなくとも
ばくは



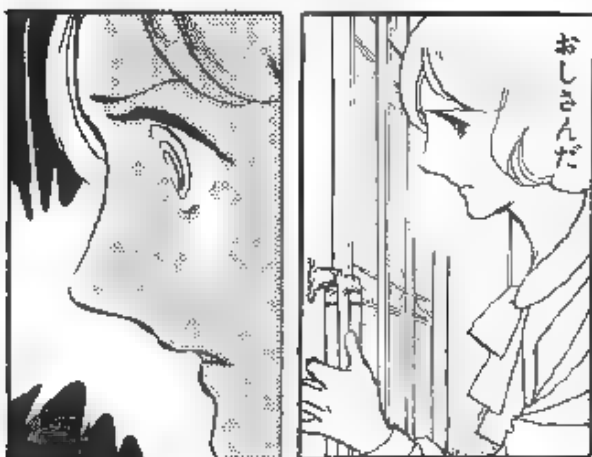
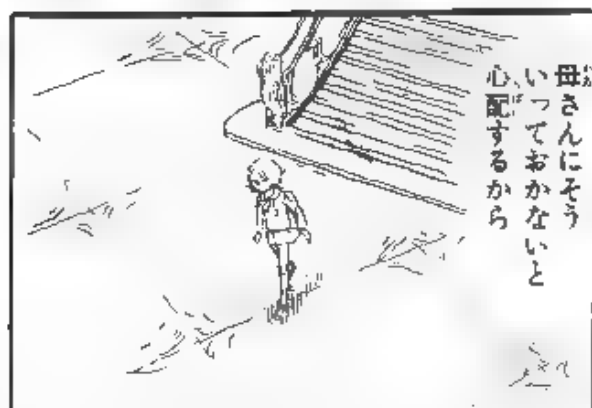
ああ
すくなくとも
はくは...

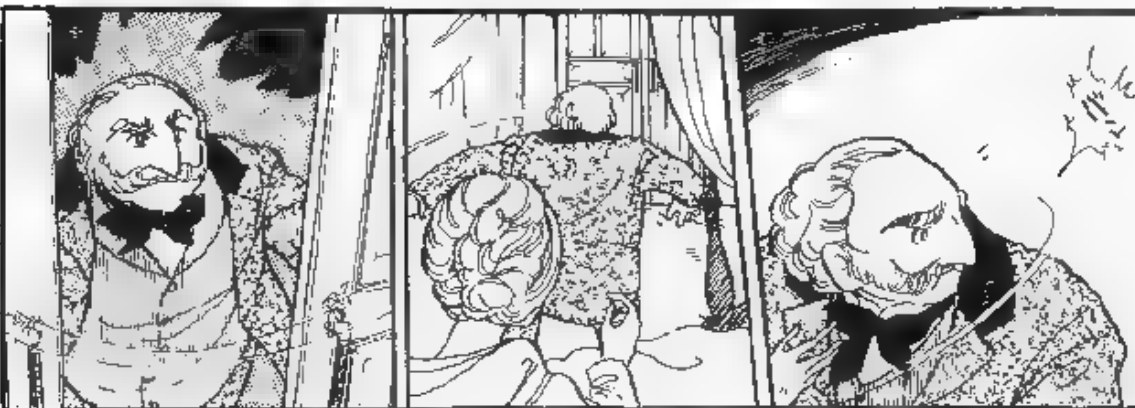
シーラフ...



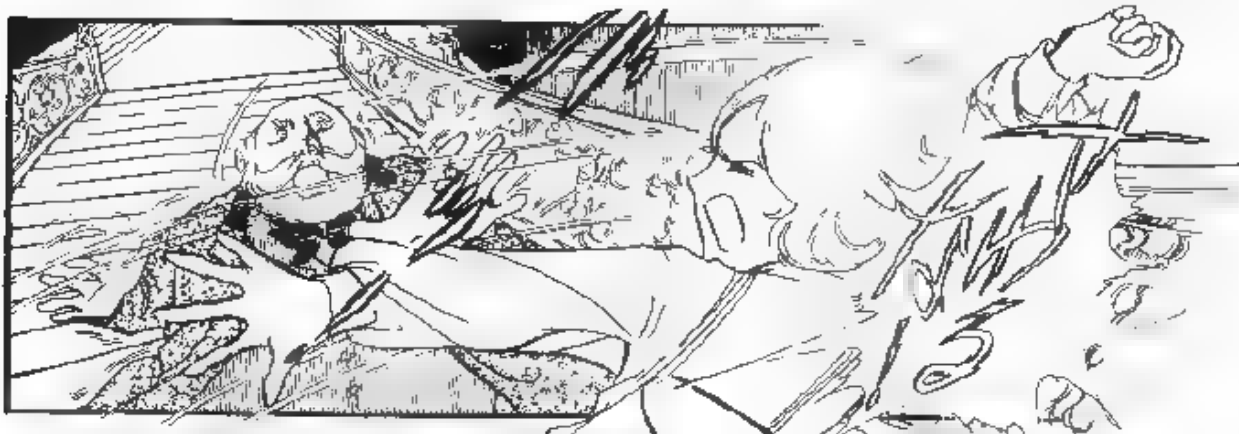
わが妻が
わが愛を
わが運命を
わがし
わがし



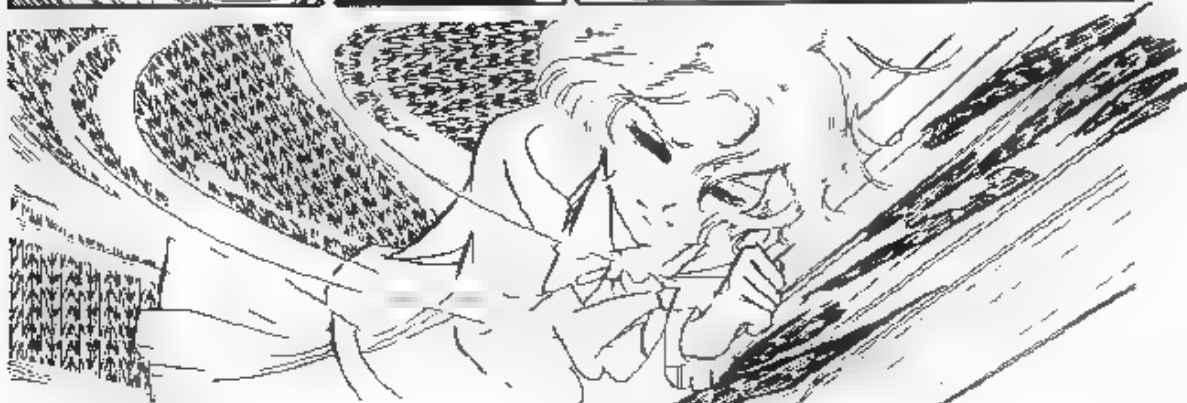






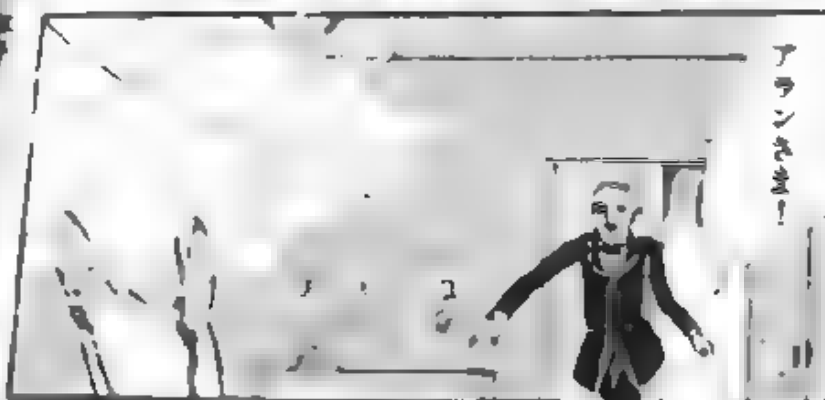


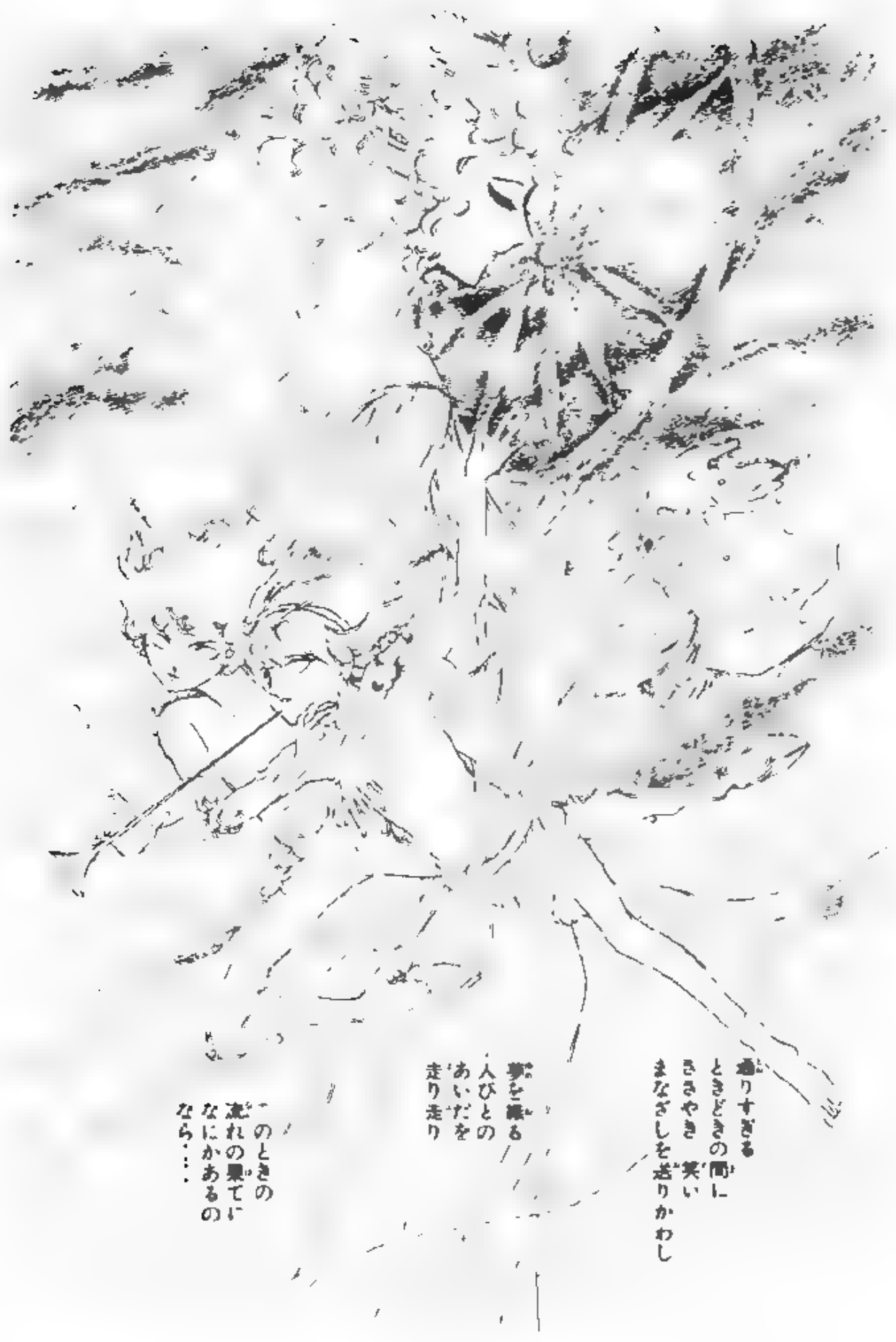








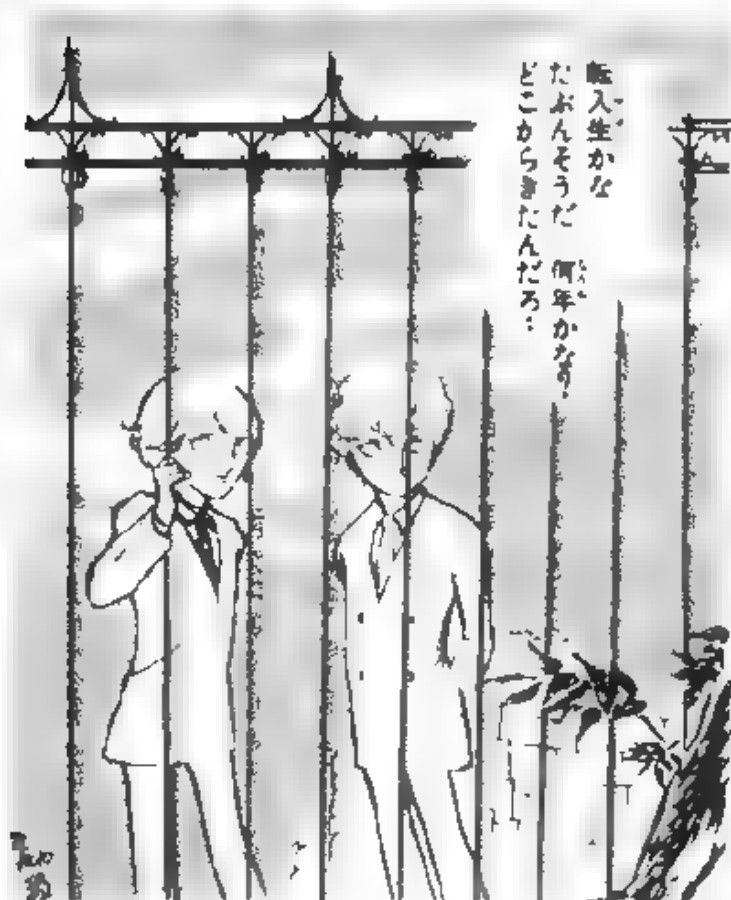


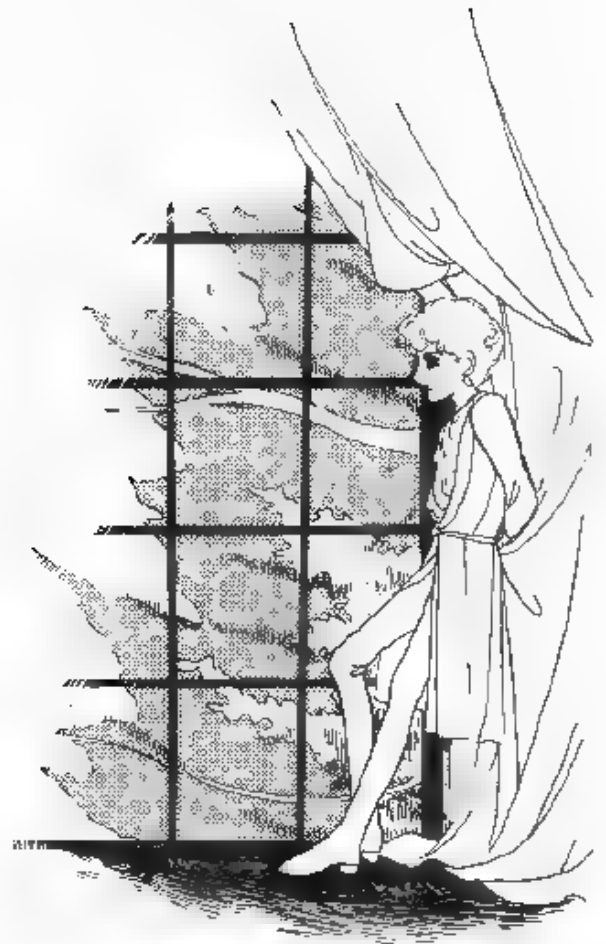


通りすぎる
ときどきの間に
ささやき笑い
まなざしを送りかわし

夢を語る
人びとの
あいだを
走り走り

のときの
流れの果てに
なにかあるの
なら……







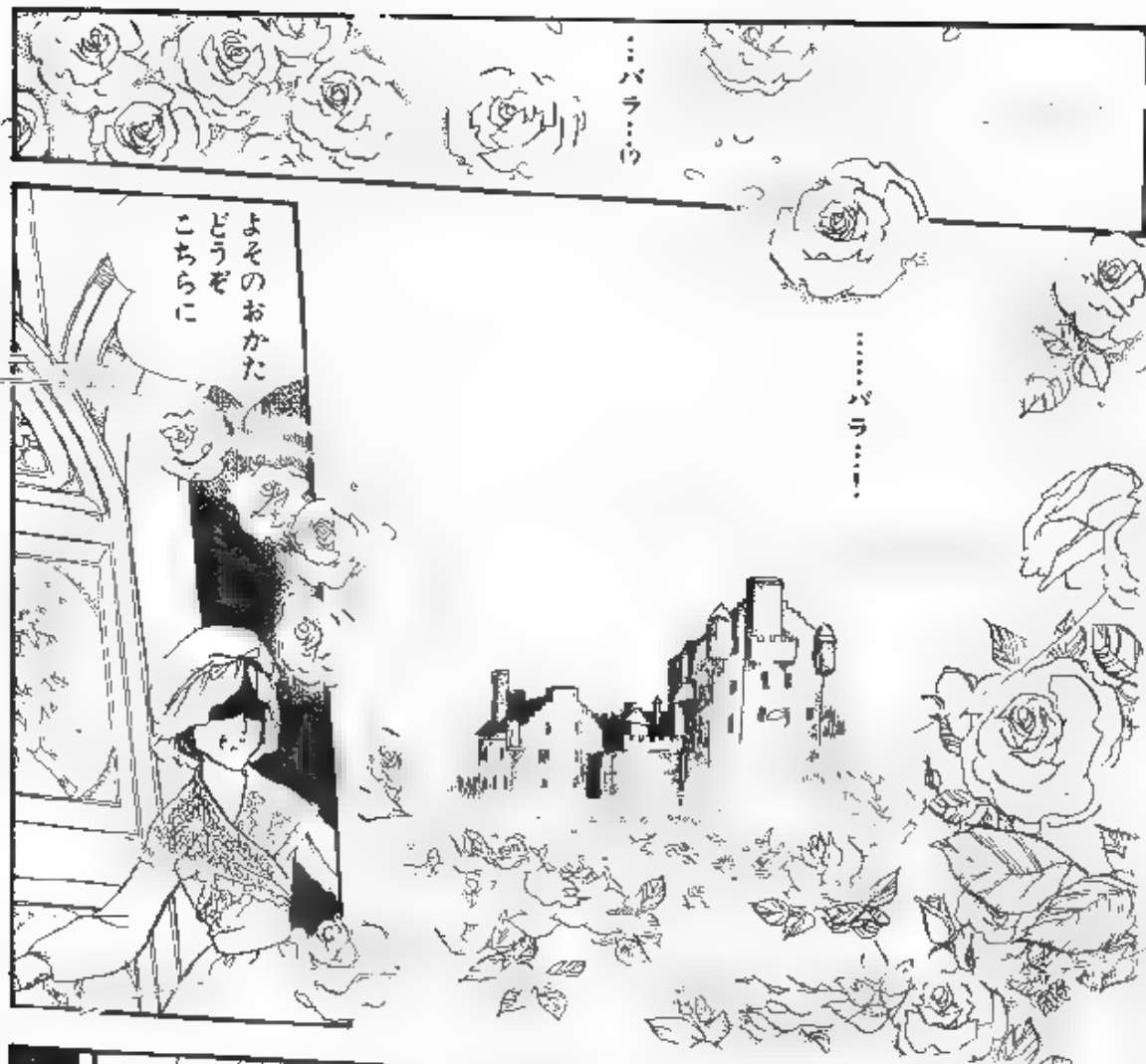


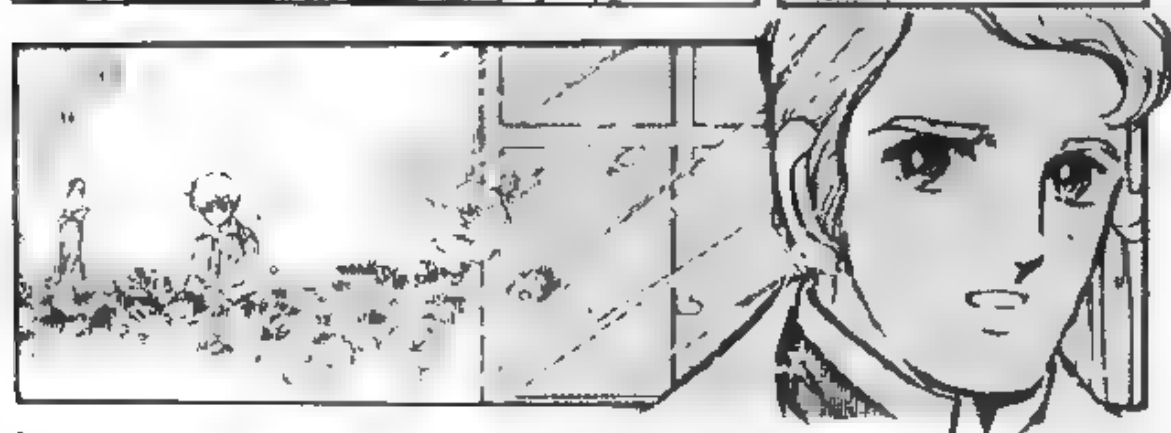








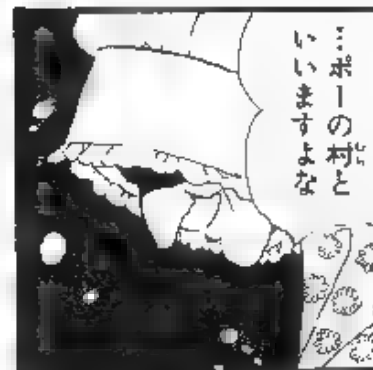














ボ一の
村……



日が暮れます
お館へお帰り
なされ
お一人
で
村から
出られや
しませぬ



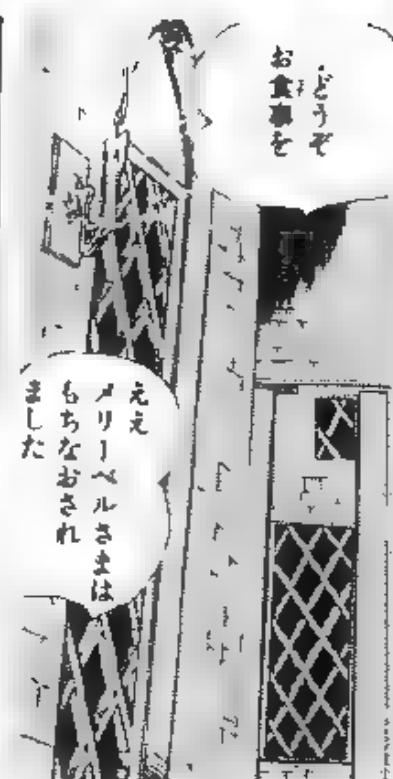
ああ
あのキズでは
てつきり
助からないと
思ってたのに
……意図は？
どんなようす



もちなお
した！



今、
奥さまと
お館さまが
つきつきりで
でも明日には
なにもかも
よくなり
そうです



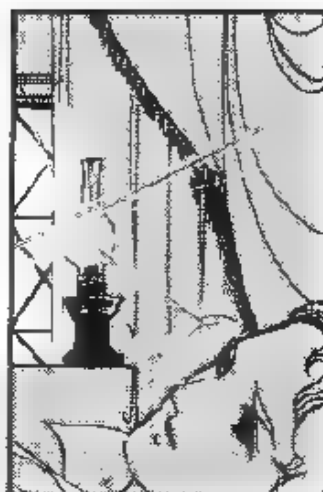
どうぞ
お食事を

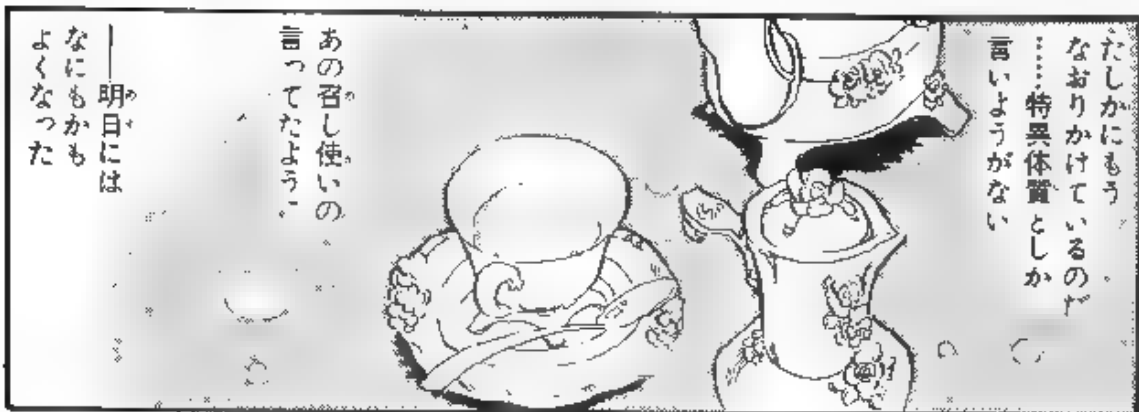
ええ
マリールさまは
もちなおされ
ました

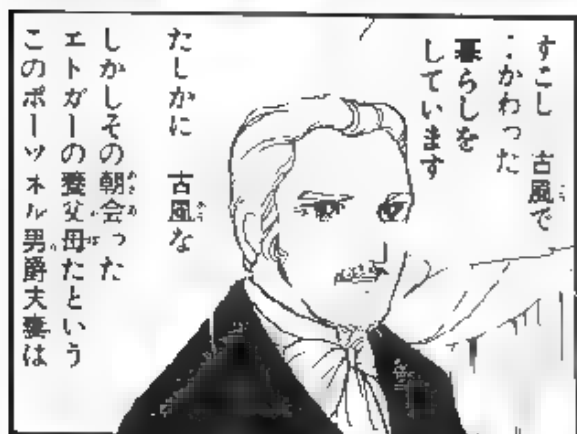


でも
とにかく
ほっとした
……

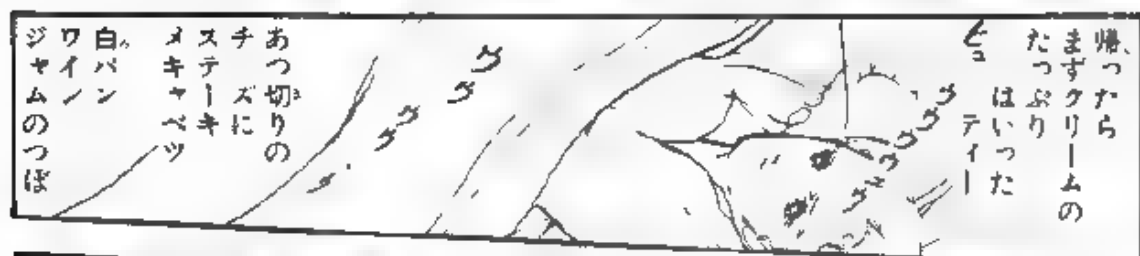
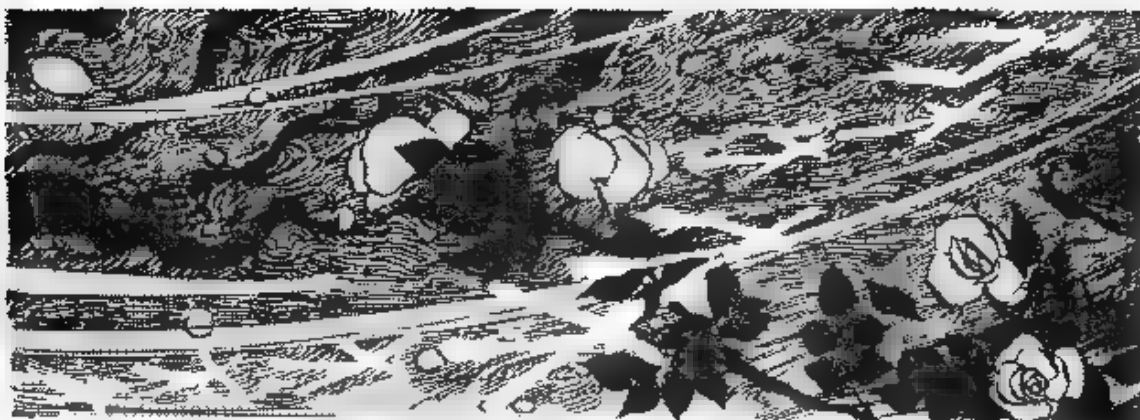
夕食は
スープだけ
パンも
ワインもなし

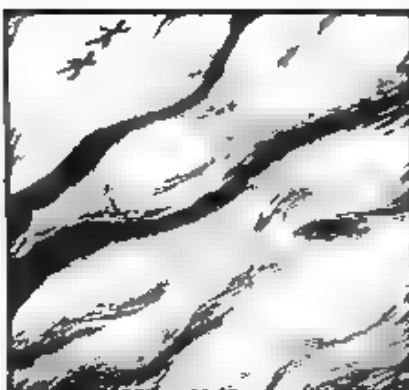


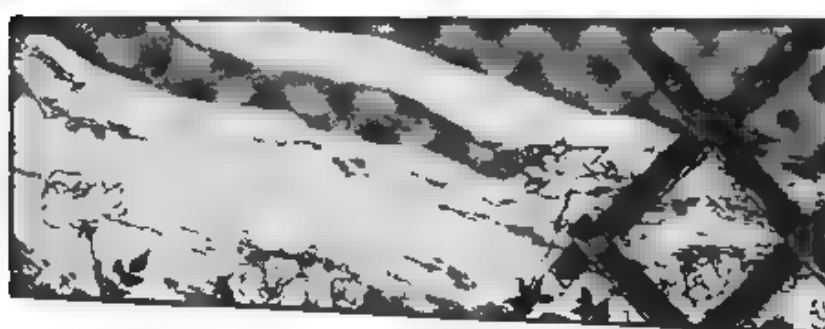














極上の美
永遠の命
底知れぬ恐怖
知りえぬナゾ

伝説の中に
青い霧と
たそがれと闇の中に

しとおちる血と
冷たい指と
ままえみの中に



……わたしも
バンパネラに
なってしまう

妹とシカと
まちがえて
撃つような



ドジな人間を
われわれ
不死の一族
に?



そんな資格は
あなたにはない
どうぞ明日は
お帰り
ください
人間として
神のさためられず
数十年の命を
まっとうして
ください



……首に歯形が
あるだろう!
そんな
へたな
吸いかたは
しません
われ
われは……





一時間後には
サン・タウン城へ
帰った



わたしを
送ってくれた
村人の姿は
すぐ消え



木のまから
しずくが光り

森は昨夜の
嵐で
湿気をおびて



グレンー
どこへ行って
たんだい

二晩も



昨夜はたしかに
嵐だったけど
ボ一の村?

そんな
バラの咲く村
なんて
この近くには
ないぜ

夢でも
見てたんじゃ
ないのか?



すまない
道にまよって
近くの村に
とまって
たんだ

村だつて?

それに嵐で
帰れなくて
お茶をくれ



あの少年は あのあと
少女に わたしの血を
わけてくれたのだろうか



たしかに
この城の周辺を
さがしたが
そんな村は
なかった

首すじに
血を吸った
アザのあとが
残っていたから



—が
夢ではない



こうして日記に
書きつけておく
だけに

首すじのアザも
じき消えてしまった

……と
だれに話しても
信じてくれない

一八六五年
七月十二日
グレンスミス



不死だと言った
少年は いったい
いつのころから
生きているのか

ポーの一族！
バンパネラの
族が住んでる
バラの咲く村……

グレンスミスの日記



だれにする?



ルイス！
窓ぎわの席
とつといてくれよ

ああ

ね おもしろい
話を聞いたん
がよきみの名
：ポーツネル
だったね

ポーツ
ネル



それ これから
決める

エド！



わかった

そうだよ
それでもし
メリーベルって名の
妹がいでもしたら



いたよ



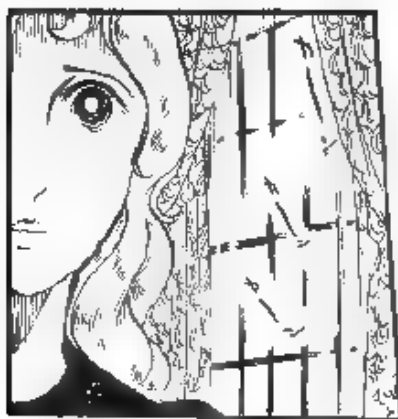
……メリーベル
って名の
妹が



もつと話
が
おもしろく
なるとこだ
先
憑
さ
ぼくの
おばさんちでね
古い日記を――

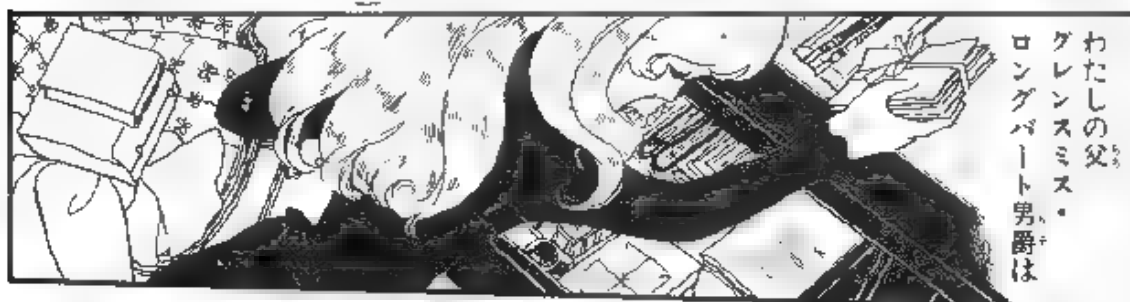
グレンスエスの日記





グレンスミス死去
一八九九年
クリスマスの朝





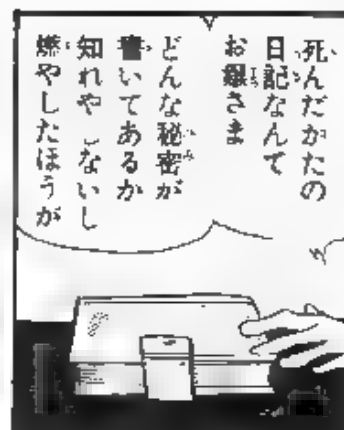


ありがとう
ないしよで
読むわ!

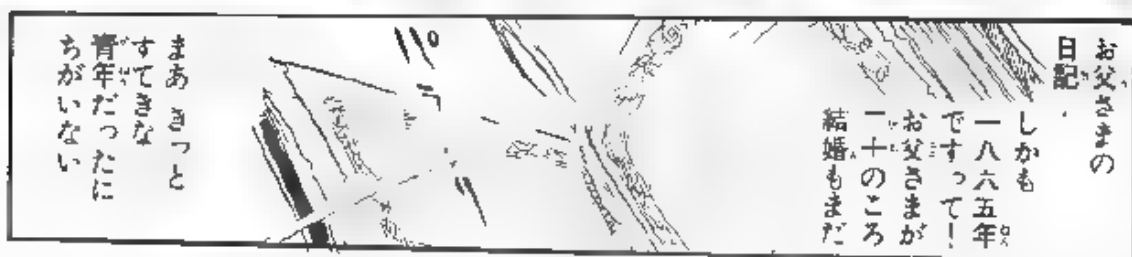


娘の特権よ
いいじや
ないの
それとも
そのロック
あけられ
ないの?

針金一本で
あきますよ
さびてませんし



死んだかたの
日記なんて
お嬢さま
どんな秘密が
書いてあるか
知れやしないし
燃やしたほうが



お父さまの
日記
しかも
一八八五年
ですって!
お父さまが
二十のころ
結婚もまだ

まあきつと
すてきな
青年だったに
ちがいない



考えたとおり
恋歌で
始まっていた

お父さまの
青春の日記

はなやぐ
乙女たちへの
あこがれと:

失恋と...
そして



七月四日
ラトランド伯に招かれて
サン・ダウン城へ行く

バラの咲く
村...

七月十二日
やはり書いておこう

七日 仲間たちと
狩りに出かけ
霧にまよって一人に
なり

しげみからとび出した
少女を
あやまつて撃った

撃った...

バラの咲きみだれる
村にわたしは
みちびかれたが

...そこは...

...永遠の人びとが
住んでいた...

老婆は
バラをつみ
男爵夫妻は
バラを飲み

少女は
ほほえみ

嵐の夜
わたしの首から
少年は
血を吸い

ポーの村...
パンパネラの
住む
バフの村...

不死の族が
永遠の時を
生きつづけて
いる村...

三日目
帰って来た

これはなに？
ロマンチストな
お父さまの
創作？

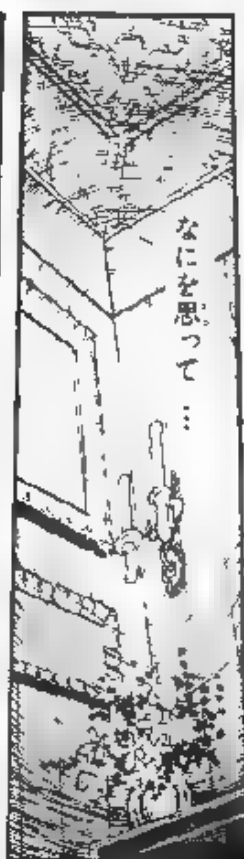
夢？
いったい
なに？

だれにも
話しても
信じては
くれない

だがだれも
そんな村は
知らないとい
うが
さがした
みつからない

こうして
書きつけて
おく
だけにす

一八六五年
七月十三日
グレンスミス





その人はわたしより
八つも年上の
世界の海の果てから
来たやさしい人

屋外音楽場で
わたしたちは
知り合ったのです



それでみんな
言ってやつか
スタンドに足がはえて
幾人でも通って
行っちゃったんだろうって

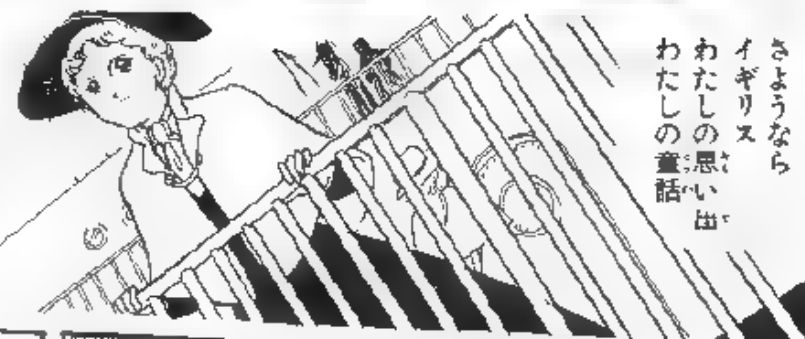
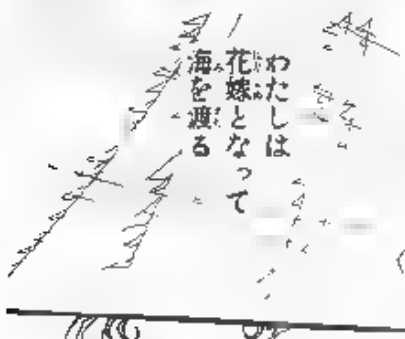
好きじゃない
わたしはそんな音楽で
生きられない

つかれては
いません
ただ一人なので
さびしいだけです

音は
いいです

音は
いいものです

結婚してくたさ







これまでも
ポーアで
モロッコで
バルカンで
世界各地で
絶えず国々には権力のために
戦っていたのですから――

ドイツ皇帝が言った
輝かしい活気に満ちた戦争は
一九一四年の七月に始まり
だれもが
思いました
クススススとは
おわるだろう



人びとは
より貧しく
空腹になり
ストライキが
おこり
でも戦争はつづき
子ともは泣き
老人はこえ

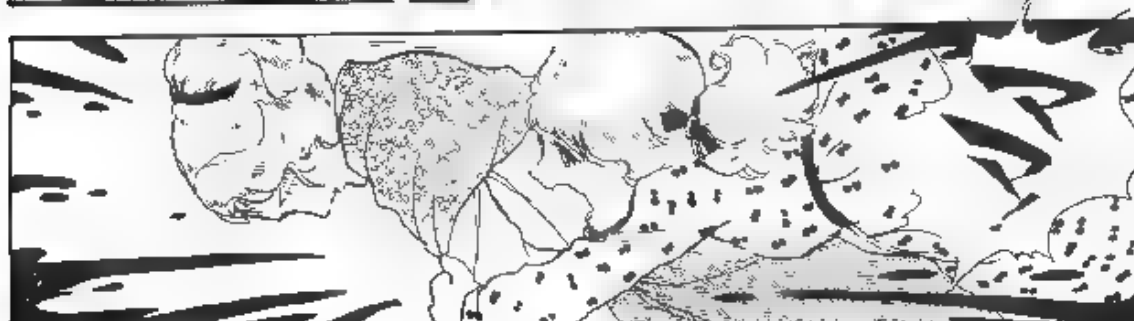
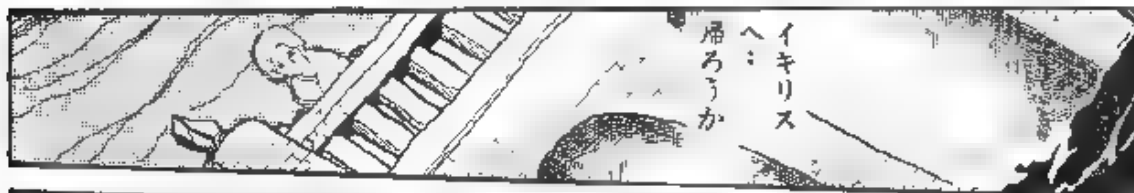
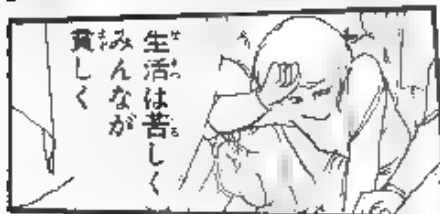
強制徴用だよ
人手が
たりなくて
キールへ
行く……

それは直感でした
この人は帰って来ない

エリザベス
エリザベス
子どもたち
を……
……帰って来る
からね！
この人は
帰って来ない
……きつと
帰って来る
からね！

うそつきのトニー
うそつきのトニー

うそつきの
トニー







わたし
おじいさまが
この日記に
書いたこと
ほんとうだと
思うわ



まあ
フフ
昔ね

ねえ ママは
貴族の
お姫さま
だったのね



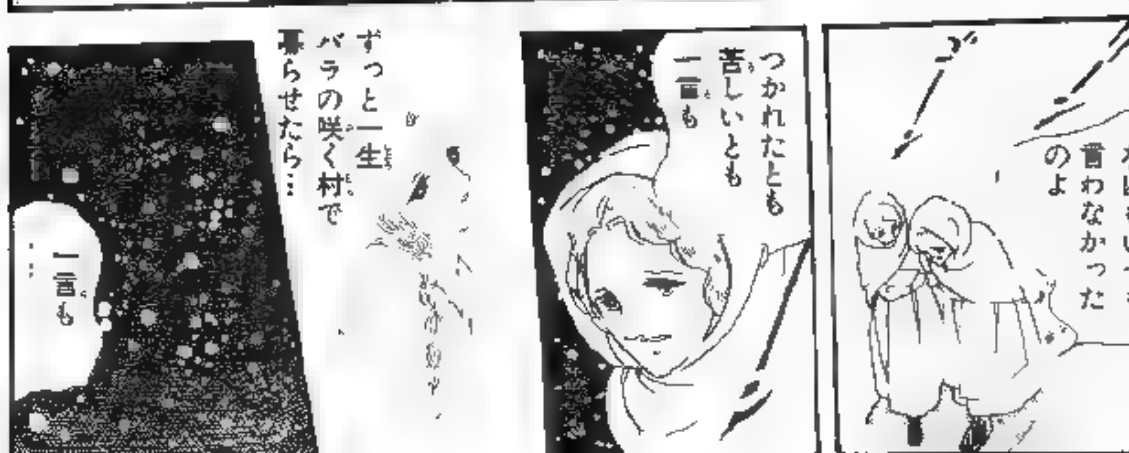
目を
どうかして
ユリーエ
え
いえ
かすむだけ
うつかれ目
よ



もうずっと
一生
そんなバラの
咲く村で
暮らせたら
どんなにいいで
しょうね



家中の
悲しみ
苦しみを
ぜんぶ
せおったかの
ように...



...いって
しまいました

ユリーエは
まだ
十七の
冬に
とつぜん
...



一言も

ずっと一生
バラの咲く村で
暮らせたら...



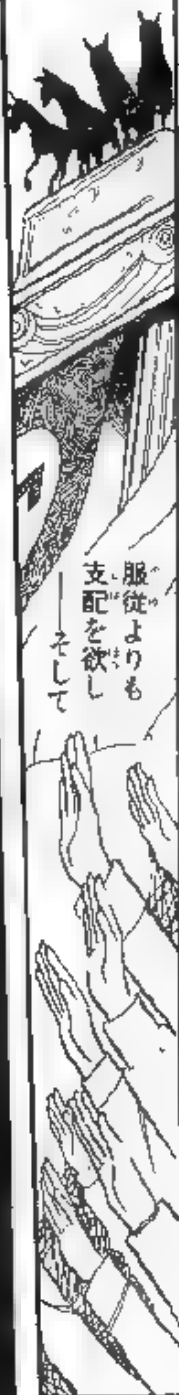
つかれたとも
苦しいとも
一言も



あの子
はなにも
いつも
言わなかつた
のよ



いつも人びとは
不幸よりも幸せを
貪（あまた）しるよりも富を



ドイツはボクシング場へ突入しました
末のマルグリットが七つになった日に



あなたは
戦争に
行くの？
ピエール
さん

わたしは
行きません
わたしは
教師ですから
おばあちゃん

学校でなにを
教えてるの
数学です
計算や
原理
去則
図形ね



……わたしが
教師になったら
歴史を
教えたいわ



ヘッセン家で
男の子は
ぼくだけ
だもの！



ほくが
行かなかつたら
だれがママと
妹たちと
おばあ
さまを
守るの

幸せは
ととめて
おけない
ものかしら



ほんの
少しだけで
いいから

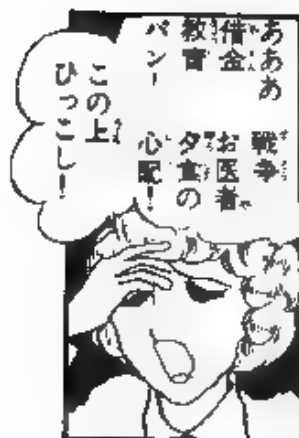
時が
つたり
人びとは
生きて
死に

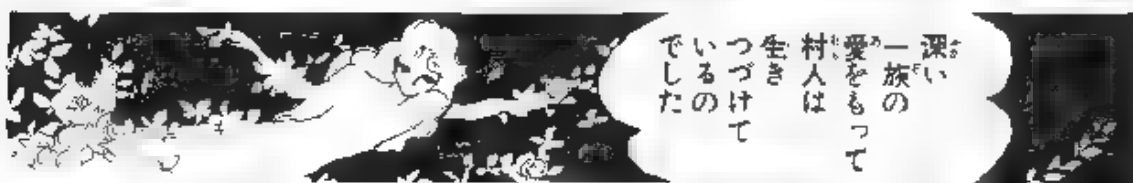


歴史の
流れを
歌い
歌い

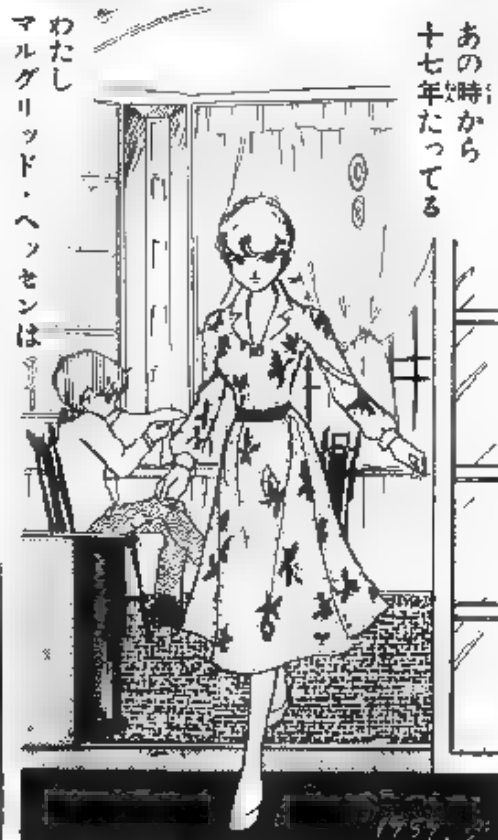
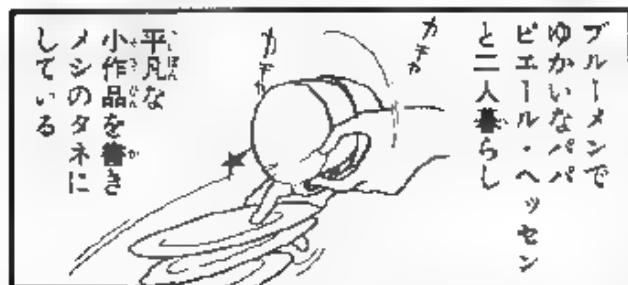
ほんの
少しで
いいから















「グレンスミス日記」

972年 6月

すきとおった 銀の髪

とばりの影には
永遠の笑

永遠の命







：恋はたしかに
少女のふくらみかけた
胸の奥に
ひそんでいて！

呼びかけて
くる……どんな
風や言葉の
ことばより
やさしく



おとといよ
あたし
メリーベル



いつきたの
……この家、
長いこと
あき家だった
んだよ



ぼくは
チャールズ
十四だよ

ふうん
うちの
エドガー
兄さんと
同じ年ね

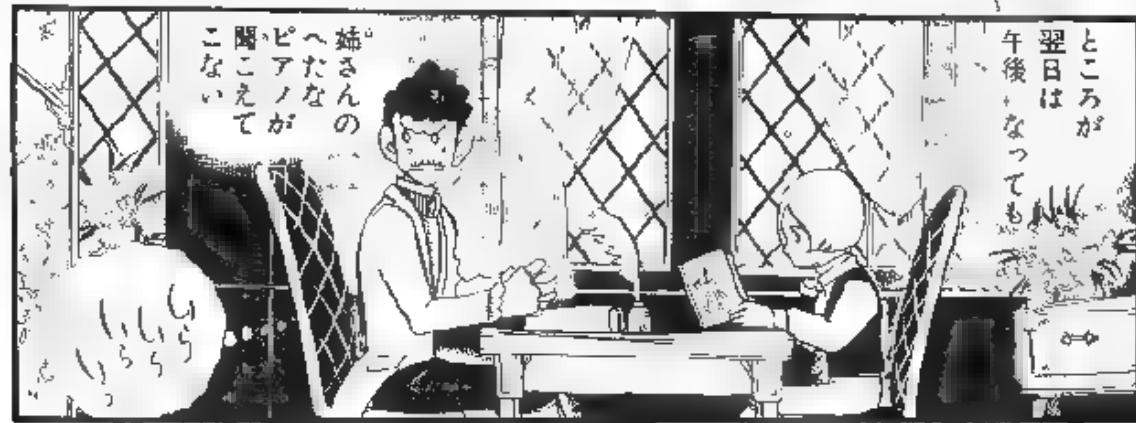
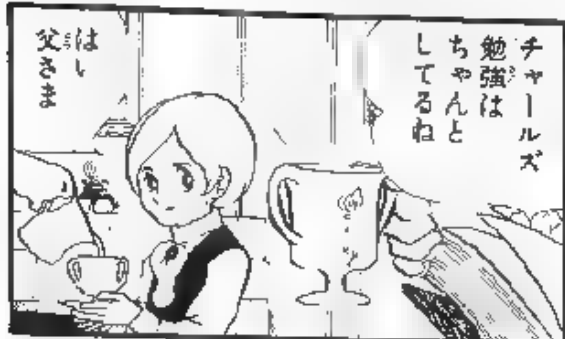
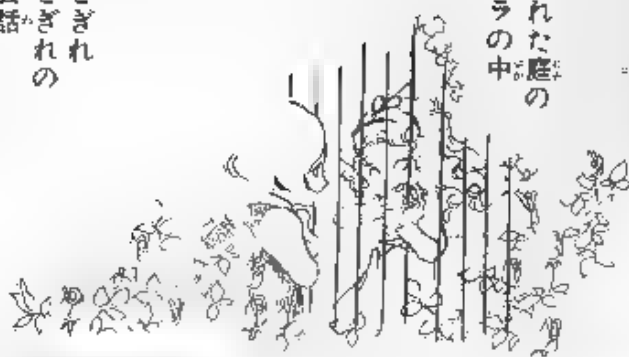




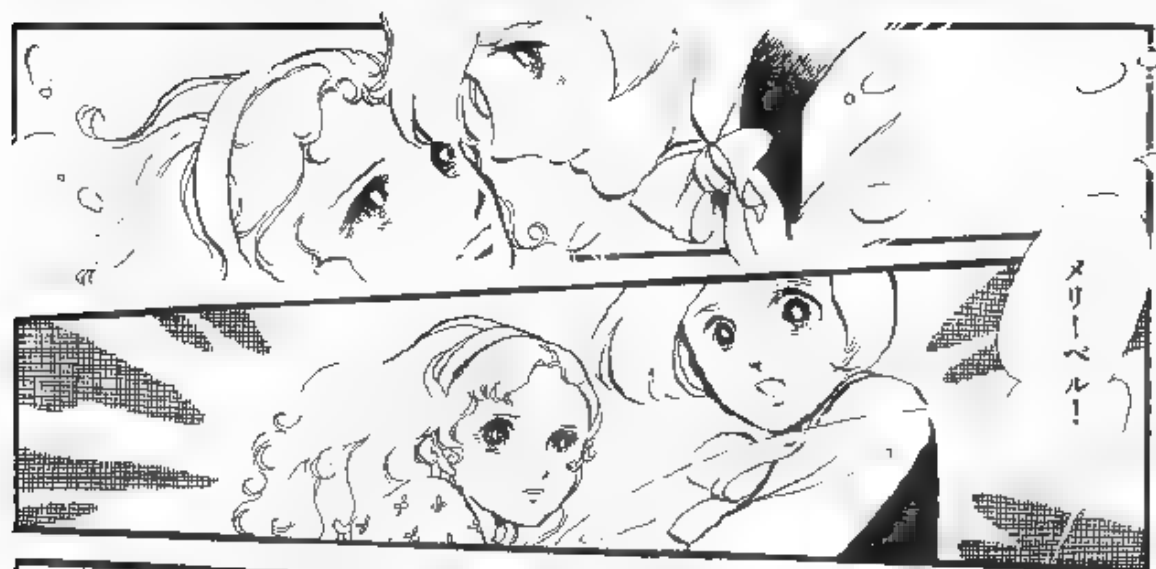
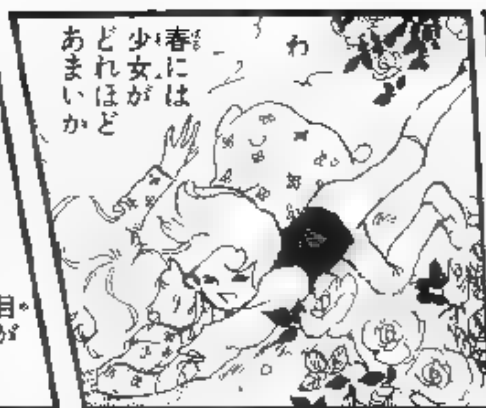
とぎれ
とぎれの
会話

はおむそめ
胸をあつく
して

荒れた庭の
バラの中









百も年上みたい
…ぼくを見つめて
…つめたい目…青い…

また明日
ね…
あれでほんと
おなし年だって



きみ…
また明日
ね…



でもね！
へんな家ですよ
…窓が
ひとつも
あいてないんですよ

おまえの口だす
ことじゃないよ
よけいなこと
母さまに
いったら
しょうち
しないから



坊っちゃん
町はずれの屋敷の
女の子と
遊んでるんで
すって？



チャールズ
…もっと早く
帰ってらっしゃい

心配するじや
ないの



ああ
聞きました？
だれかが道を
歩いてきた話

悪いことでも
してるみたい
…家中
しーんとして

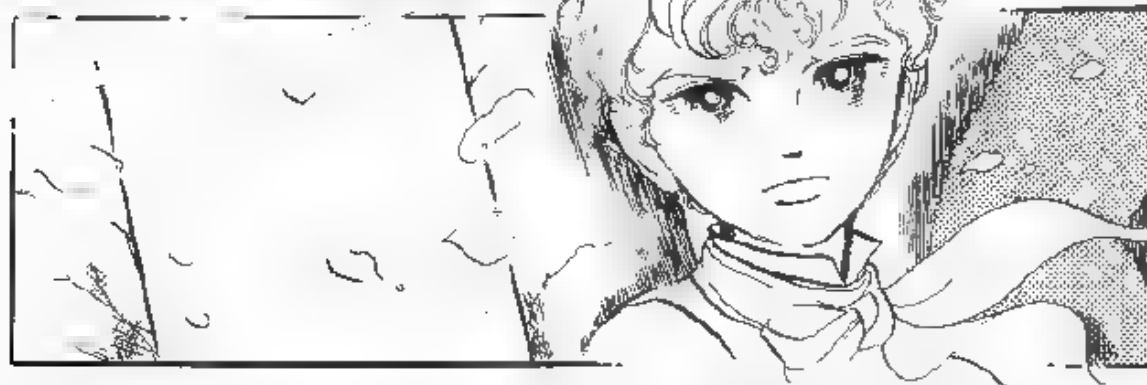


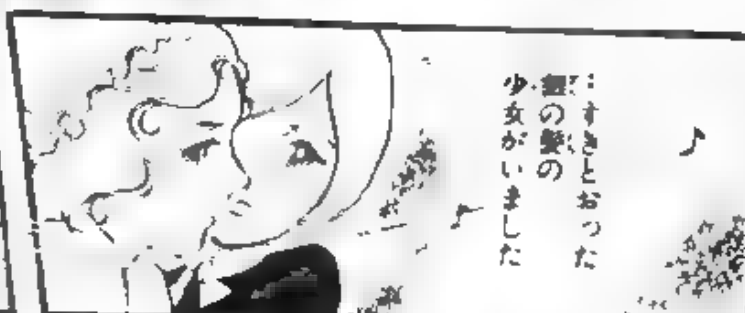
道ぐらい
歩いてても
歩くよ

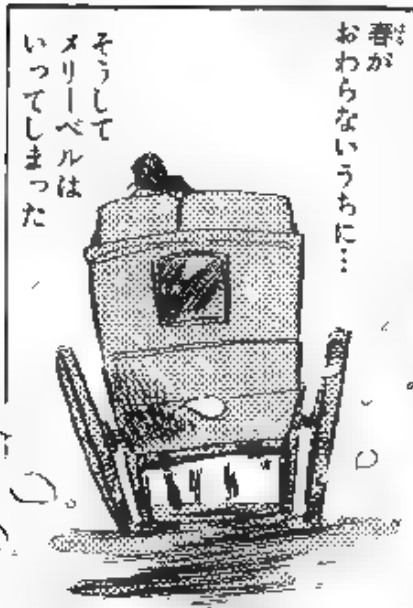
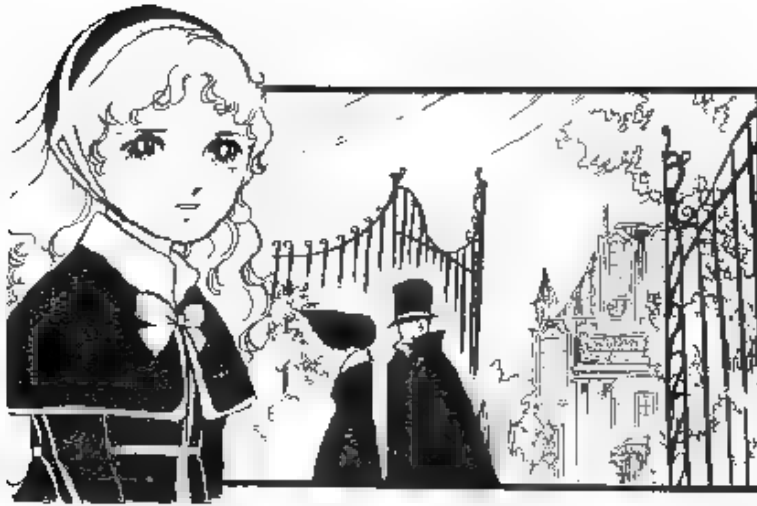
真夜中
ですよ！

神父さまが
窓から見たん
ですって

すくなくともこの
町の人じゃない人が…
…すこく背が高い
マントを着た人が…





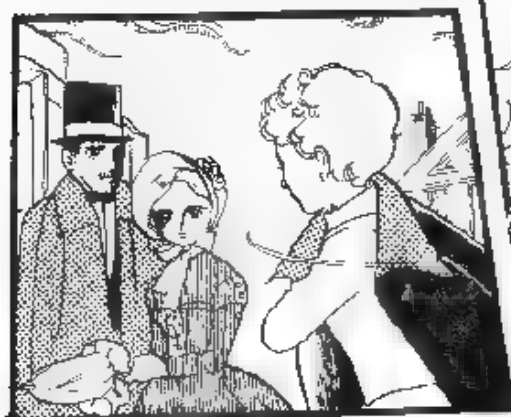


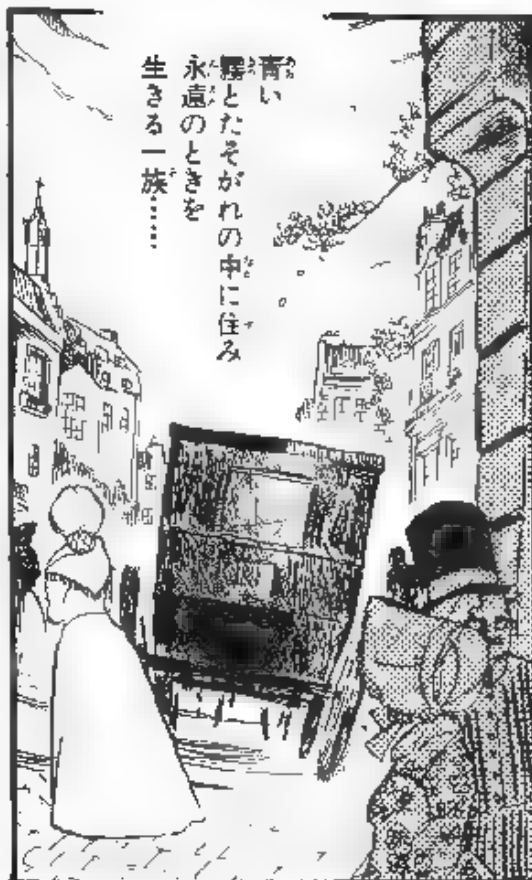
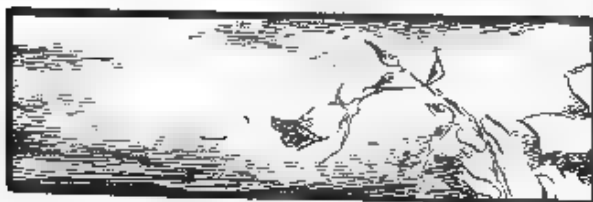


結婚二十五
 年め
 ては花でも
 買って帰ろう
 春バラが
 いいかな
 サンサシが
 いいかな



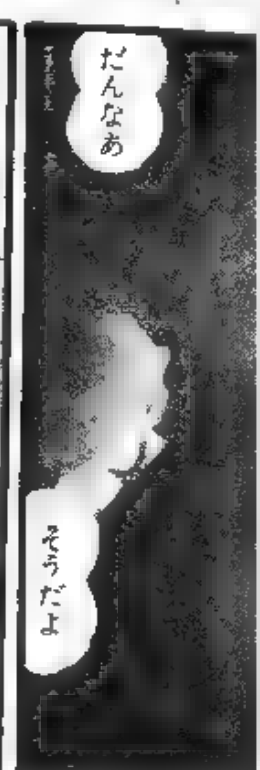


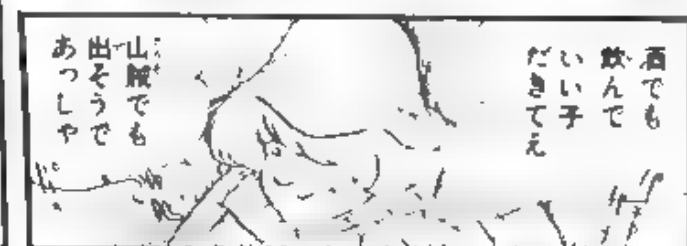
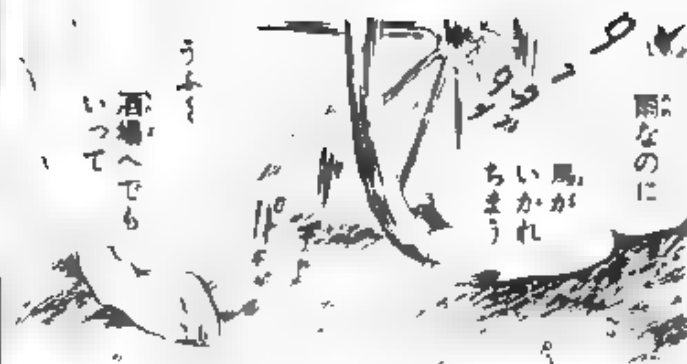




ペーレイ









カネ出しな

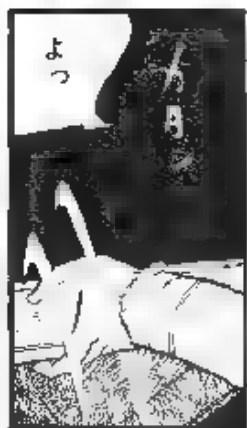


オレたちは
盗賊さま
この街道に
根をはって

へへえ、
運が
わるかったな
はっちゃん



いい子だ



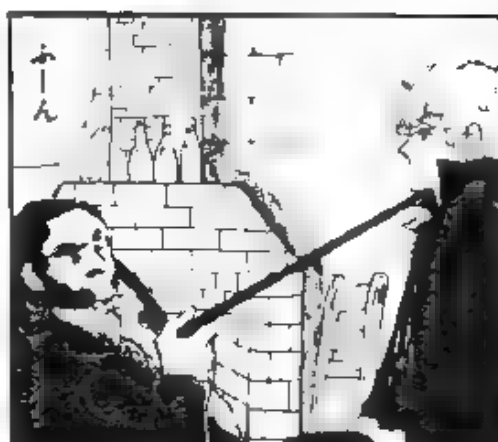
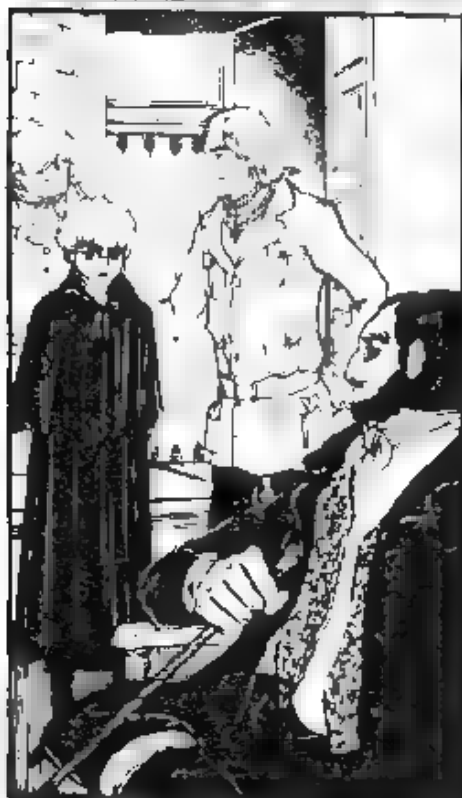
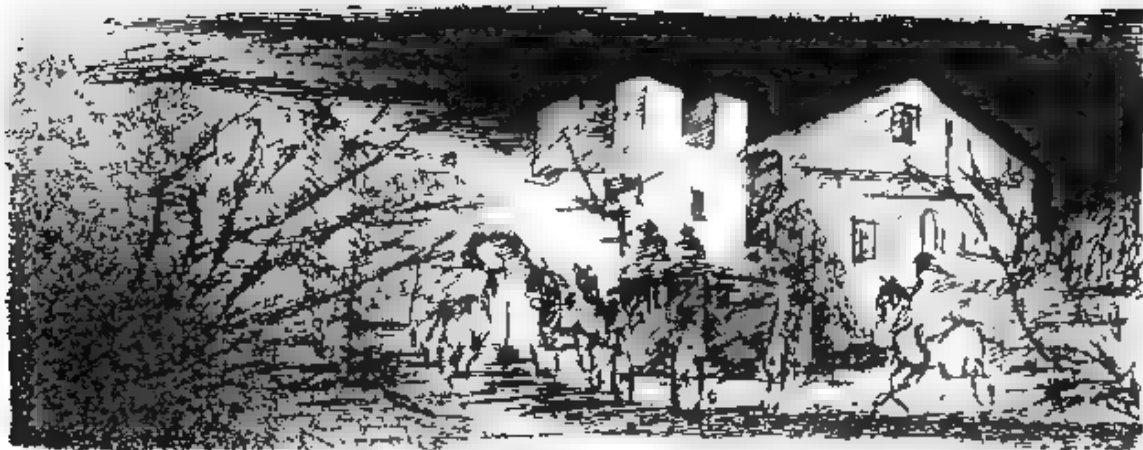
よっ



あんた
一へか？
こいつは
なんだい

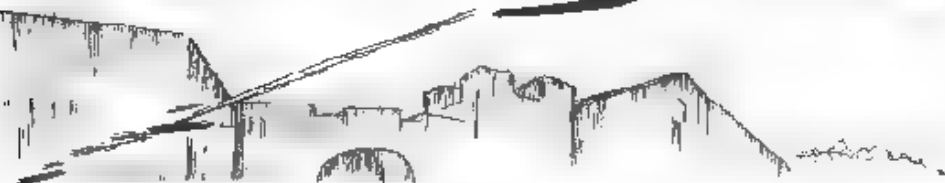
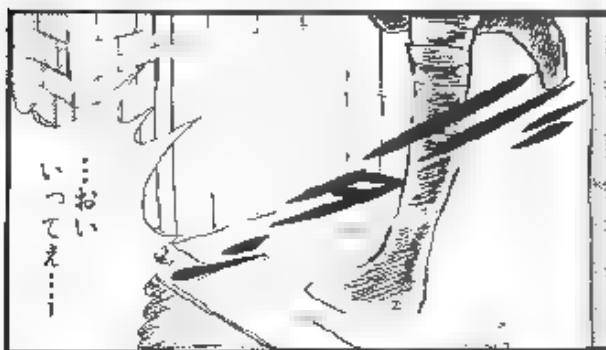
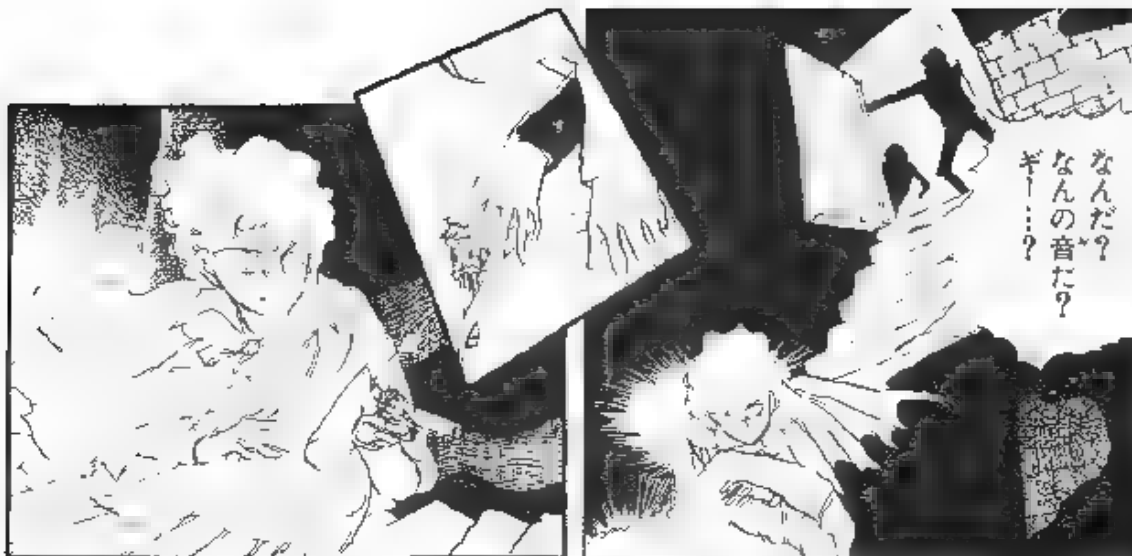
ドク
ニン

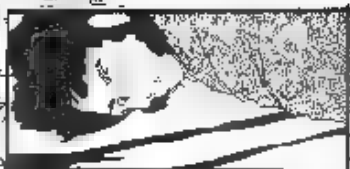








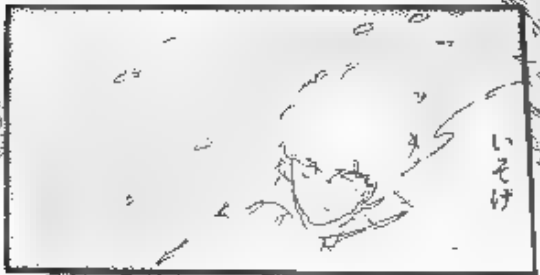
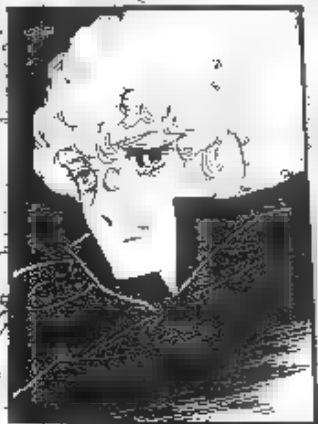
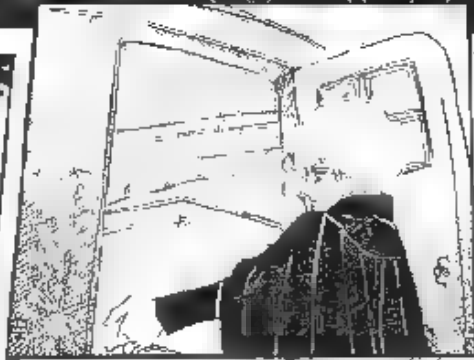
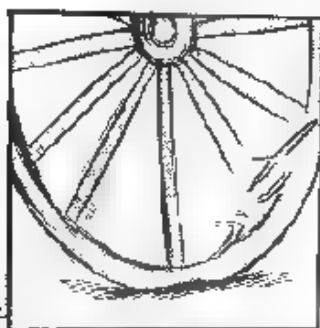
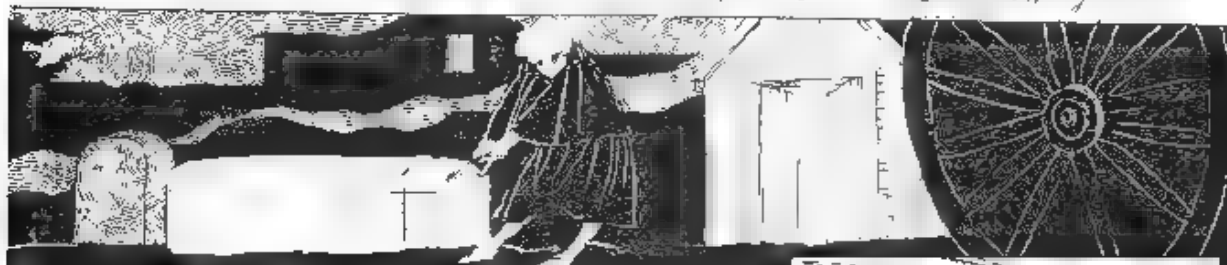




カ
ワ
サ
?

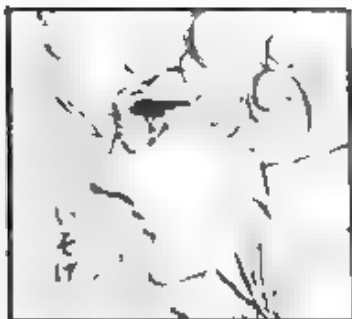
サ

サ
サ
サ
サ



10

早く
ウイノ
小の
さな
館へー



いそげ

いそげ



ア
ランの
目
が
さ
め
る

ボ
ー
ツ
ネ
ル
男
爵
さ
ま
の
若
さ
ま
ま
！



あ、い
お
忘
れ
て
す
が
！
ト
ン
で
す
よ
ー

半
年
ほ
ど
ま
え
こ
こ
を
通
っ
て
い
か
れ
た
男
爵
さ
ま
た
ち
リ
鳥
居
の
お
せ
わ
を
い
た
し
ま
し
た
よ
！

あめ



お
館
へ
？



館
へ
く
ん
た
ん

へえほんとに
いらっしゃる
ころだとは
思っていました

六 七か月後に
またよると
男爵さまから
聞いたから
ましたから

お嬢様

お嬢は
きれいに
ございますよ
まあでも
この時期じゃ

殺風景で
ないもありや
しません
なんでもた

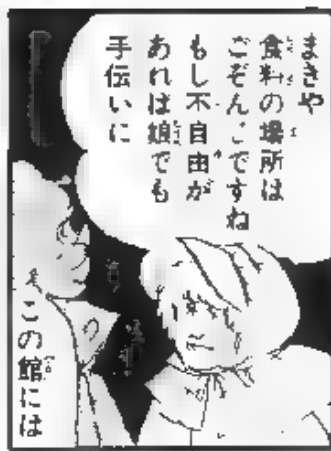
お人です？
男爵さまや
メリベル
お嬢さまは？

ああどうも
かつてに
しゃべっちゃって...





近づか
ないでくれ



まさや
食料の場所
はごぞんじ
ですな
もし不自由
があれは娘
でも手伝
いに

えこの館には



この荷物
はここで
ようござ
います
かい
かるうござ
いますね

ああ
もういいよ

あんな
お館に
お一人
でつぎ
あいの
わるい

貴族さま
の考えな
さるこ
た平民
にや解
せん

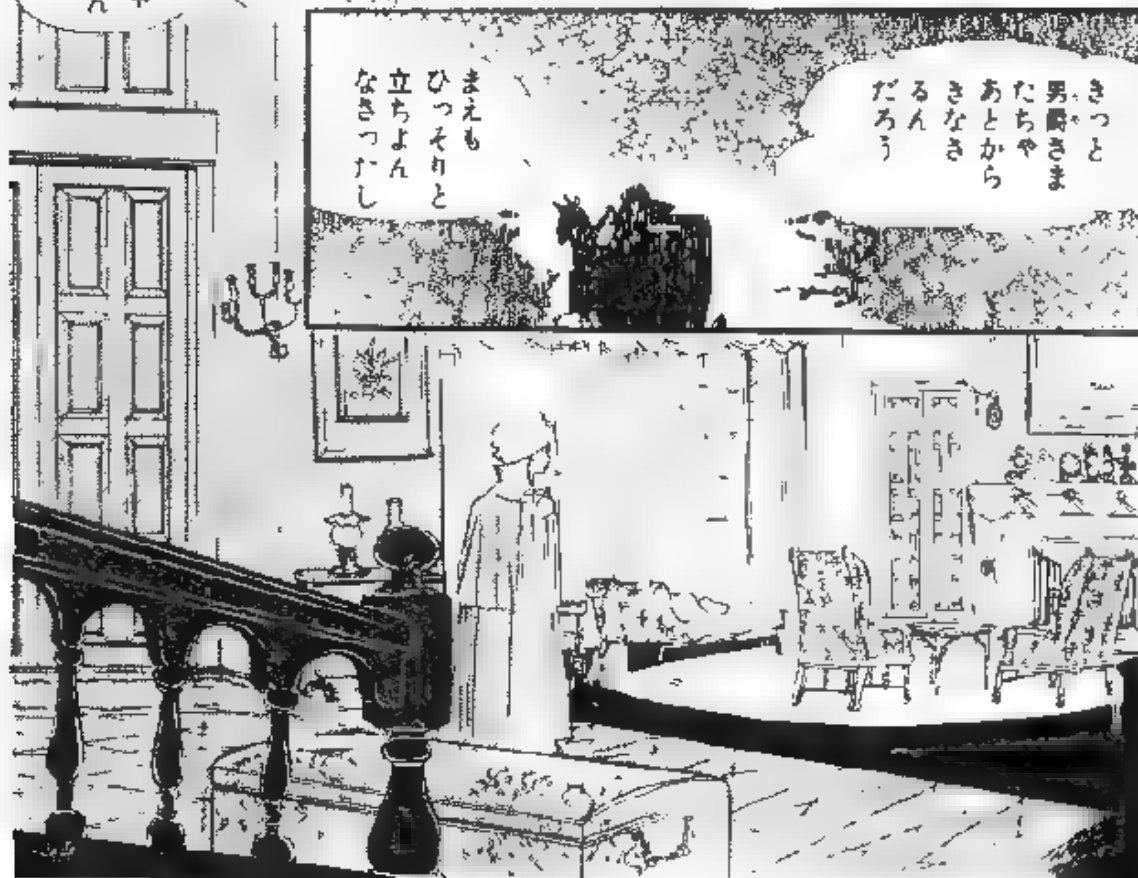


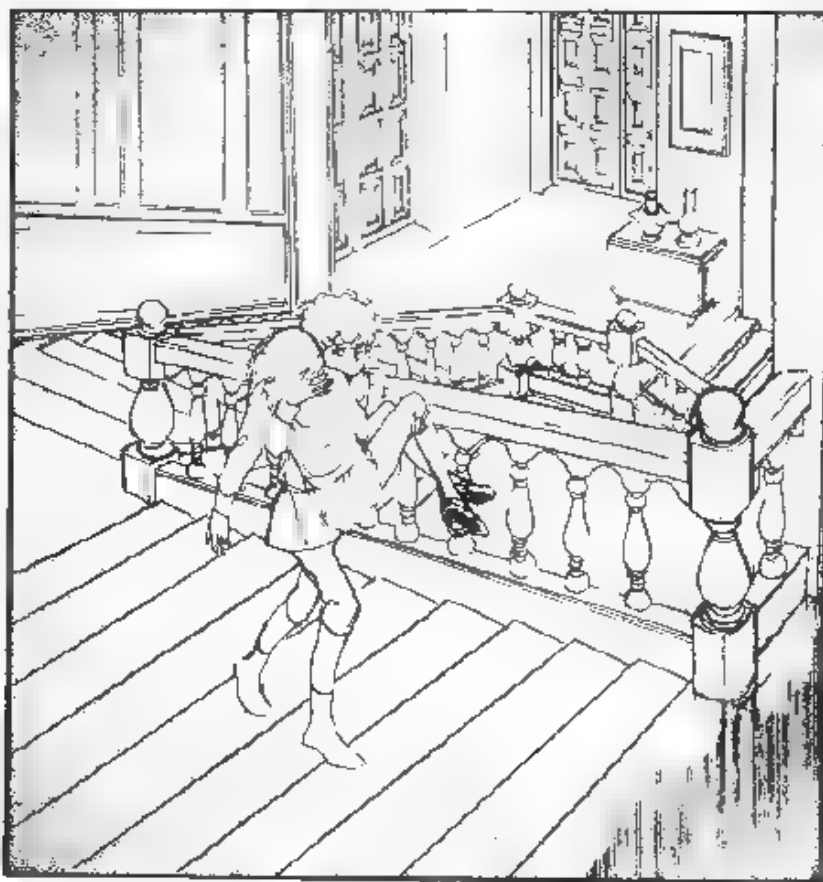
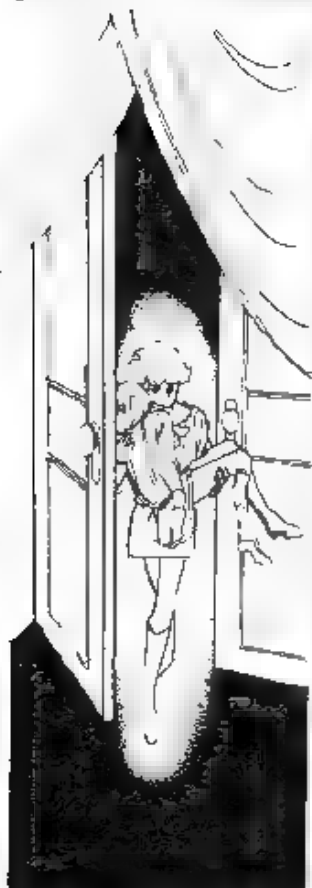
でも
用があり
やよび
なさん
だろし

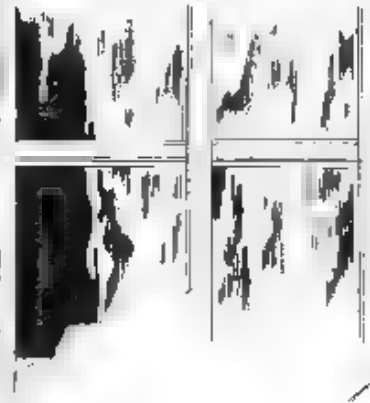
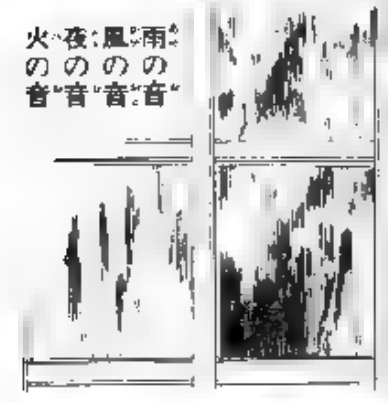
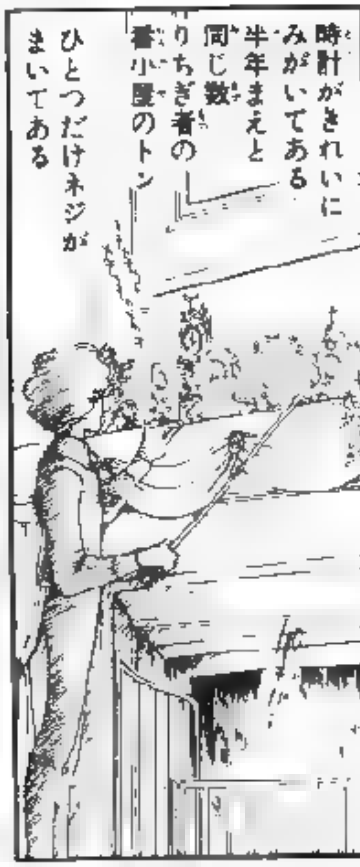
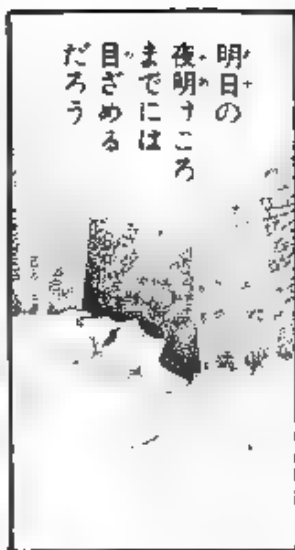
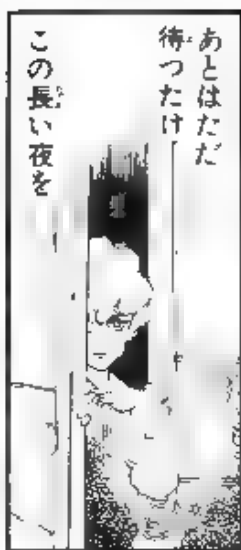


きつと
男爵さま
たちや
あとから
きなさ
るん
だろ

まえも
ひっそり
と立ち
よん
なさ
つたし









日さめよ神話
はくたちは時の夢

昔がたりと
未知への畏怖が
はくらの苗床
はくらの歌

さようなら
さようならを
わけておしま
アキラ
人間界の
すべてのもに

わがまをいふね
はくたちは
なにがこれか
とてへゆえのか
早
目をおさまし
早
永遠を駆け
馬車が出る



エトガー
エトガー



おまえ
おまえ



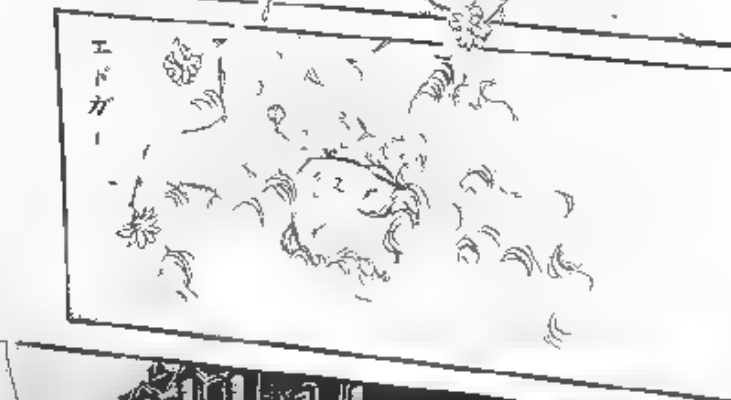
銀(愛)は小鳥の
影の



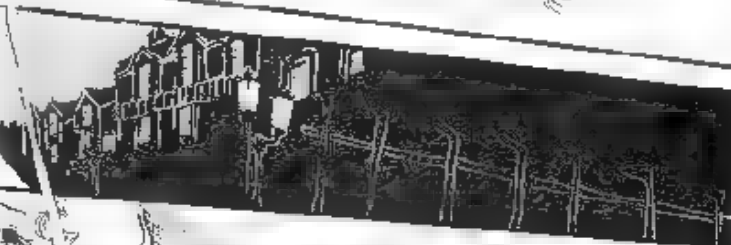
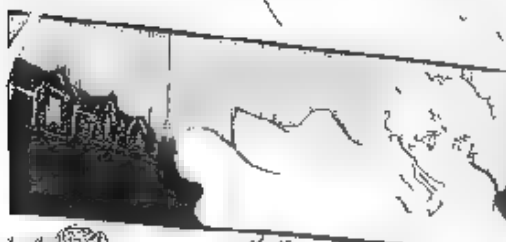
おまえ
おまえ

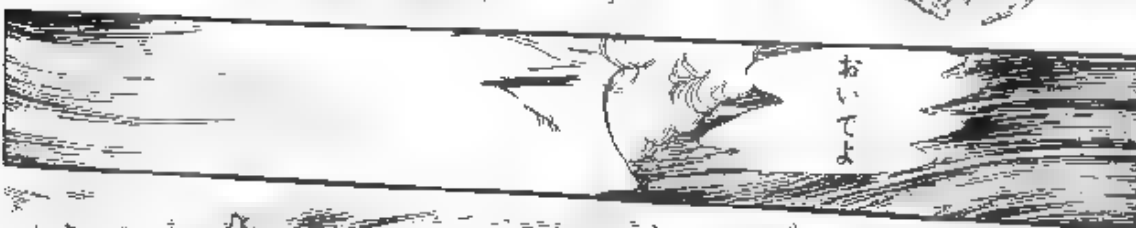
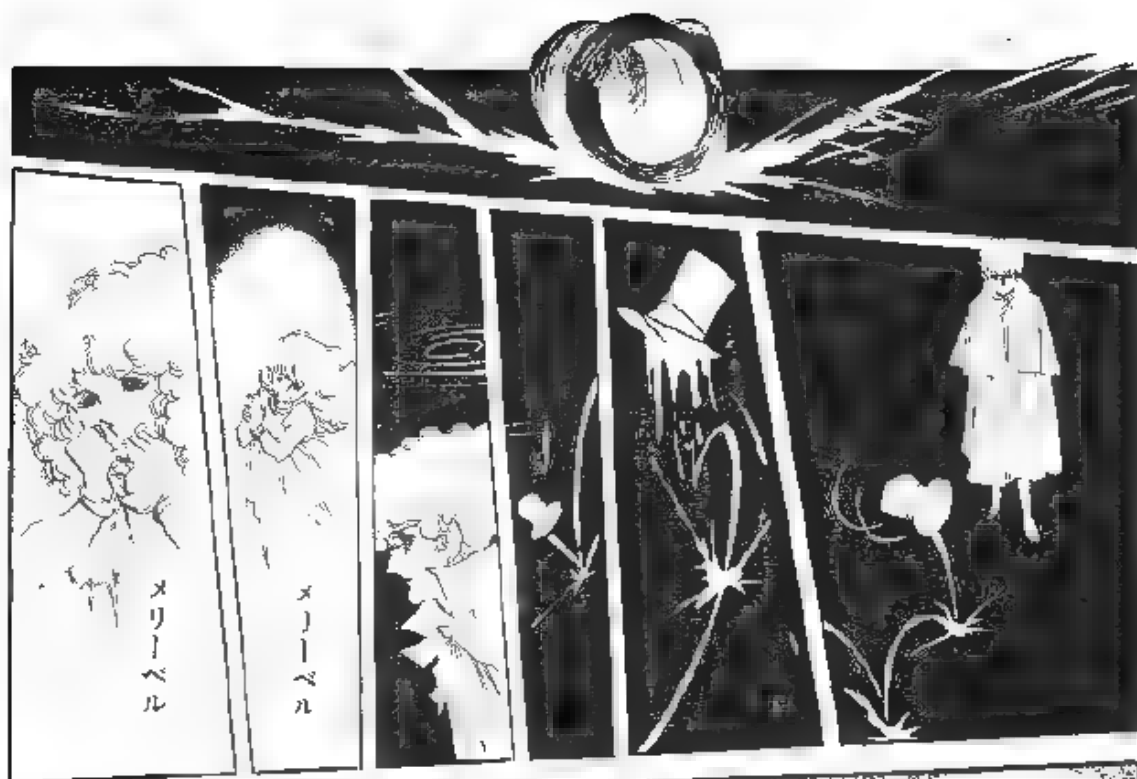


エトガー



エトガー





メリーベル

メリーベル

メリーベル

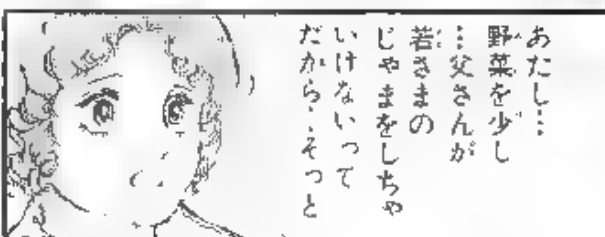
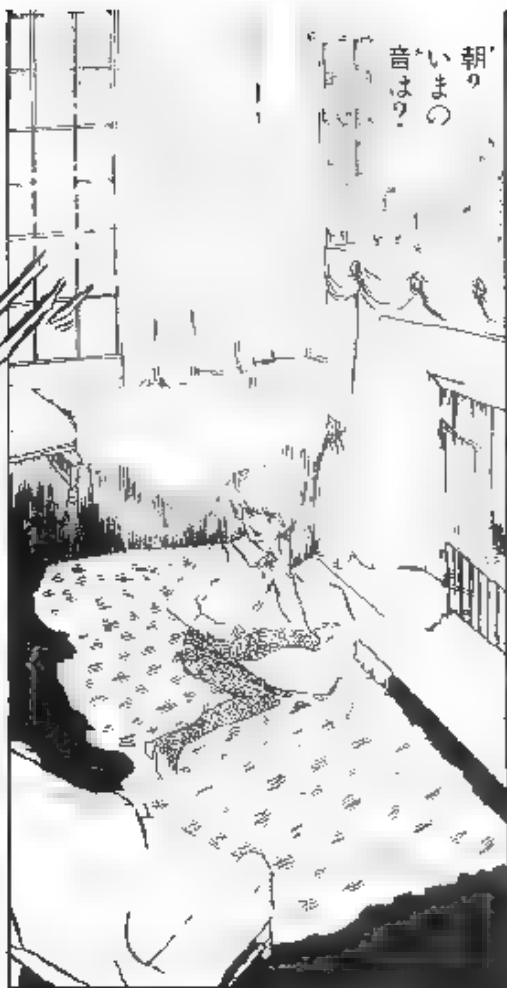
ほくと
くるね

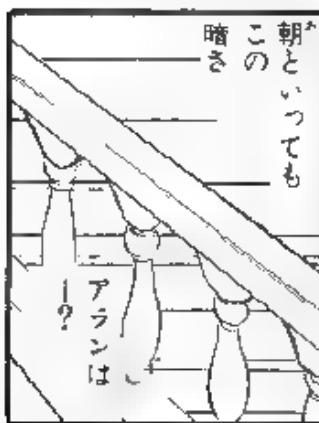
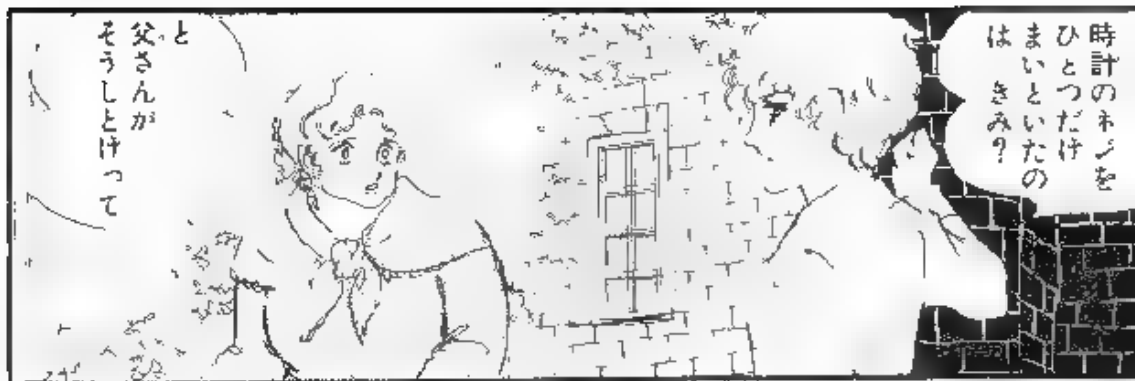
おいでよ

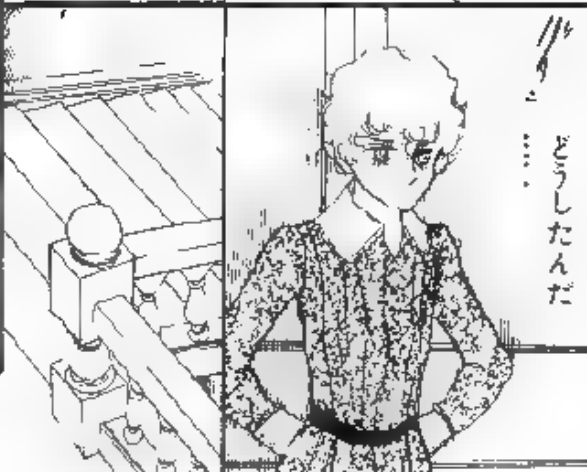
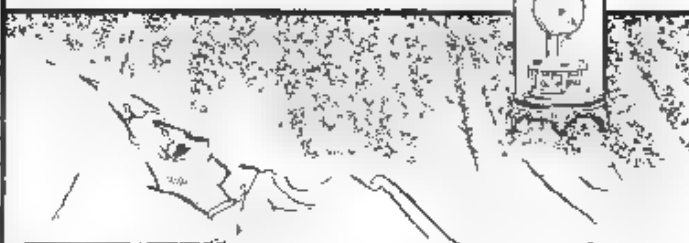
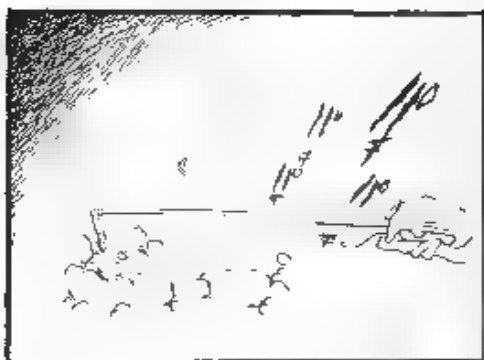
おいでよ

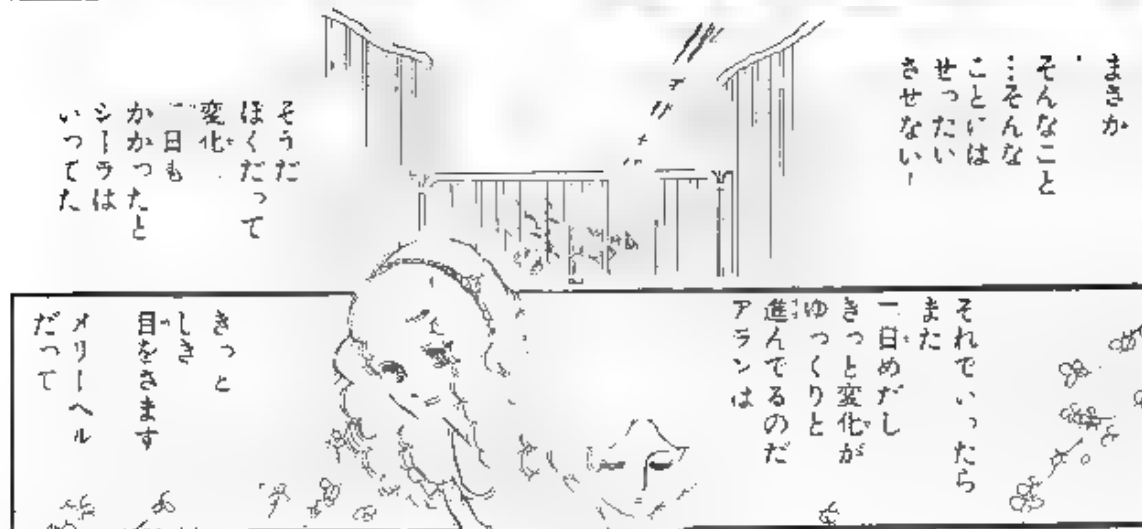
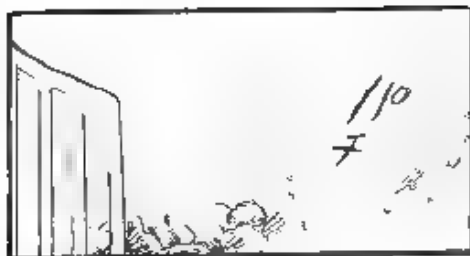
おいで
おいで

人では
さひし
すぎる









メリーベルだって！

メリーベルは

あの子は
ぼくが
仲間
くわえた
ちやんと
一日で
目さめたのだ

花の中
花の中
ぼくはどれほど
あの子を
愛したろう

いつも
あの子を
弱くした

すが
しけた空気や
つめたい夜風
ま憂の陽が

ぼくたちは
よく交流を
おこなった

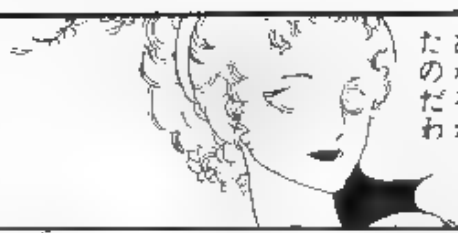
メリーベルと
ぼくは
よりそって

ときには
半月も
静かに
ねむりこんで
いた

メリーベルの
語きは
あなたのせいよ
エドガー

流れる
あの子を
ゆめうたも
お互いの心
流しこむ
古い血は
清化され
より新しき

あなたの血は
メリーベルに
あわなかつ
たのだわ



あれだけの
濃さを
もちながら

おかしな
ことだが

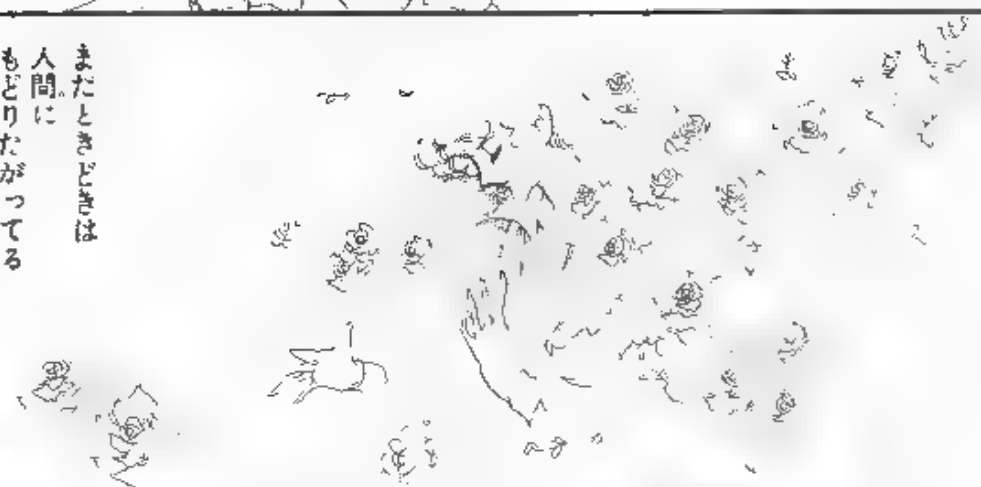


まあ
おまえは
一族のうちでも
いろいろと
特異だから
へんだから
しょうがない
おまえは
異常だから
かわりもの
から
おまえは



またときは
人間に
もどりたがつてる

バラを散らす
その手を持つて――



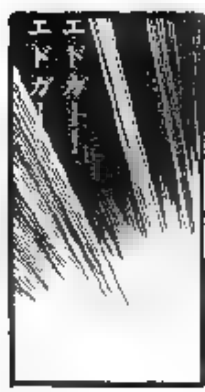
ときどき
じゃない



いつだつて
もどりた
かった



なの
メリーベルの
手をとつて



エドガ
エドガ

殺して
しまつた！
殺して
しまつた



ほくが
仲間にく
わえて



エトガー！
エトガー！

アラン！
目を！

ぼくは一人で
思い出ばかりを
追いつける

——なぜ目を
きまさない



きみを
つれてきたのが
まちがいで
あったと
しても

ぼくが
生きては
いけないもの
なのだと
しても



雨の
せい……？



アラン
雨
雨

なんて暗い



湿気だらうか
この重い
なまぐさい

これがアランを
目ざめさせない

メリーベルも
水にはたいそう
弱かった

雨がやめば

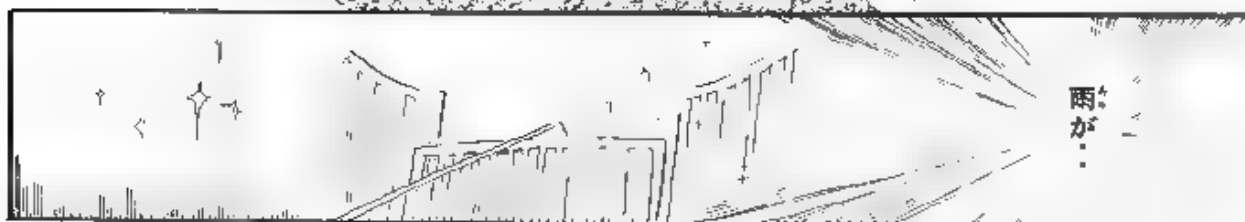
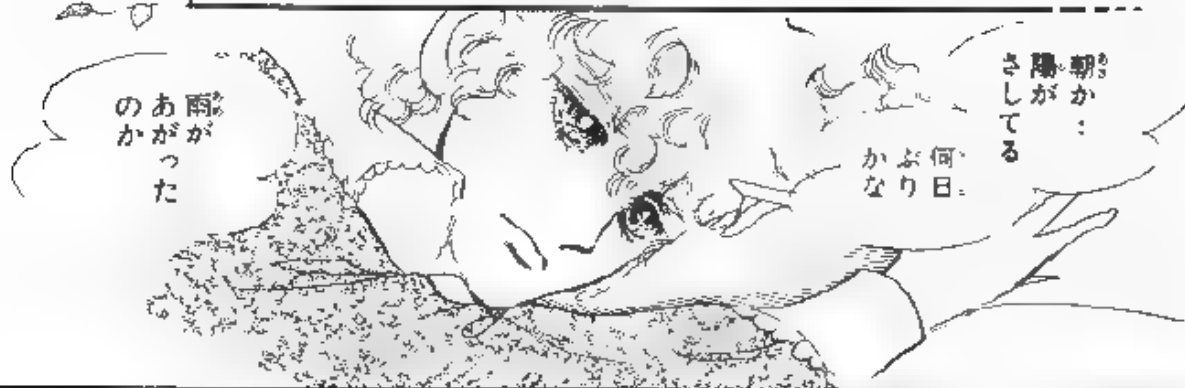
やみさえ
すれば
……

おいでよ

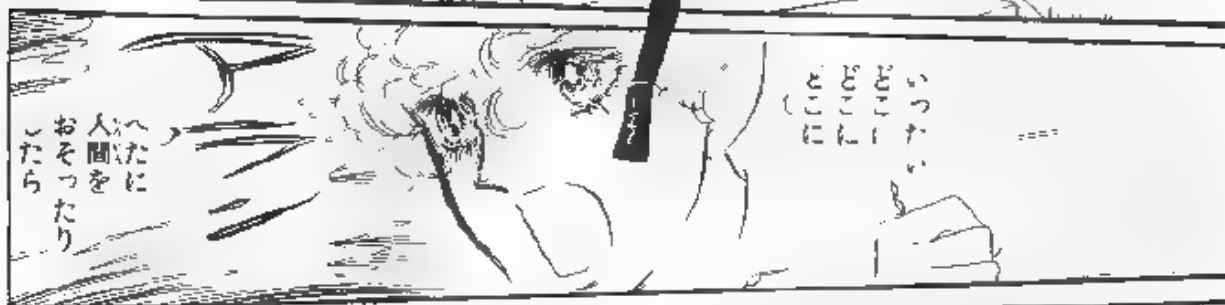
おいで
おいで

一人では
さびし
すぎる

さびしすぎる









二日まえ

でも
父さんが
そうしろ
って

いつり

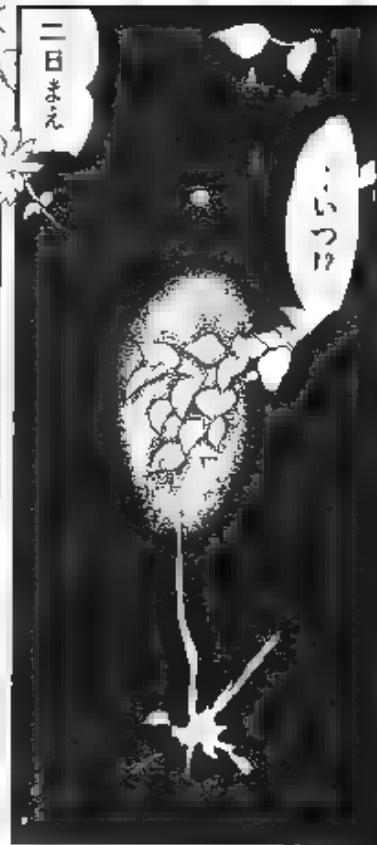


銃
あつかえ
ますかい
若さま



昨日から
村のものと
役人衆が
山を狩って
四人殺した

街道からむこうに
盗賊が出るとは
聞いてたけど
雨でエサがなくて
村まで
きやがったんだ



二人ほど
まだ
つかまんねえ...

あの森のほうに
追ってんで
こっちのほうは
大丈夫と
思うけれど
念のため

わかった



見つけたら
うち殺して
くだせ
いいでつか
うち殺して
くだせ!



……街道で
おそつてきた
やつらの
生き残りだな



西の森のほうに
村中で狩りでは
夕刻までには
つかまろう

どこだ
アラン

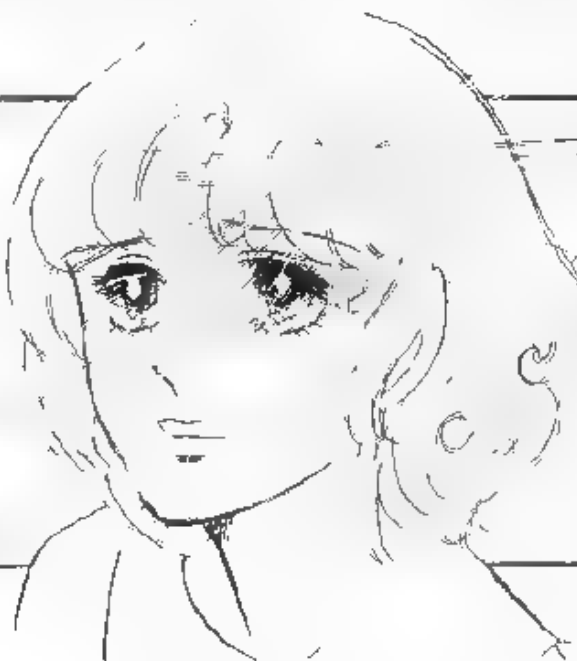
どこを
さまよって
いる?



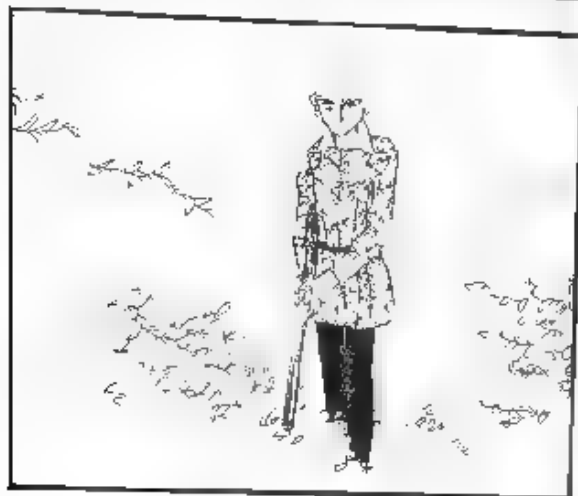
戦ったのは
角獣とライオン
母さんとマーゴット
おじさんとおばさん
ここはどこ
まぶしいな

眠い
光にとつぜん夢をけられて
手足がもげそう
これも夢かな
真昼の夢かな

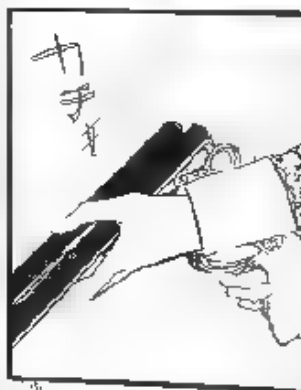
ひどく怠惰
ひとく おっくう..
なにか ほしい
なにか おくれ



だれか そこに
そこに だれか
いるはず
なにか おくれ

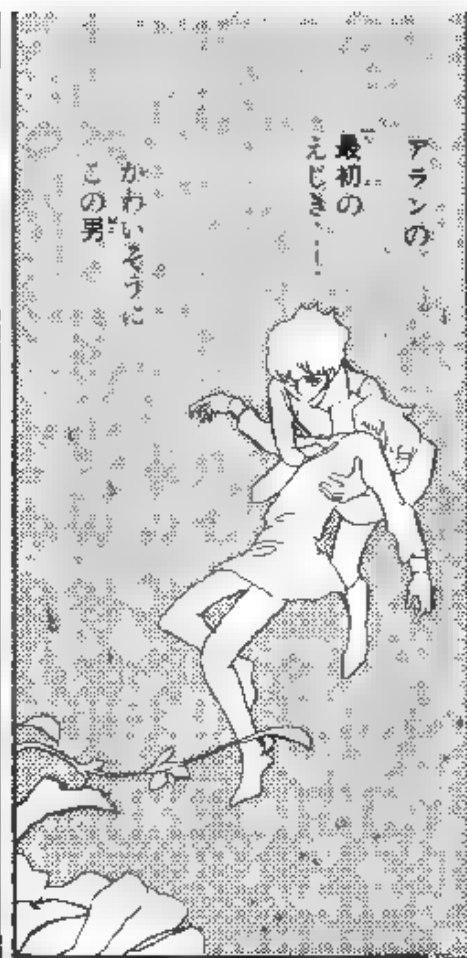


なんてかきた
会えて
うれしいぜ、



二連発しや
もうカラだ
おあいにくだな
いいか
悪魔の
ガキめ



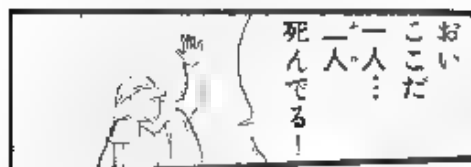


アランの

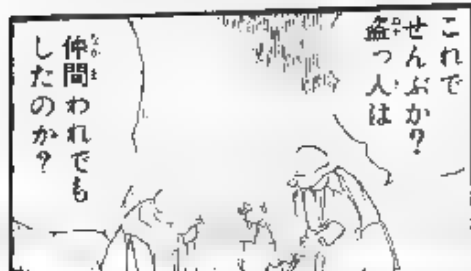
最初の
えじき……!

かわいそうに
この男

自分がなに者を
相手にしたのかも
気づかぬうちに
死んでしまつて……!



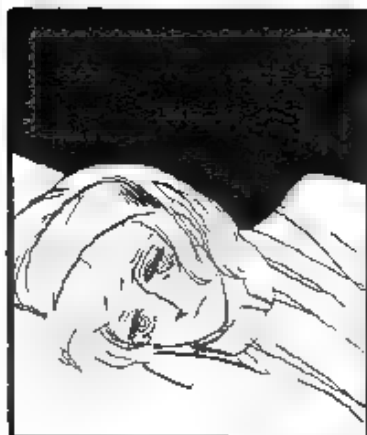
おい
ここの
一人
一人……
死んでる!



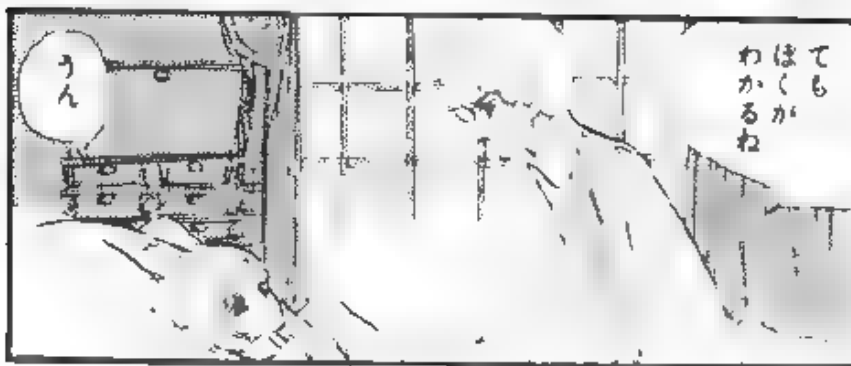
これで
せんぶか?
盗っ人は
仲間われでも
したのか?



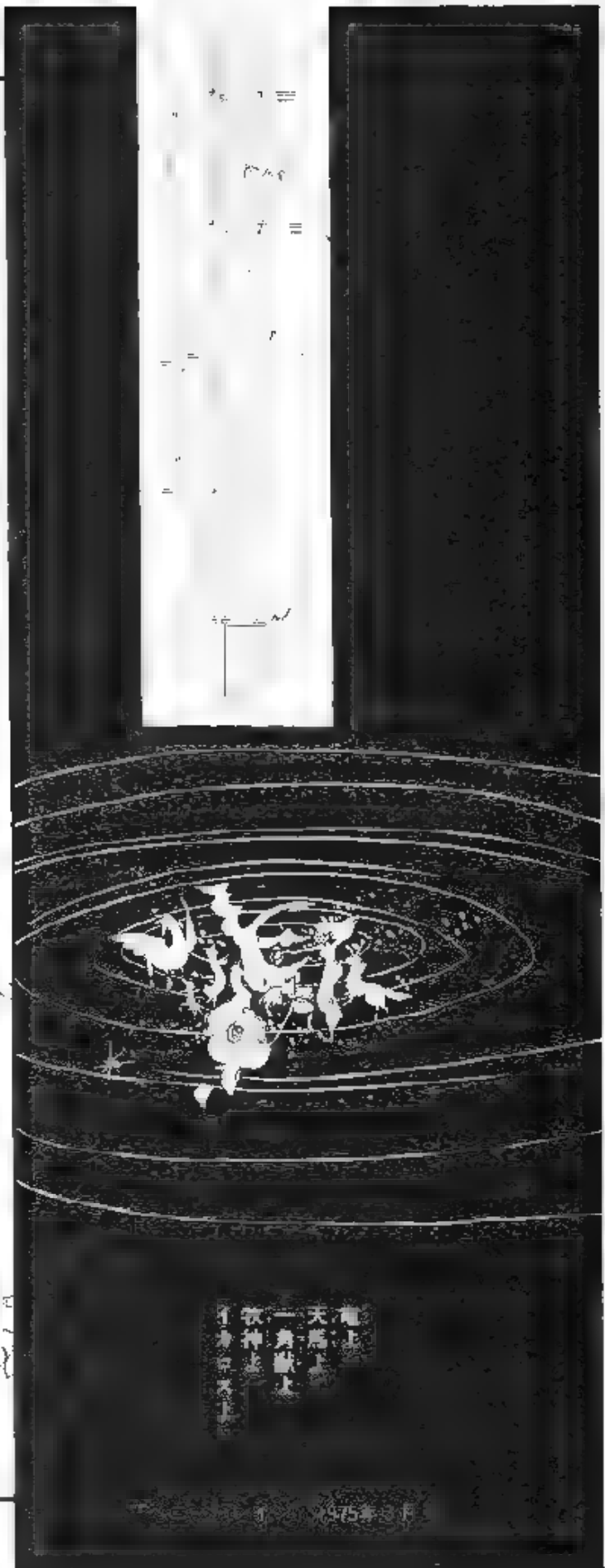
アラン







目ざめよ 目ざめよ もろもろの神話
——時の夢よ——





はるかな国の
花や小鳥



あの日からずっと
あなたの夢を
みている

森の風
遠い城
花の中
の
幸せ

緑色の
目をして
いた
あなた

だあれ
17

ああ
あまり
きれいなので

花とろほうは
罪にはならないわ
はしければ
切つてあげ
ましよう

おはいりなさい
その木戸は
あいてるわ

この町の人では
ないわね？

ええ
来たばかり

どこから？
まあ青い日。

わかし
わかしの庭で
一角獣を
つかまえたわ



でもあまり
長くはこの町に
いないのだけど

それに
今日は
友たちが
待ってるし

待ってて
バラを切るわ

ジョウ
音あわせを
やってて
ちようだいな

こんにちは
ミス・
バード

こんに
ちは
ミルス
先生

なんて幸せそうに
笑うご婦人かしら
ぼくがどこのだれか
聞きもしないで

歌うのは
好き?

きらいしや
ない

じゃあ
さ
とげを
ささないで

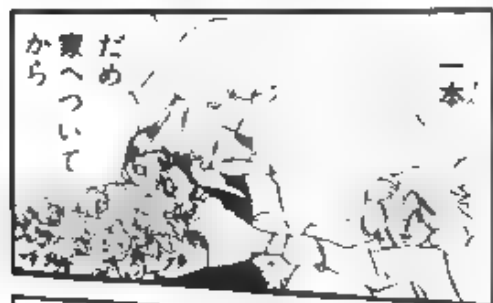
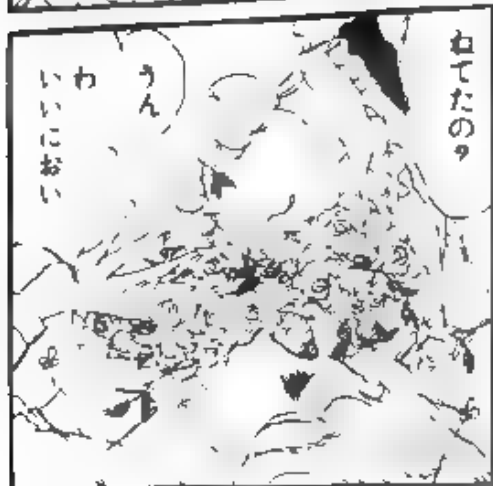
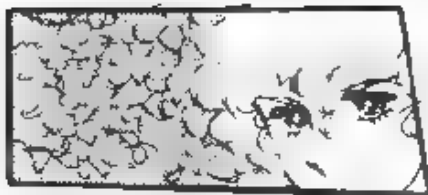
明日ね
ユニコ
ン
わたし
エルゼリよ

どこの
子だ?

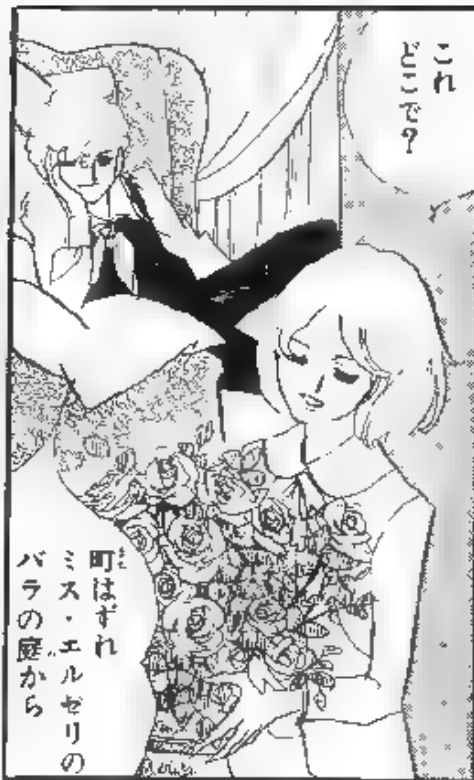
よそもんさ

ぼくは……
エトガーだよ





これ
どこで?



町はずれ
ミス・エルゼリの
バラの庭から

ふーん
それどんな人
きれいな
人?



合唱隊を
つくってるん
だつて
歌うはめに
なつた
きみも
くる?
なんでぼくがさ

ここは
静かだけど
一人で
おいとくのは
心配なんだ
きみはわりと
ドシだし
ぼくの
どこが!



まあよいけど
季節のめぐみを
うけぬ手はないから
ぼくは行くよ

でも
くれぐれも
ご用心
くいを
うちこまれ
ないように
ばれれば
それで
おしまいだ



たとえば
メリーベルの
ようにね



伝説を
ふりかえすのは
好ましく

夜ごと
さまよう
吸血鬼の



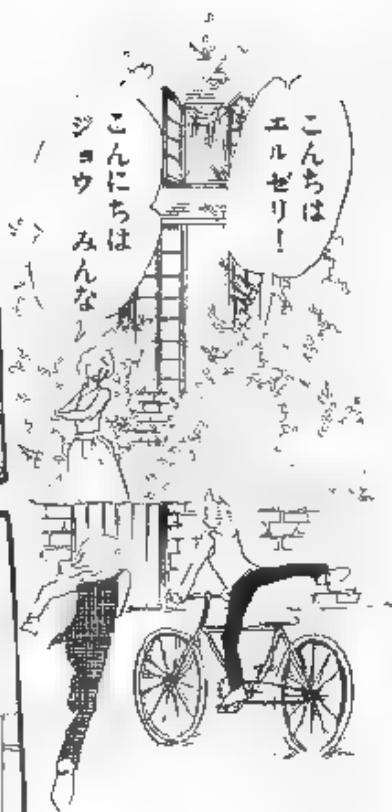
ええとても

うれしい?



まあ
エドガー――

さあはいって
木戸が開いてるわ
来てくれて
うれしいわ



こんにちは
エルゼリ!

こんにちは
ジョウ みんな



その木戸は
開いてるわ
わたしの
青い目の
ユニコーン



おいーまた
あいつ来たぜ

え?
昨日の
よそものかい?



ほんとうに
この婦人は
やさしく
笑うので

たちまち
ユニコーンは
バラの庭に
とらわれて
しまふ



さあ
来週までに
新しい曲を
おぼえま
しょう

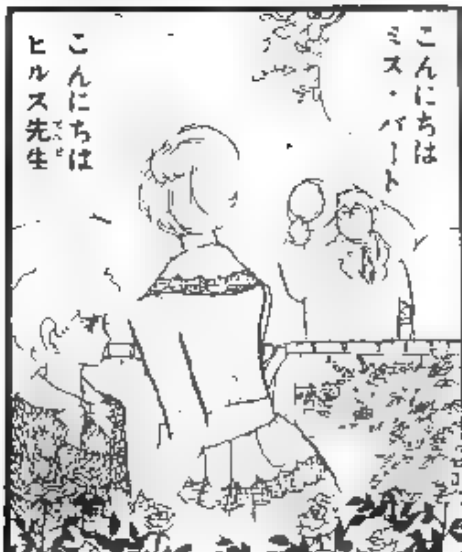
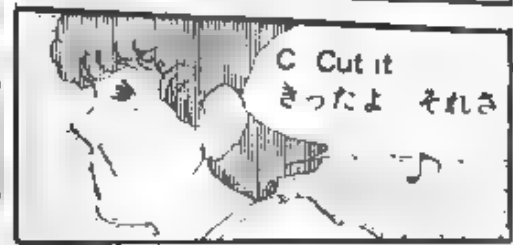
いい譜面
がとどい
たのよ

あなたは
テノールね
いい声だわ



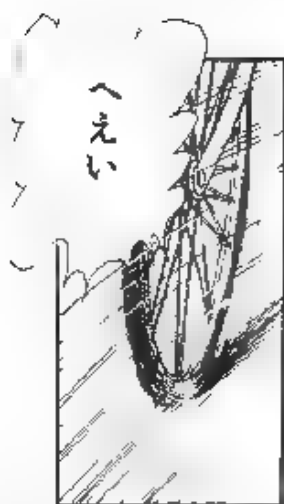
ミス・エルゼリを
うっとり
と見てるぜ

ムー
気に入らん!



アーはアップル・パイーミサー アースよ





へえい



少女のような
人だよ



年増に
興味は
ないもん



そんなに
すてきな
人なの？

すてきだよ
さみも来る
？



待てよ！
おまえ
この町の
とこに住ん
でんがよ

教会へ
来てんのか
エルゼリが
甘いと
思っ
つけあが
んなよ！

よそ者め！



わわ
んん



こんにちは
ヒルス先生

こんにちは
ミス・バード



顔洗って
出直して
きなガキ！

わ



仲なおり
してね
おねがいよ



元気がのは
いいが
ケンカは
いかん

こいつが



はん
はくが?

こら
こら

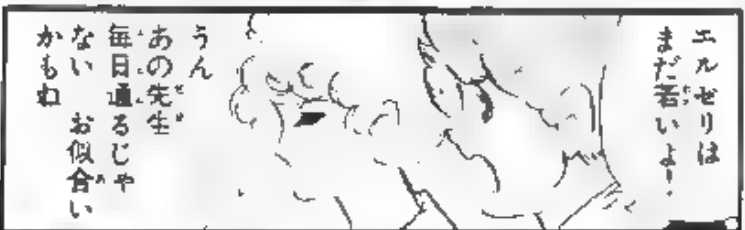


きみは
年増
好みか

自転車
貸したつても
いいぜ
だけどあまり
エルゼリと
ベタつくなよ



エルゼリが
そつ言うんで
和平条約
むすほう



うん
あの先生
毎日通るじや
ない お似合い
かもね

エルゼリは
まだ若いよ!



これだから
よそもんは...
エルゼリは
だれとも
結婚しや
しないよ!



恋人に
すてられ
たんだ



なぜ?



それで
恋人への
はらいせに
独身で
いるんだっ
てかあさん
が言っ
てたよ

女って
執念深
いから



なにもか
も好きで
幸せそう
だね



もう
十年くらいまえの
話だつてさ
母さんが言っ
てた
ハンサムで文なしの
ハロルド・リ
と
いい仲に
なつたけ
と
彼は
金めあて
商人の娘と
結婚しまつ
たんだつてさ



思い出の
においの
する人

エドガー！
こんな日にまで
出かけるの？



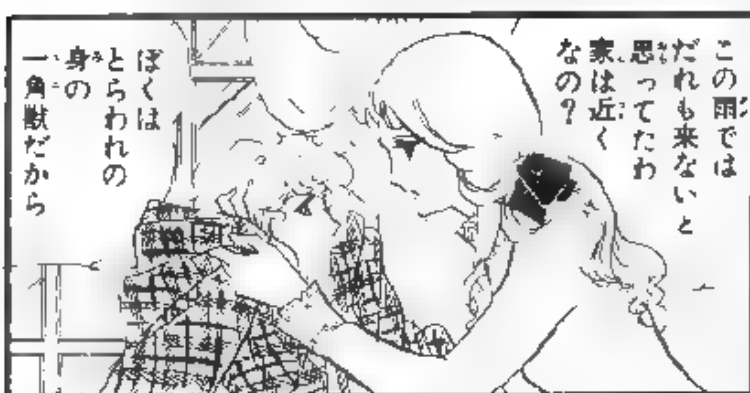
家においで
きみは
運気に
弱いから



まあ……！
エドガー！



この雨では
だれも来ないと
思ってたわ
家は近く
なの？



ぼくは
とらわれの
身の
一角獣だから

夕方ごろには
やみそうですよ
この雨で
かれかけてた
芝がまた
青くなる
こと

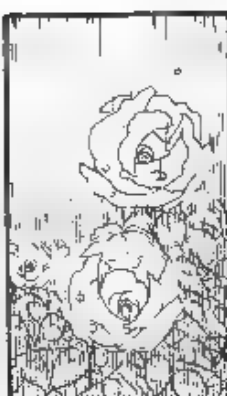
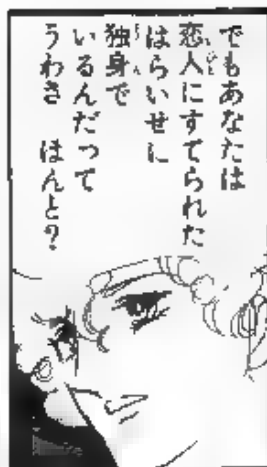


ヒルス先生だわ
雨の日も
往診なんですね



そしかも
わざわざ
邀まわりして
この家の
まえを
通ってね





すばらしい
夏だったわ

でもそれから
婚約者が
いるって
知ったのよ



伯母は言ったわ
ハロルド・リーは
野心家だ
彼は貧乏で借金持ちで
婚約者は金持ちだ
信用するな

でも
あの人は
待っててくれと
言ったの
婚約を破棄して
帰ってくる
からって



ひどく
悲しかったわ
あの人を
信じて
たけど



運命も
信じてた
だから



行かせたら
帰ってこない
と思っただわ



彼が明日は
帰るといって
森の中を二人で
歩いたの
道にまよった
子どものように



するとふいに
がけの上に出たの
……そこから
お城が
見えたのよ

「お城が
見えるわ」

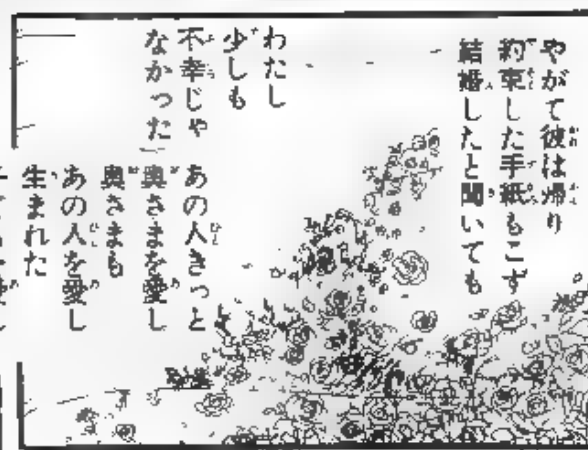
……と
すぐそれが
月あかりで
木ぎがそう
見えたんだけど
わかったの

お城なんか
なかったのよ



でも彼は
言ったの
「ああ
ほんとうだ
お城だね」







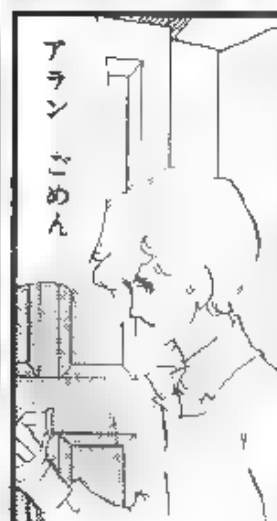
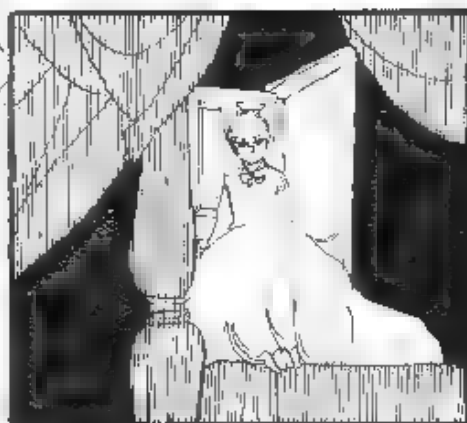
エルゼリ
エルゼリ

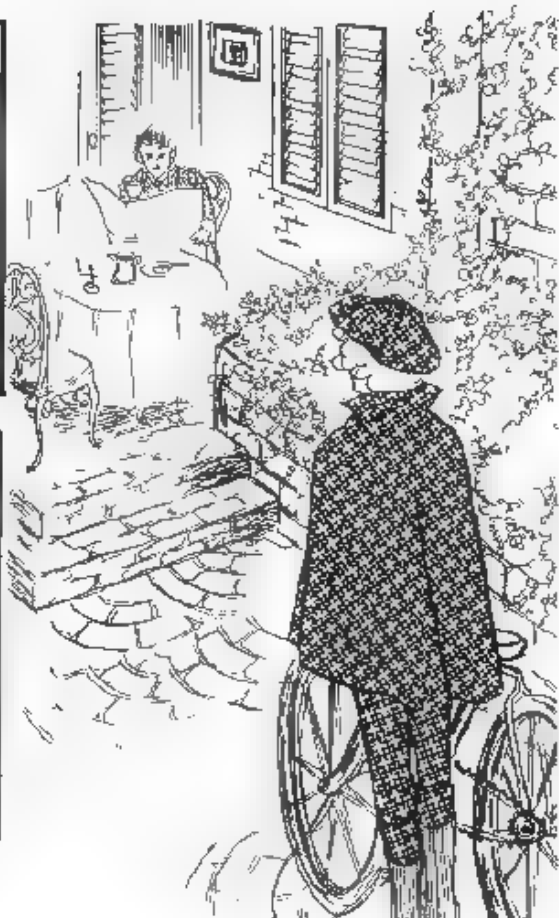
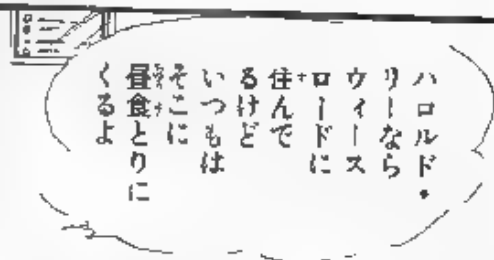
わたしが住むのは
バラの庭

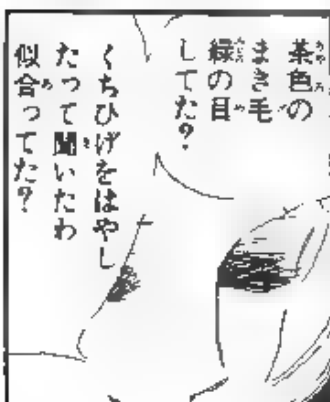
目にうつるのは
愛の鳥

なぜそう
幸せで
いられるの

愛する人が
そばに
いないのに



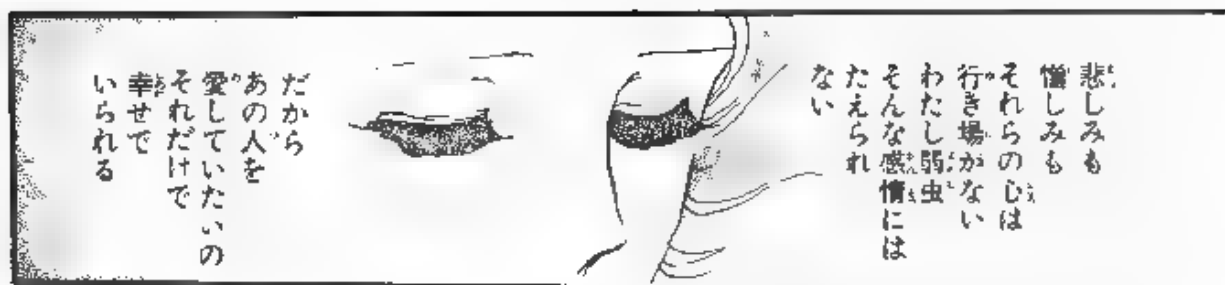






恋人がたとえ
覚えてなくとも
この人には問題では
ないのかしら...





バラを
つんだのは
妹さんの
ためだった
の？



あれは
友人に
でも彼は
妹じゃ
ない



これが愛でね
手をのばせば
とどくの

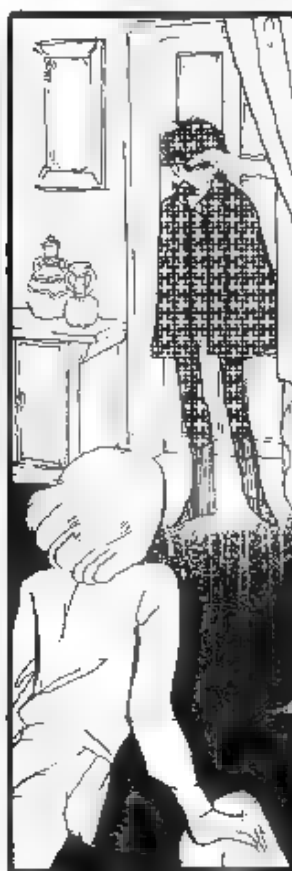
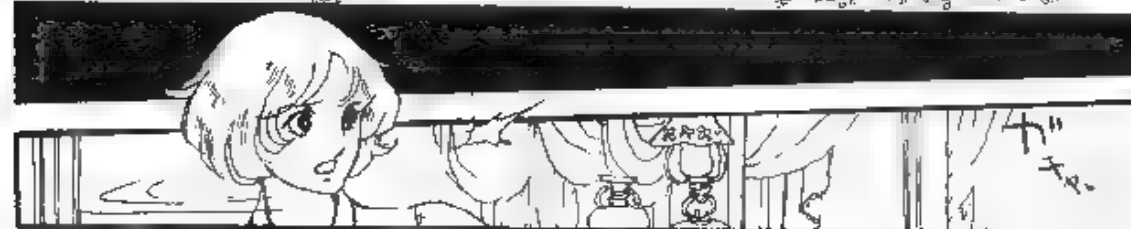


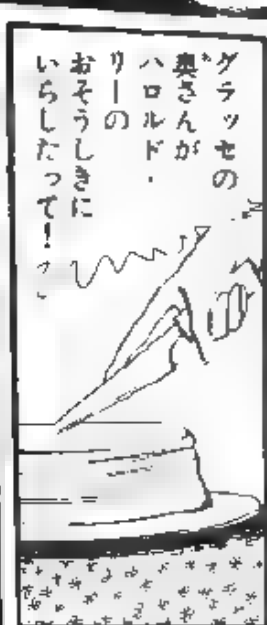
あなたの愛
あなたの妹の愛

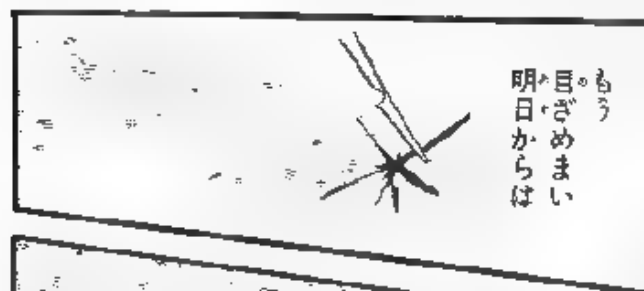
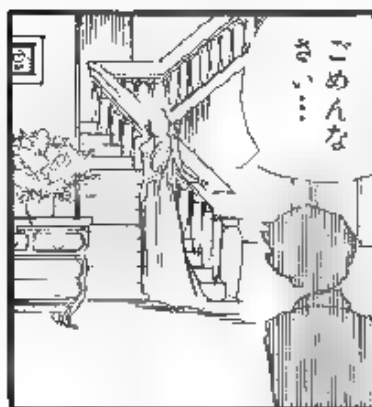


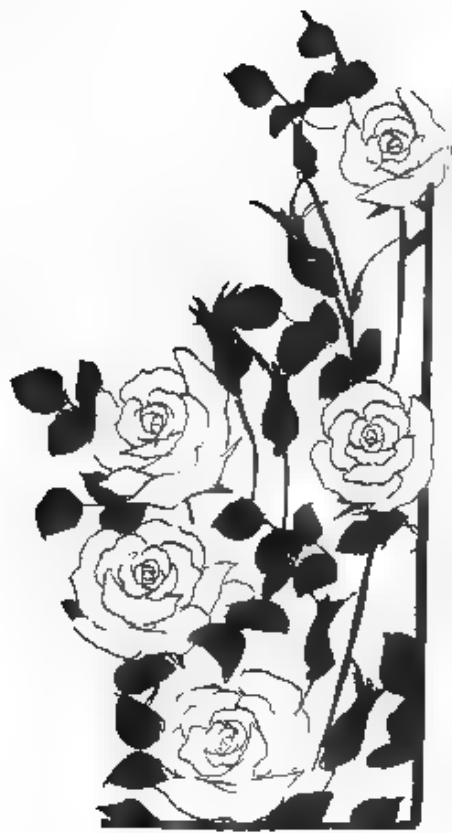
行き場が
あるのはいいわ
ばらをつ
うけとつて
くれる人が
いるのは
いいわ













先生

先生

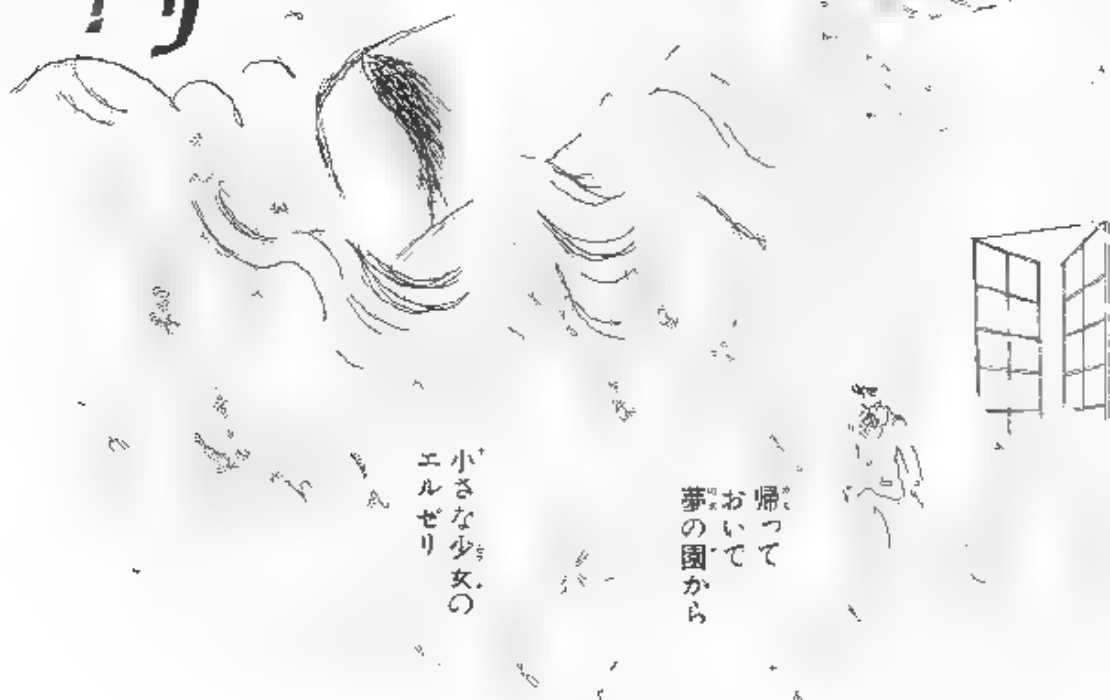


エルゼリ!

エルゼリ!
目をさまして!

目を
さまして!
起きて!

エルゼリ!



帰って
おいで
夢の園から

小さな少女の
エルゼリ



大丈夫
ばあやさん
大丈夫
早く気づいて
よかった もう
心配ないから
ね



あの人
目さめたら
お城の話を
してごらん
え？
目さめて
人間に
もどった
らね
あの人には
あなかが
必要だよ
今こそ



うん ほんとうに
ヒルス先生と
結婚すりや
ほんとうに
うん ほんとうに



助かって
よかった

あの人
恋人の
ことなんて
わすれてさア



ムンがよすぎる
エルゼリ
あなた
自分のためにだけ
生きて





急だね
いつも急だけど
じゃ上着
とってくる



この町を
出よう
今すぐだよ！

エドガーの



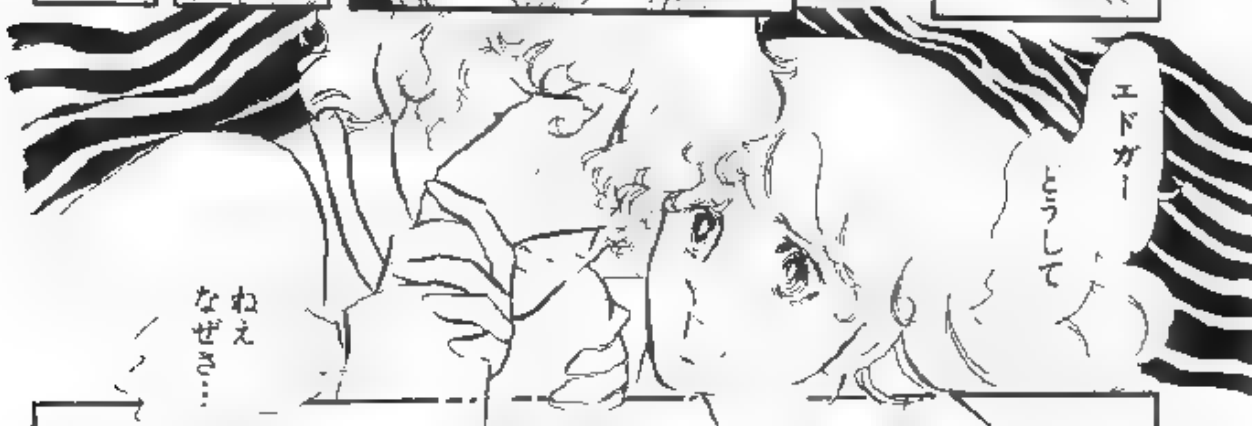
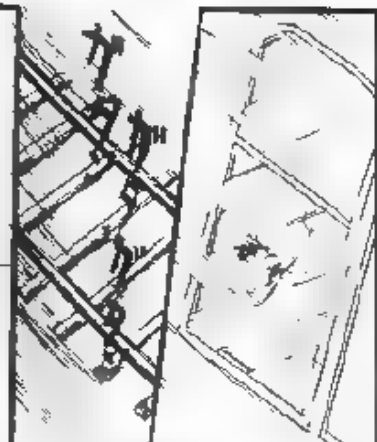
カ
タ



：何か
おこつて
るの？



きみ
あの庭の女の人に
さよなら
言ってきた？



エドガー

どうして

ねえ
なぜなの...



カ
タ

その人は
それから
三年の後
病気で
なくなったと
聞きます

日び
想うのは
やさしいひと

あの人
は夢に
浮かぶ
はるかな
国の
住人だ
ったの
でした

それから
合唱隊の
指揮もやめ
て花を見て
もの想う
毎日だったと

お城のことを
きいた医師に
ほほえむだけ
でなにも
言わなかったと
聞きます

あの人
は人間
には
なりえ
なかつ
たの
でした

わがしが
住むのは
バラの庭

たぶん
生まれながら
の妖精
だったの
です

くちずさむのは
愛の歌





また覚えていますよ
一人の彼の名は
エドガー
もう一人の
彼の名は
アラン

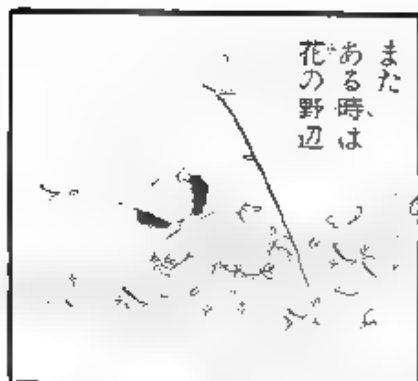
リデル♥ 森の中

彼らはわたしを
リデル人形と
よんでいたのです

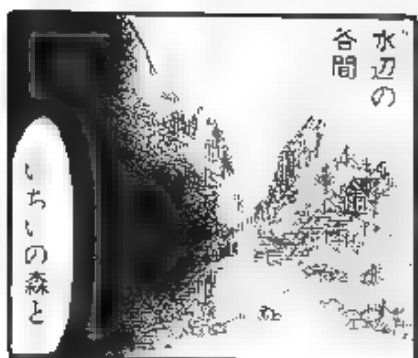
そこはいつも
森の中

ある時は
しらかば林

また
ある時は
花の野辺



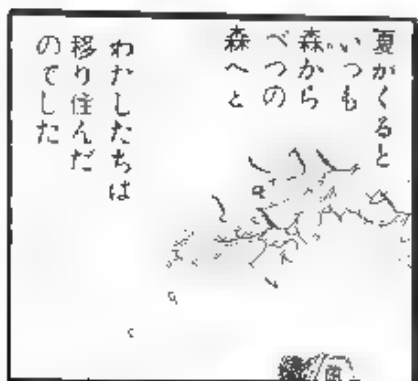
水辺の
谷間



いちいの森と

夏がくると
いつも
森から
べつの
森へと

わかしたちは
移り住んだ
のでした



時とき
たたも
こねましたが
いあん いあん
こ好きなのに
リテルここに
いたいのに

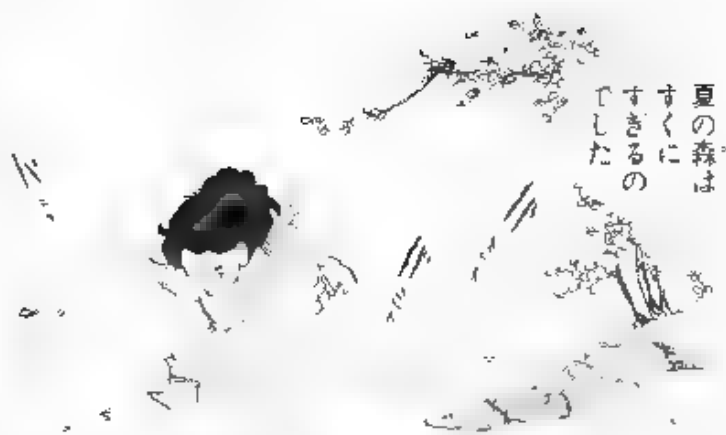
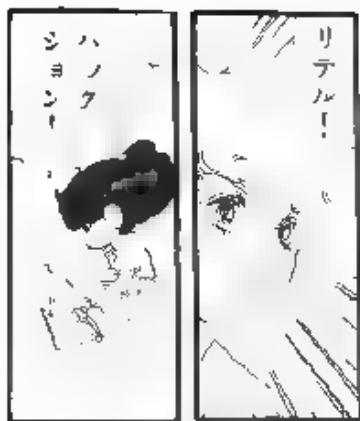


リテル人形
いい子だね
今度行く
ところには
桃の木か
あるよ モモ
かわいい
花だよ
ぼくたちは
知ってる
リテルにも
見せたくな



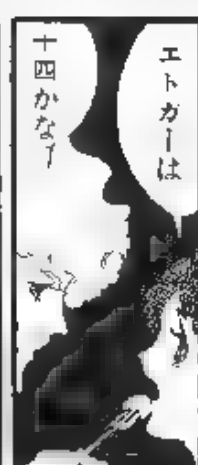
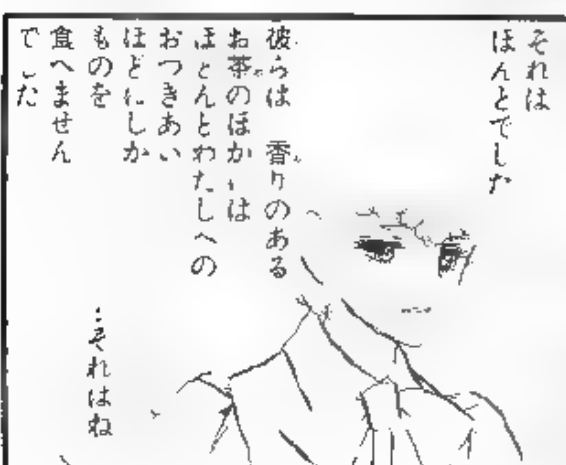
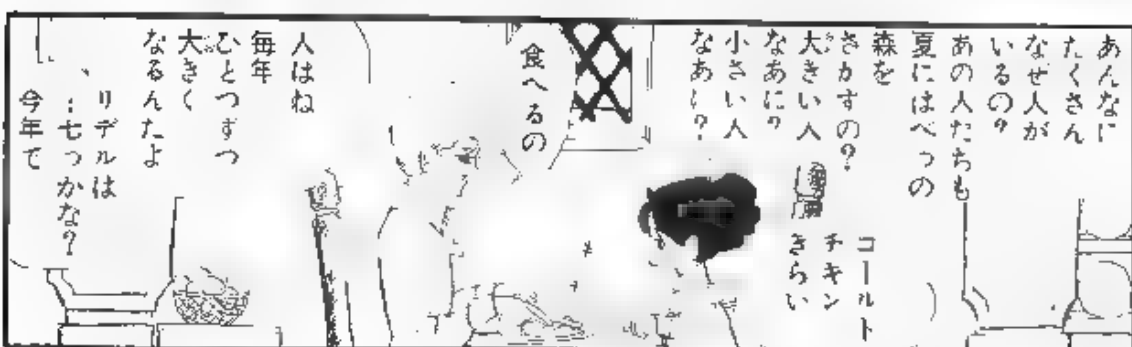
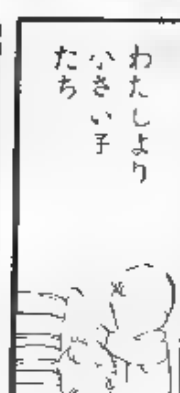
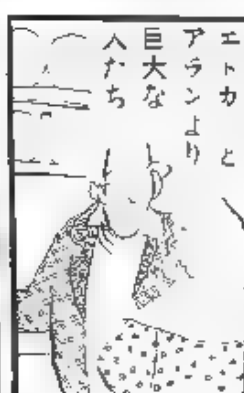
わたしは
いつも
なだめられ

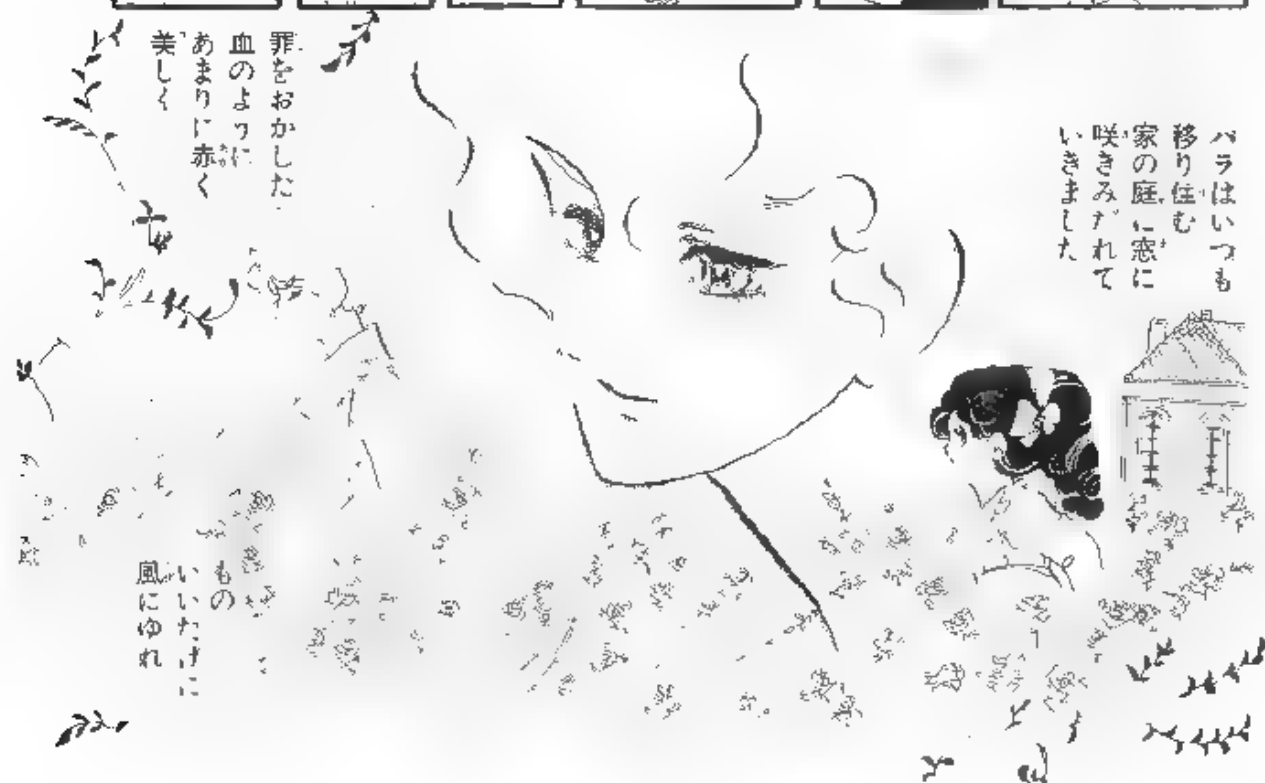
心は
はや
欠の森へ

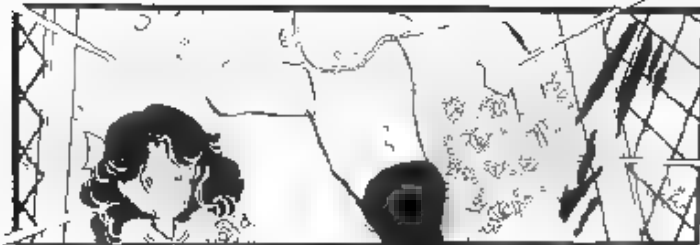


なにしろ
このころ
エドカーと
アランのほかに
人間なぞ
一人も見
なかつたので









森での
世界は
調和をもち
歌のよう
日びはすぎて
ゆきました

それでも
時おり
わけもなく

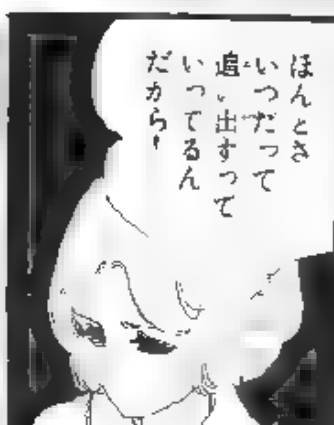
不安に
なつたのは
なせてよう



つねにわたしは
アランの
味方でした

どうして
ケンカ
するの？

彼の
ほうが
弱かった
の
エドガーは
ほくか
きらい
なんだ！

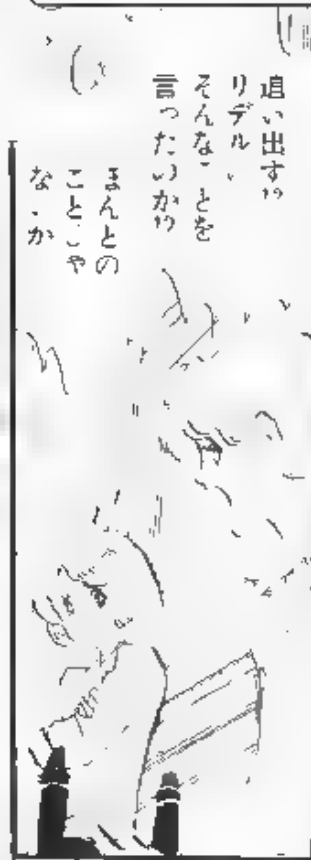


うそよ
うそなもんか
リデルも
きらい
なんだ！

うそよ



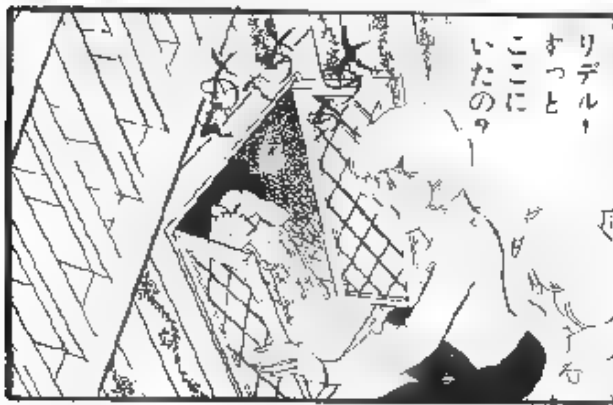
どこへ
行ったんだ リデル
どこにもいない
アラン！知らないか？



追い出すの
リデル
そんなことを
言ったのかり
まんとの
ことじゃ
なか



あの子は
...



リデル！
ずっと
ここに
いたの？



リデルを
追い出さ
ないわね
リデル
追い出さ
ないよ

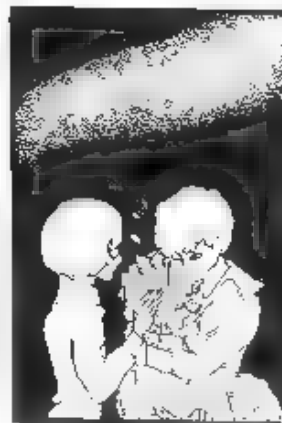
リデルを
きらいしや
ないわね

リデル
ちつとも



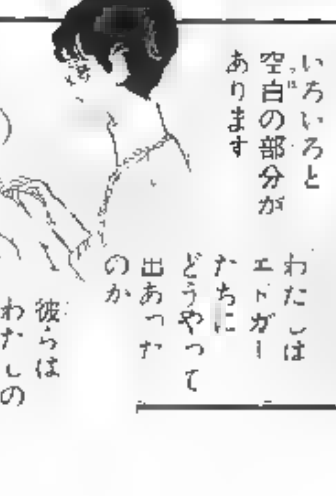
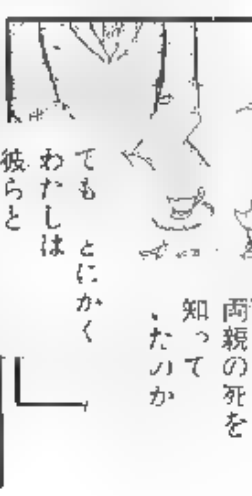
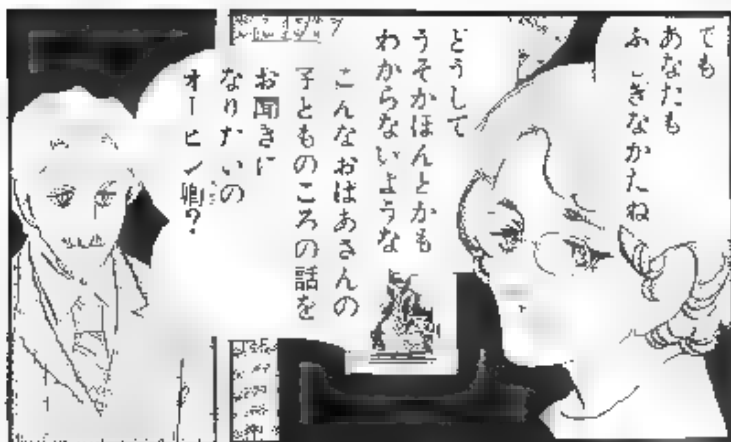
アランも？
もちろん
みんな
大きく
なるのよね

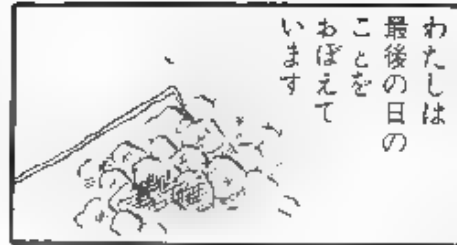
そうだよ



でも
結局

わたしは
森から
出なければ
なりません
でした

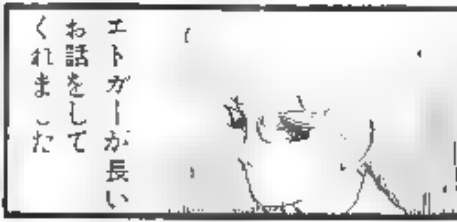




わたしは
最後の日の
ことを
おぼえて
います



春先の
寒い夜に
かんろに
火が
あり

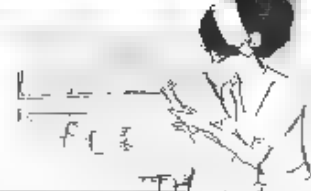


エトガーが長い
お話をしてく
れました



わたしは
残念なこと
にその話を
すっかり
忘れてしまっ
たのです

それは胸の
わくわくする
冒険もので
輝く
金のリンゴが
出てくる
お話でした



それは
古い
北欧の
物語でした

わたしは
ずいぶん
あとになつて
「すっかり
おとなに
なつて」

このお話の
のってる
本を
見つけました

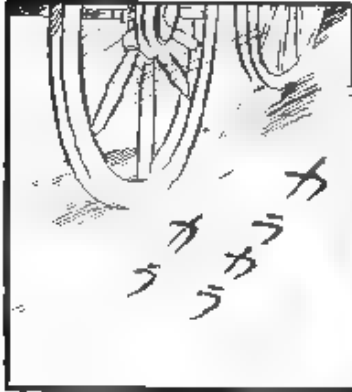


それか
あの時
彼か
わたしに
してくれた
お話
でした

わたしは
くり返し
くり返し
読む
たびごと



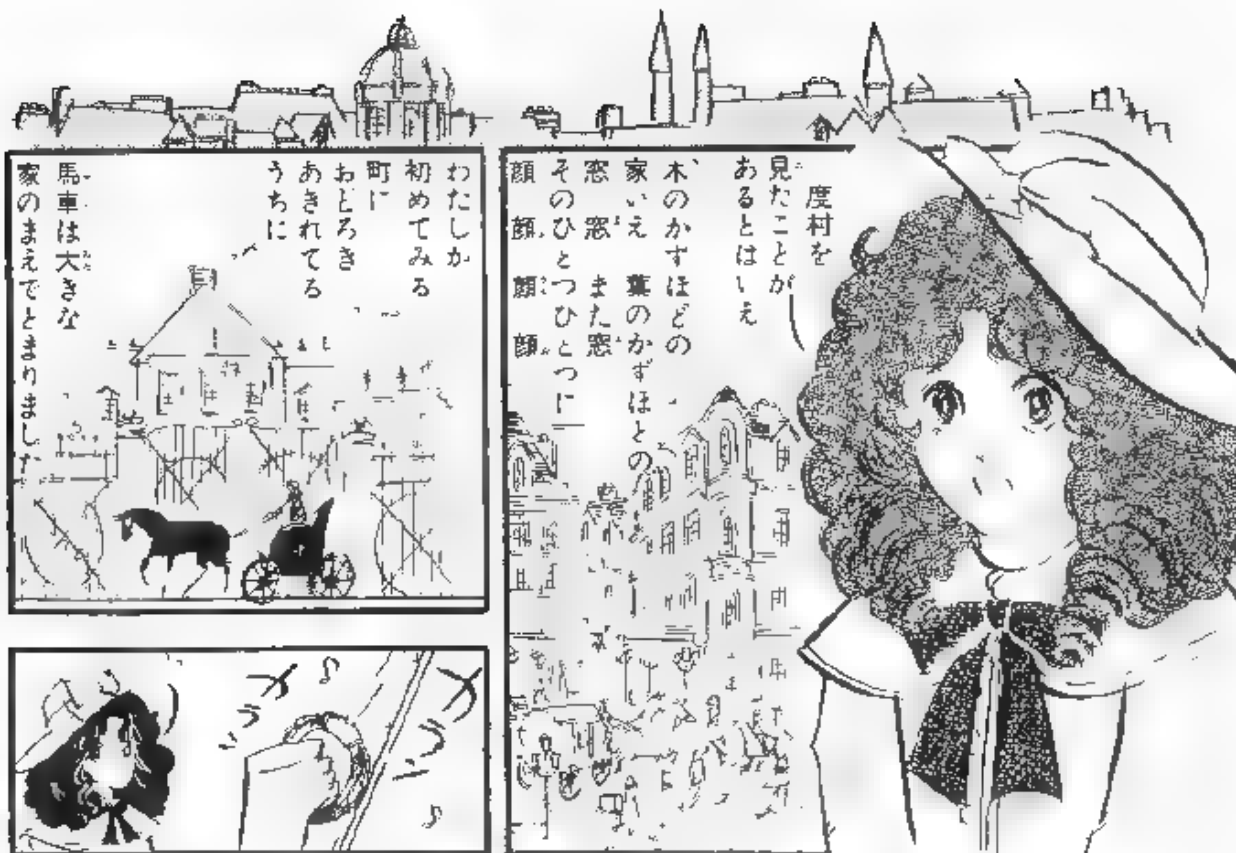
あの時の
火か
あたたかさ
あかさを
わかし
胸の
とうきを
思い出し
ました

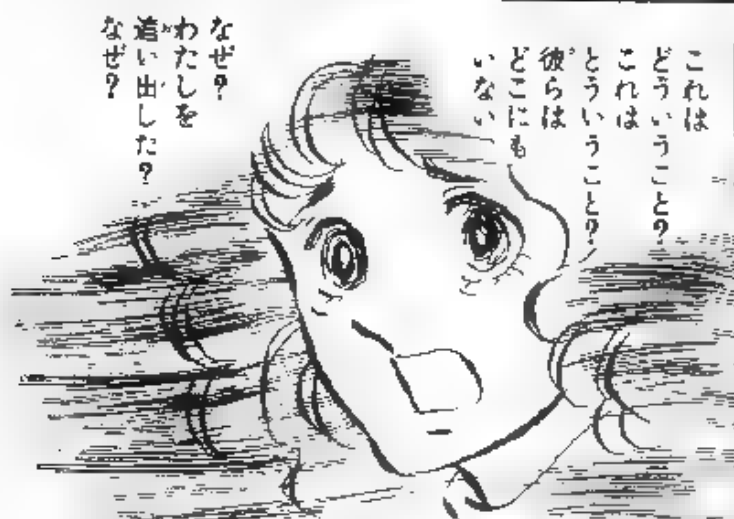


翌日は
馬車にのつて
出かけ
ました

次の森？
いつもの年より
早いね？

どこへ
行くの？





でも
結局わかしは
青ちさかりの
十歳の
少女でした



わたしは
やがて
なれました

それまでに
わたしはたびたび
熱を出し
口をさかす
ものかげに
かくれ



でもやがて
わたしのために
買ってもらった
イヌに
なつき

病熱のため
ひきこもった
いなかの
別荘が
気に入り



たえず
わたしに
ほほえむ
祖母が
好きに
なりました

そうして
わたしは
森の世界から
ひきもと
された
人間の世界で
目さめ



歩き出す
ことを
始めたの
でした

わたしは
作法や
人や町や
うわさ話や
つぎあいや
殺人事件や
新聞や
おせしや
パーティーや

いろんな
ことを
知り始め
ました



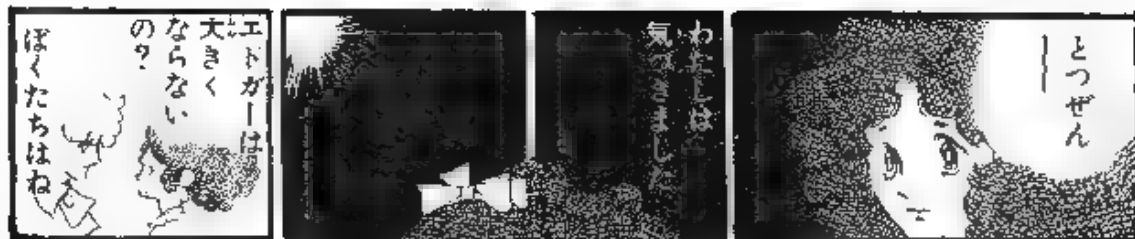
きれいな
服を
着ている子は
お父さんが
えらいの
だとか

きたない
服を
きている人は
お金持ちは
ないのだとか

リテルや
いい
お嬢さんは
お茶いかが？
というのよ

お茶
飲む？
おばあ
さまあ

そういつた
ことが
形をとり
始めるころ



エドガーは
大きく
ならない
の？
ぼくたちはね

わたしは
気づきました

とつぜん

まるで
絵から
ぬけ出た
画像では
ないか

わたしの
育ての親たちは
なに者だったの
だろう？

毎夏
毎夏
新しい
バラを造って

コルド
チキン
お食
大きく
なる
ために

エドガーは？

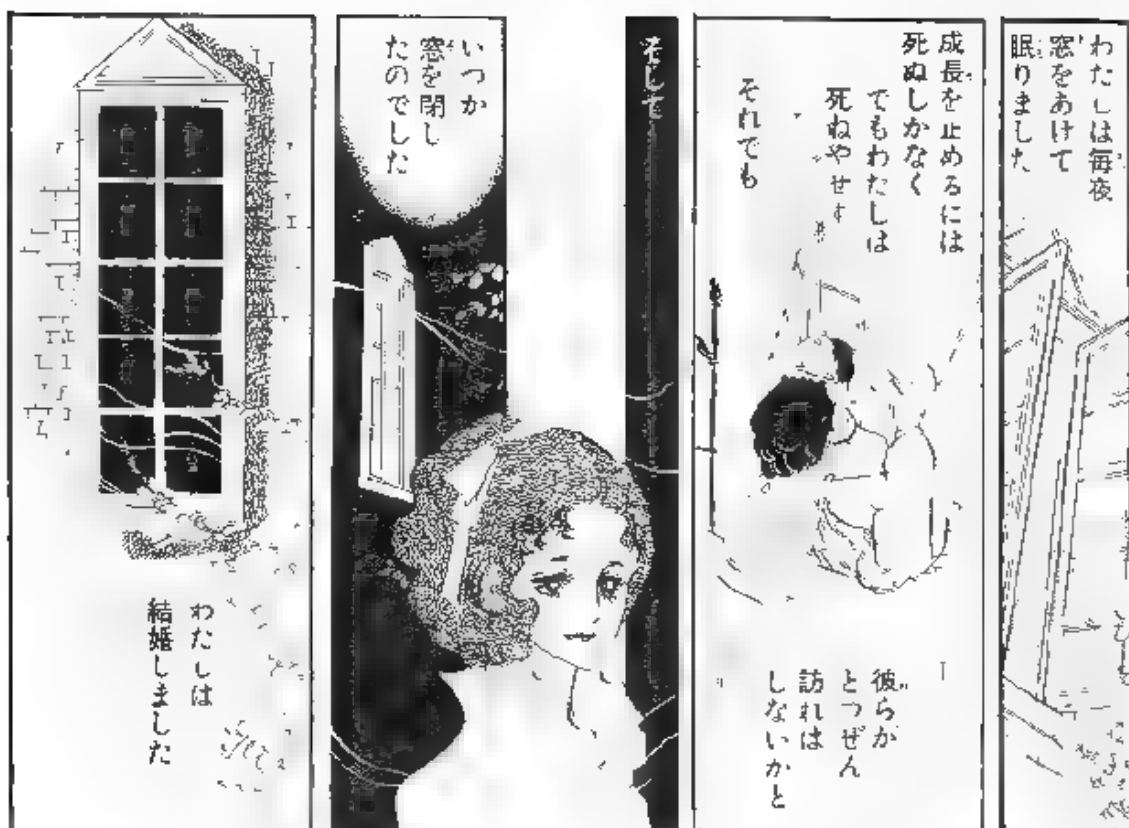
十四……
ぼくたちは
大きく
ならない

大きく
ならない

彼らは
そのままなの
わたしだけが
年ごとに
年をとる

だから
彼らは
わたしを
見はなし
たのだ

わたし
だけが
年をとる



そうしてさら
年がすぎ

すっかり
生まれた時から
いい両親のいる町中の
いい家庭で
育てられた
かのような
婦人ぶり

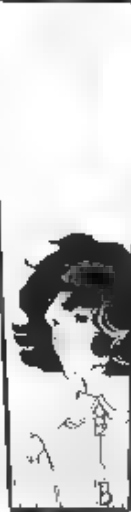
わたしは
夫を愛し
こともかちの世話をし
友人と語りあい

いそがしい
幸福な日びに

満足
なのです



でも時に



昔の
わたしが
うかんで
くる







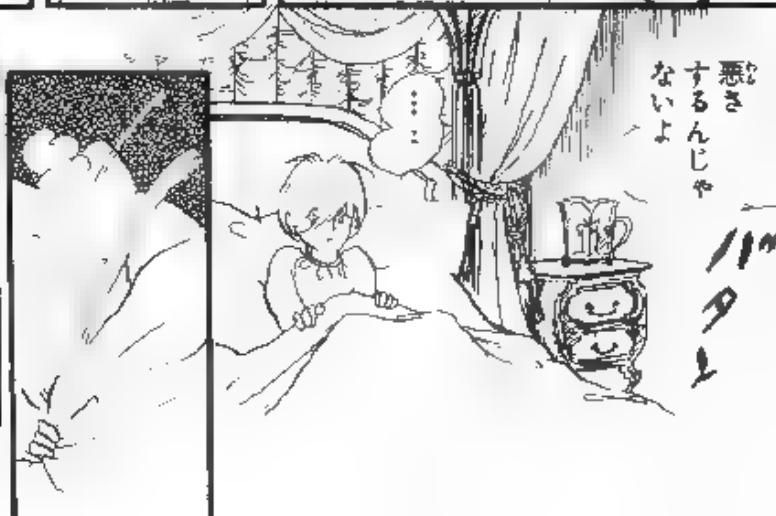
い

しゅう

か

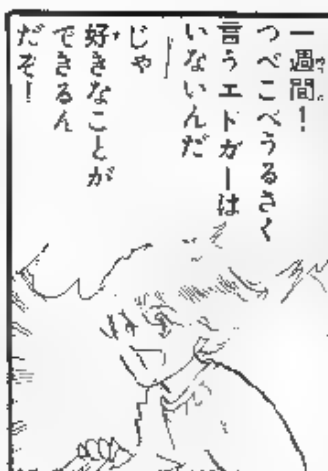
ん

一週間





好きなだけ
ベッドで
はねたり！



一週間！
つべこべうるさく
言うエドガーは
いないんだ
じゃ
好きなことが
できるん
だぞ！



…ほくが
一人でいると
いたらぬことを
すると
思ってる

一週間
今日は月曜
日曜までか



ねまきの
まま
家中
走り
まわっ
たり！



What
would
we
have to
drink



Monday's
Child - for
it rain

Tuesday
After - still
at home



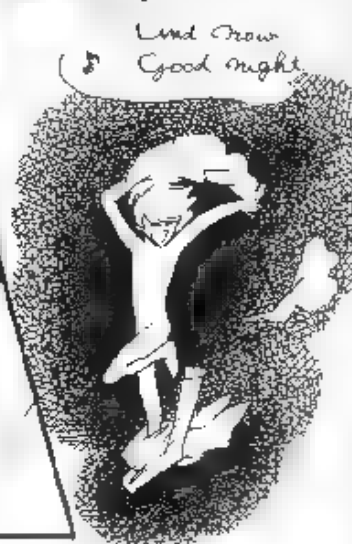
Rain rain
go away

雨だけと
やまな
かな





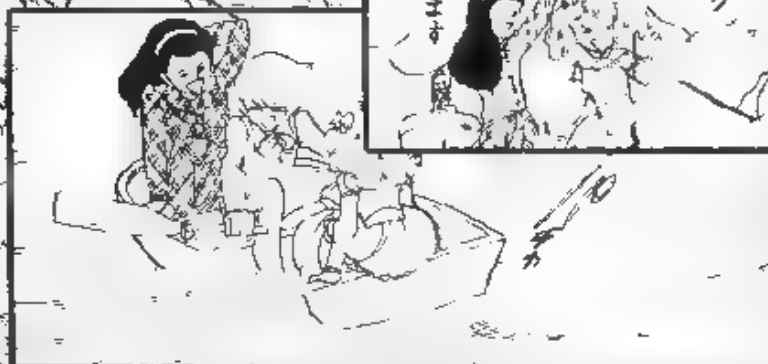




あら
おめかしね
二人とも

ピクニック
ママ

行ってきました
おばさま



わたしが
焼いたのよ

アルファ
ベット
クッキー

頭文字で始まる
歌を歌いま
しょうよ

かわ
い

水をくんで
くるわ



どうしたの
ピクニックは
つまらない
カレン?
そんなこと
ないわ あたし
楽しんでても

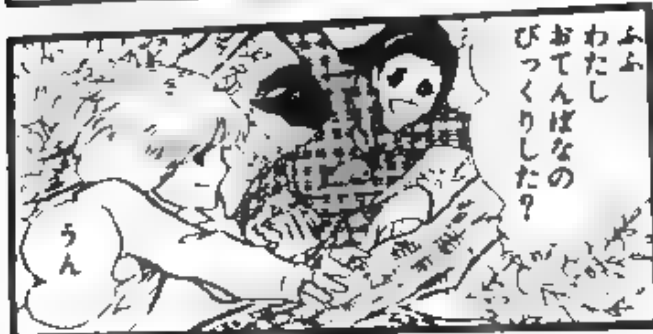


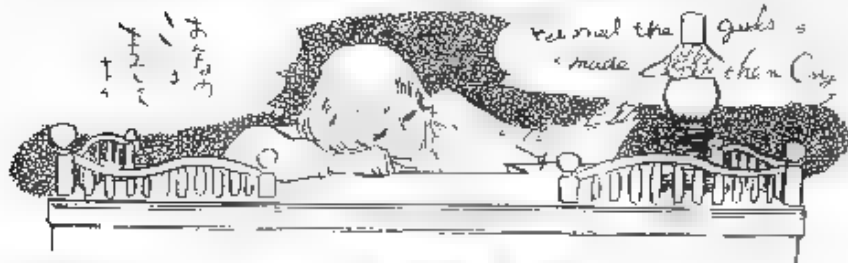
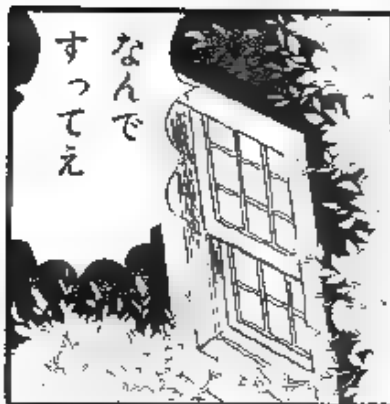
でも?
おしやれして
きたんだね
とても
かわいいよ

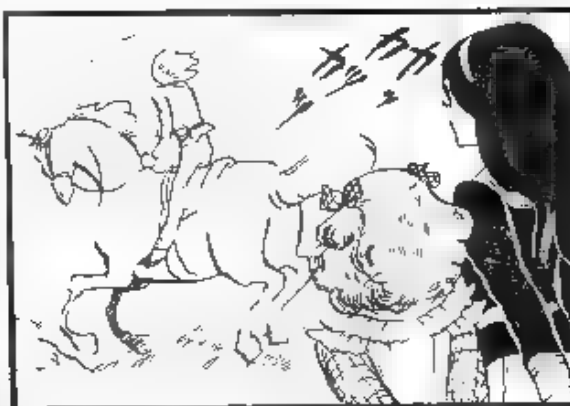


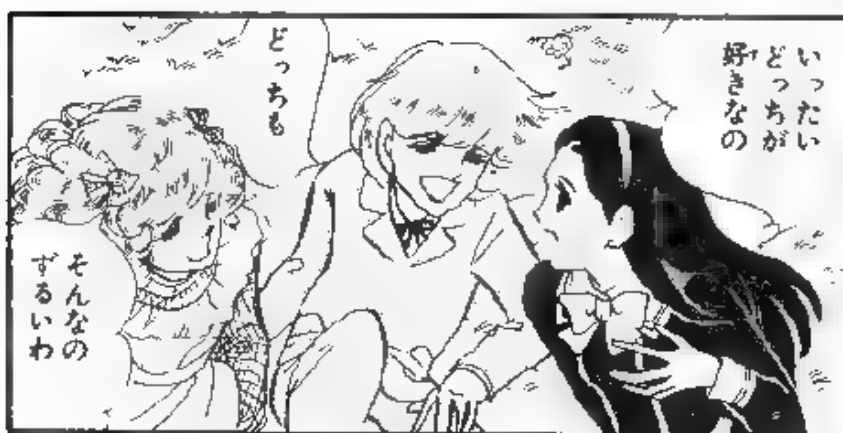
ほんと?

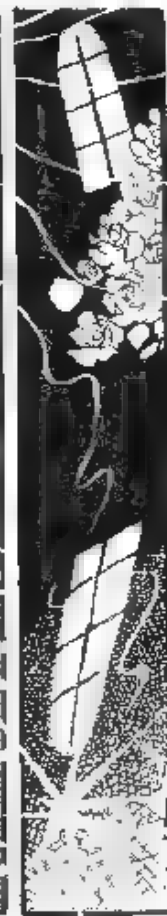
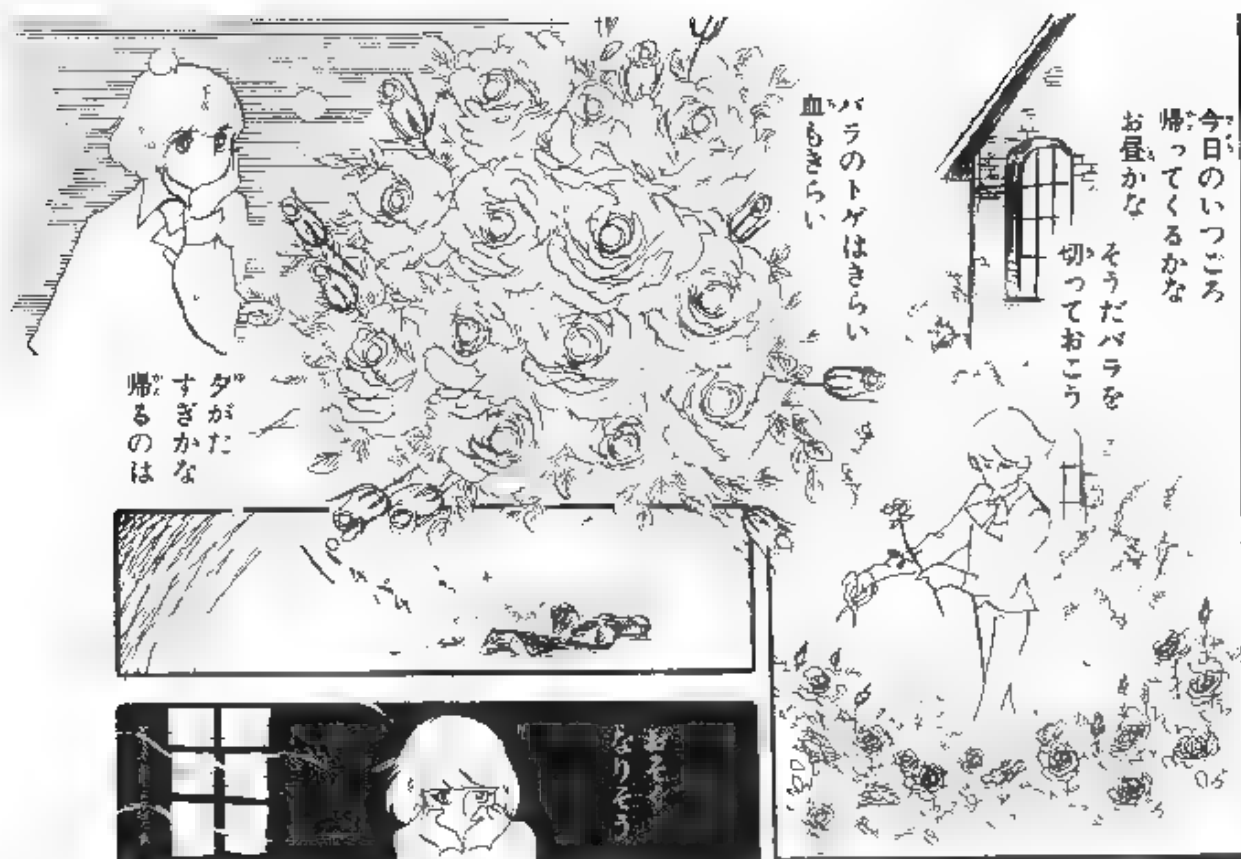




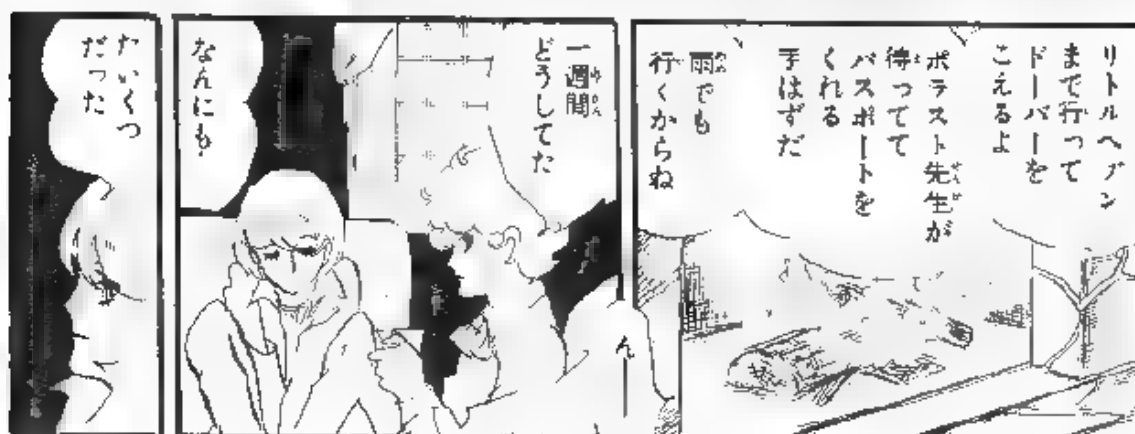


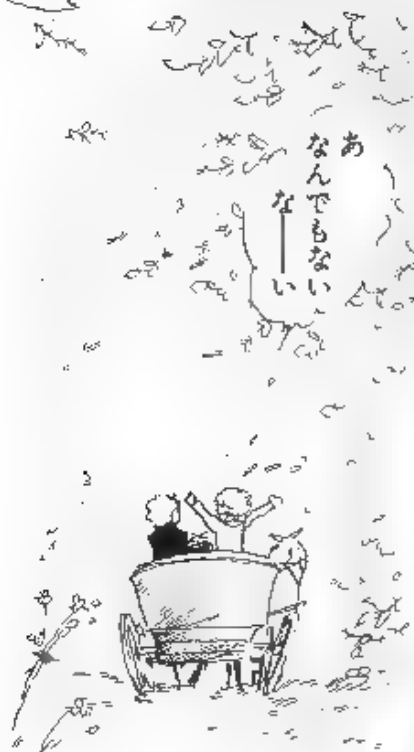
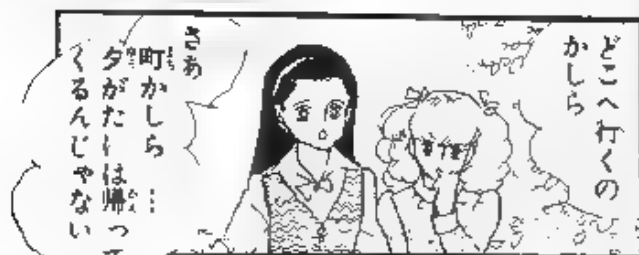












ポールの一族 第 卷

終わり

●エッセイ バンパネラの封印

小池修一郎

私を宝塚歌劇団に送り込んだのは萩尾望都である。と言うと御本人は濡れ衣だと仰るだろうが、学生時代の友人たちなら証言してくれる。入団してから二年間殆ど人に言ったことがないのだが、思い切って告白してしまおう。

萩尾望都の存在を教えてくれたのは、一九七九年当時早稲田の仏文科にいたY子である。高校時代から「キネマ旬報」に投稿していた映画マニアのY子は、英国映画『悪を呼ぶ少年』と『トーマの心臓』の比較論を熱弁した。ハギオモトを知らなかった私は少なからず軽蔑され、たかが少女まんがじゃないかと言うと「萩尾望都だけは違うのだ!」と頑として譲らない。自分がいた慶応の劇研に帰ってN子に聞くと「実は美容院でエドガーの頭にいるの」と言われ、二度ビソクリ。エドガーは夢に出て来ると言う。そこで彼女が美容院に持って行った『ポーの一族』を借りて読むことにした。少女まんがを読むのは中学の時の模図かずお『赤ん坊少女』以来である。高校が男子高だった私は、女子校の文化祭を覗きに行く時のような、禁忌を破るスリルを感じながらページを開いた。

ハマった。一度と後戻り出来ない異世界へ誘うエドガーの挑戦的な眼差しは、三無主義

と形容された不安定でコアのない自分たちの世代を攻撃して来るような感じがした。闘争「青春だった団塊の世代の爪痕はあちこちに散らばっていたが、私たちの合い言葉は、'かったるい'」で、世の中の面白いことは全て上の世代が食い尽くした後のような気がしていた。アングラ芝居の全盛期で御三家と呼ばれる劇団すらあったが、それは確実に上の世代のものだった。きつと何か強烈に自分たちを引っ張ってくれるもの、戦うべき相手が見えているものに憧れたのだと思う。何だか余り面白くなさそうな未来を前にして燃焼している自分も、アランのように思い切って異世界に飛び出すか、クリフォードのように本当に自分の愛するべき対象 なすべき責務を見出させてくれるものに出会いたかったのだ。もうこっちへ来たら帰れないんだぜ」と言って決断を迫る何かに。だが、それは間もなくやって来た。

就職という極めて現実的な問題である。

芝居とか映画とかを趣味に留めるのか、なりわいと為すべく歯を食いしばるのか決めなくてはならない。あくまで現実逃避型の私は映画『グリニッチ・ビレッジの青春』を真似て、ニューヨークに演劇留学するのだとうそぶいた。しかし先立つものが無い。フリーターなどという呼び方すらない時代である。どうしたものか考えあぐねているうちに秋も終わりになった。みんなが就職先を報告し合っている頃、誰も通らない教務課の廊下の 番隅に一枚のビラが人目を避けるようにひっそりと張り出されたのだ。宝塚歌劇団の演出助

手募集である。うちの大学から受けたのは私一人だと思うから、正しく私だけの為に張り出されていたようなものである。

今振り返れば、アングラ芝居にのめり込んだのは曲がりなりにも歌や踊りが入っていたからではないかと思う。数少ない「ミュージカル」と冠されたものは何でも見ていた。宝塚もその一つであり、従って女性だけの中身には全く抵抗無かった。締め切りが迫っていたので兎に角ダメもとで試験を受けたのだ。迷ったのは合格の返事を貰ってからである。

「イヤならすぐ帰ってくればいい」「十年は我慢しなくちやダメだ」。友達からは様々な意見が出た。「で、将来、体何をやりたいの?」と突っ込まれる。宝塚という存在が自分の中で大きすぎて、何とも答えられない。その時誰かが言った。「ポーをやればいいじゃない」。そうだ、そうだとみんな納得して終わったような気がする。宝塚といえば「ベルばら」だったし、私の萩尾望都フリークぶりを知っての超イージーな思いつきだった。「そうか、ポーか」胸のつかえが下りたように単純に納得した私は「エドガーに寿ひずる、アランは大地真央」と少年に見えそうな当時の新人で、勝手にキャストイングを考えた。

入団した途端、この考えは甘いことに気付かされた。男役の一枚目スターは背が高いのである。少年には大きすぎるのだ。バンパネラはそう易々と手を付けるのを許してはくれない。それ以来私の「ポーをやる」アイディアは封印されてしまった。

そして一年経った一九八七年。前の年にやっと作・演出家デビューしたばかり。次な

る機会が何時訪れるとも知らぬ身故、第二作にどうしてもパンパネフものをやらねばならぬと思った。少年がダメなら、大人で勝負！ と開き直って、『蒼いくちづけ』というドラキュフ伯爵の物語を創った。幸い紫苑^{むらさき}ゆう他の出演者の殆どが『ボの一族』を読んでおり、おぞましいホラーではないかという外野の声をものともせず、狙いである耽美性を〇〇%表現してくれた。地下にましますドラキュフ伯爵の救いか公演は好評で、たった五日間だが東京でも上演された。この時、当然、萩尾望都先生をお招きした。果たしてモイ様のお気に召したか否かは不明だが（恐れ多くて感想なんぞ伺えなかったのだ）以後私の公演は殆ど観に来て頂いている。

九九六年になってウィーン産の『エノザベート』という、「死」を主人公としたミュージカルの宇塚バージョンを創ることになった。宝塚で、「死」という概念でしかないものを主役に据えるのだ。果たして観客の共感を得られるかととても不安だった。然しよく考えてみれば、滅び行くものの美と論理こそが『ボの一族』のテーマではなかったか。そう捉え直すと、ドイツ語の難解な作品も我々の美意識に馴染ませることが出来ると思えた。ドイツ人の原作者が『ボ……』を読むことが出来たら何と云うか、是非聞いてみたいと思う。九〇年代のヨーロッパの知性をも七〇年代の萩尾望都は凌いでいるのである。『ボ……』のミュージカル化に挫折したまま二〇年以上が過ぎてしまった。最初に教えてくれたY子は目標通りフランス文学の翻訳家になったが、いまだに風呂無しアパート住

まいである。単行本を貸してくれたN子は早稲田小劇場の研究生になったものの病気で退団、職場結婚で三兄の母となった。今もエドガーは彼女たちの夢に現われるのだろうか？ その時エドガーは何と言って彼女たちを誘うのだろうか？ 今や大人であることから逃れられない彼女たちは、エドガーを追いやってしまうのだろうか？

私の中のエドガーは成長することなく、私の生き方を問いかけて続けて来る。
もう、後戻りは出来ないんだぜ。いいのか？ このまま終わっても……………

小池修一郎

一九五五年、東京生まれ。七七年、慶應義塾大学卒業後、宝塚歌劇団入団。八八年『ヴァレンチノ』で脚本・演出家としてデビュー。九年『華麗なるギャング』で菊田一夫演劇賞受賞。『POCKY』『JIN』『エリザベータ』など新感覚の演出で注目される。宝塚以外でも高い評価を得、九二年、九一年、九八年と月刊「ミュージカル」演出家賞を受賞している。



ポーの一族 1

1998年8月10日初版第1刷発行（検印廃止）

2001年12月1日 第7刷発行

著 者 ————— 萩尾望都
©Moto Hagio 1998

発行者 ————— 辻本吉昭

印刷所 ————— 図書印刷株式会社

発行所 ————— 株式会社 小学館

101-8001 東京都千代田区千代田 2-3-1

振替 00180-1-200

TEL 販売 03-3230-3749

編集 03-3230-5456

●造本には十分注意しておりますが、落丁・乱丁・本のページの抜け落ちや順序の間違いの場合はお取り替えいたします。購入された書店名を明記して 制作局 までにお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。制作局 TEL 0120-336-082

●本書の一部または全部を無断で複製、転載、上演、放送などを行うことは、法律で認められた場合を除き、著作権及び出版者の権利の侵害となります。あらかじめ小社まで許諾をお求めください。

【日本複写権センター委託出版物】 本書の全部または一部を無断で複製、コピーすることは著作権法上での例外を除き禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター（TEL 03-3401-2382）にご連絡ください。

ISBN 4-09-191251-6



あの名作を文庫で読む



小学館文庫



文庫をポケットに入れて街に出る。そんなスタイルが今ハンサム。

■ 最新刊

大好評発売中!



● 渡辺多恵子

はじめちゃんが一番! ①②

(全9巻)

17歳の女子高生・岡野はじめはピンボー所帯をきりもりするしっかり者。ところが突然、5つ子の弟たちがトップアイドルに!



● 惣領冬実

天然の娘さん

(全1巻)

修介と花耶子の恋の進展は? 亮介にふられた陽子の新しい恋の相手は? 「彼女がカフェにいる」番外編、スウィートな6つの物語!

● 既 刊 ● 好 評 発 売 中 !

● 牧美也子

源氏物語 1~6巻

● 吉田秋生



BANANA FISH 全11巻

BANANA FISH ANOTHER STORY 全1巻

カリフォルニア物語 全4巻
古祥天女(きしょうてんにょ) 全2巻
夢みる頃をすぎても 全1巻
きつねのよめいり 全1巻
河よりも長くゆるやかに 全1巻
ラヴァーズ・キス 全1巻

● 吉野朔実

ジュリエットの卵 全3巻

● 吉原田起

あなたと千夜一夜 全2巻

● 吉村明美

薔薇のために 全9巻

麒麟館グラフィティー 全8巻

桜moon 全1巻

今でも夢に見る 全1巻

● 渡辺多恵子

ファミリー! 全6巻

聖14グラフィティ 全1巻

ジョセフへの追想 全1巻

僕の胸も熱くなる 全1巻

はじめちゃんが一番! 1~2巻



【小学館】ご希望の本が、お近くの書店にない場合は、その書店に注文されるか、当社「愛読者注文センター」にTEL又はFAXでお問い合わせください。

TEL ● 03 (3230) 5749 FAX ● 03 (3230) 0094 [Shogakukan Online] <http://www.shogakukan.co.jp>

●赤石路代

フェアレディは涙をながす 全1巻
P.A.(プライベートアクレス) 全4巻
「あると」の「あ」 全2巻
ないしょのハーフムーン 全3巻
姫100% 全2巻



●秋里和国式(秋里和国)

TOMOI(トモイ) 全1巻
THE B.B.B.(ザ・バグ・ボーイ) 全6巻
それでも地球は回ってる 全3巻
花のO-ENステップ 全4巻

●あだち充

初恋甲子園 全1巻
泣き虫甲子園 全3巻
夕陽よ昇れ!! 全1巻
陽あたり良好! 全3巻
スローステップ 全4巻

●石塚夢見

ピアノシモでささやいて 全4巻

●楳図かずお

洗礼 全4巻

●おおや和美

世紀末てっぺんBOY 全3巻
QP(キュービー) 全1巻

●岡野玲子

ファンシィダンス 全5巻

●木原敏江

雪紅皇子(ゆさくれいのみこ) 全1巻
鶴(めえ) 全3巻
淵(ふち)となりぬ 全3巻
風恋記 全3巻
ベルンシュタイン 全1巻
とりかえばや異聞 全1巻
大江山花伝 全1巻
青頭巾 全1巻
岩を枕に星を抱き 全1巻



●くさかり樹

片翼同盟 全4巻

●さいとうちほ

青りんご迷宮 全1巻
もう一人のマリオネット 全4巻
円舞曲は白いドレスで 全4巻

●佐藤史生

夢みる惑星 全3巻
ワン・ゼロ 全3巻
ワン・ゼロ番外編 打天楽 全1巻
精霊王 全1巻

●篠原千絵

闇のパープル・アイ 全7巻
そして5回の鈴が鳴る 全1巻
蒼の封印 全7巻
陵子の心霊事件簿 全2巻
海の闇、月の影 全11巻
凍った夏の日 全1巻



●諏訪 緑

玄装西域記 全2巻

●惣領冬実

ボーイフレンド 全6巻
3-THREE 全8巻
彼女がカフェにいる 全4巻
天然の娘さん 全1巻

●竹宮恵子

私を月まで連れてって! 全4巻
疾風(かぜ)のまつりごと 全2巻

●田村由美

巴がゆく! 全5巻
きねづかん 全1巻
通り魔1991 全1巻
天使かもしれない 全1巻
ピショップの輪 全1巻
ボクが泥棒になった理由 全4巻



●名香智子

レディ・ギネヴィア 全1巻
花の美女姫 全3巻
PARTNER(パートナー) 全8巻
ファンション・ファデ 全4巻



●西 炯子

僕は鳥になりたい 全1巻

●萩尾望都

11人いる! 全1巻
スター・レッド 全1巻
トーマの心臓 全1巻
訪問者 全1巻
11月のギムナジウム 全1巻
ゴールデンライラック 全1巻
半 神 全1巻
とっともしあわせモトちゃん 全1巻
恐るべき子どもたち 全1巻
ウは宇宙船のウ 全1巻
ポーの一族 全3巻
Marginal(マージナル) 全3巻
フラワー・フェスティバル 全1巻
ローマへの道 全1巻
感謝知らずの男 全1巻
完全犯罪フェアリー 全1巻
イグアナの娘 全1巻
海のアリア 全2巻



●波津彬子

パーフェクト・ジェントルマン 全1巻
お目にかかれて 全1巻
異国の花守 全1巻

●藤田和子

ライジング! 全7巻



